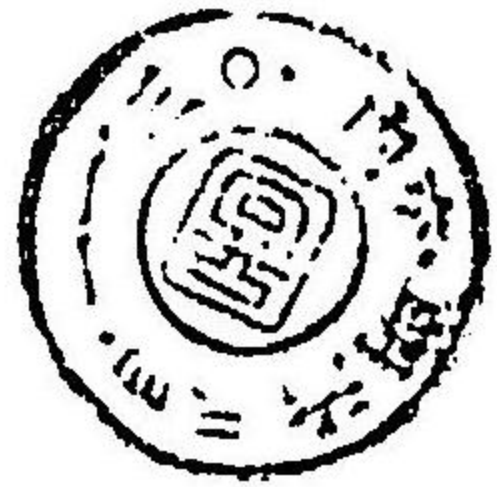


新保磐次著

內國地理小誌 全

東京金港堂書籍株式會社





緒言

本書ハ中等學校内國地理ノ教科書ニ適用スベキ者ニシテ拙著新體内國地誌及ヒ修正内國地誌ヲ基礎トシ、特ニ最近ノ事實ヲ補訂スルニ留意セシ者ナリ。

著者ハ多年總合的地理書ヲ唱へ、明治十九年小學生徒ノ爲メニ旅行體日本地理ヲ記載シ、近頃又中等學校ノ爲メニ新體内國地誌ヲ著シテ幸ニ世ノ歡迎ヲ得タリ。從來ノ地理書ハ、山ハ山、川ハ川、産物ハ産物ト相離レテ、分解的ナリ亦記簿的ナリ。今山川、都邑、地質、氣候、産物、職業、人情、風俗ヲ總合シテ其ノ原因結果ヲ知ラシメ、地理上ノ判斷カヲ養成スルノ利益ハ今日漸ク教育界ニ認めラレタレバ、今爰ニ多言スルヲ要セズ。此ノ主義ハ乾燥ナル地文ヲ多ク臚列スル人ト之ヲ省略スル人トノ争點ヲ解釋シテ餘リアリ。



本書ハ地文人文ノ總説ニ屬スル者ハ可及的特殊ノ條下ニ於テ機會ヲ求メタリ、例ヘバ有馬或ハ熱海ノ條下ニ於テ温泉ヲ説明シ、三原山或ハ淺間山ノ條下ニ於テ火山ヲ説明シ、更ニ火山ト温泉トノ關係ヲ説ク等ノ如シ、然ラズシテ別ニ總説ヲ設クルトキハ、生徒ハ事實ニ因リテ名稱ヲ學ブヲ解セズシテ名稱ヲ學バン爲メニ事例ヲ聞クガ如ク本末ヲ顛倒スベシ。故ニ本書ハ是等ノ事項ハ皆特殊ノ條下ニ説明シ、偶、説明稍長クシテ混雜ノ患アル者ハ直チニ其ノ處ニ別題ヲ立テテ本文ト別テリ。

本書ノ區劃ハ國界ヲ基礎トセリ。國界ハ地勢上最モ自然ニ歴史上最モ不變ノ區劃ニシテ、諸道諸府縣ノ分界亦之ヲ以テ基礎トセリ。就中山脈ヲ委曲ニ涉リテ、説明セントスル時ハ、特ニ國界ニヨルヲ便益ナリトス。

本書ハ成ルベク數字の記載ヲ避ケ、唯特ニ重要ナル數量或ハ最大最小等他ノ標準タルベキ數量ニシテ、通常記憶スベキ者ハ其ノ大數ヲ舉ゲ、其ノ他ハ總ベテ附録ノ表ニ載ル。

從來ノ地理書ハ記載繁多ニ過グトハ教育界ノ輿論ナリ。本書ハ諸國ノ山川、市邑、産物等最モ著名ナル者、或ハ最モ重要ナル者ニシテ、通常何レノ國ノ人モ互ニ記憶スベキ者ヲ擇ビ、又歴史ノ關係モ成ルベク中等學校初年生ノ力量ニ踰エザラシメンコトヲ務メ、間、單調ヲ破ラン爲メニ歌詞ヲ夾メルモ極メテ理解シ易キ者ヲ擇ベリ。サレバ學校所在國ノ地理ノ如キ敷衍ヲ要スル者、又日ニ月ニ變更スル所ノ市邑ノ人口、鐵道ノ線路等ニ至リテハ地學雜誌、統計年鑑、旅行案内及ヒ新聞ノ報道等ニ基キテ、適宜之ヲ訂正教授スベキハ固ヨリ當局教授者ノ手中ニ存スル者ナリ。



比較的著名ナラザル地名ト雖モ、説明ノ必要ニ由リテ記載スルコトアリ、三河ノ鳳來寺山ノ如キ是ナリ。必要ナラザルモ連絡記憶ノ爲メニ舉グル者アリ、阿仁銅山ノ阿仁川、福知山ノ福知川等ノ如シ、此ノ類猶多シ。

比較的著明ナラザル産物ト雖モ、關係親密ナル者ハ之ヲ舉グ、三河ノ陶土ガ瀬戸ノ陶器ニ關係アルノ類ナリ。孤立シテ記憶シ難キ者ハ他國ノ條ニ至リテ舉グルコトアリ、水曾山林ノ條ニ於テ三河ノ山林ヲ附説セルガ如シ。産地ノ市邑著明ナレバ市邑ノ名ヲ舉グ、否ザレバ其ノ地方ヲ示ス。例ヘバ美濃ニ於テ岐阜桃灯、蜂屋柿ニハ市邑ノ名ヲ舉グ、レドモ、美濃紙ニハ唯長良川上流ト云ヒ、美濃ノ陶器ニハ水曾川河北ノ地ト云フガ如シ。是等ハ皆記憶ノ便ヲ謀リタル者ニシテ、規則的ヨリモ寧ロ常識ニ訴ヘタル者ナリ。

山脈ノ名ハ諸書ニ最も多ク通用シタル者ニ從フ。其ノ他ハ主山ノ名或ハ地方ノ名ヲ用ヒ、一見シテ其ノ位地ヲ知ルベキ者ニ從ヘリ。紛ハシキ名ハ之ヲ舍キ、姑ク其ノ中ノ著名ナル山ヲ指摘シテ某山ノ脈ト云ヒ、敢テ新名ヲ下サズ。例ヘバ九州ノ『三池炭山ノ脈』ト云フガ如シ。

鐵道ハ其ノ名ニ因リテ位地ヲ知ルベキ者ハ皆其ノ名ヲ舉ゲタリ。紛ハシキ名、例ヘバ京都鐵道、大阪鐵道ト云フガ如キハ之ヲ舍キ、『京都舞鶴間』、『大阪奈良間』等ト稱セリ。又本書ニ鐵道支線ヲ出シ、『或ハ線ヲ分ツ』ト稱スルハ、皆説明ノ順序ニ由リ、必シモ幹枝ヲ意味シ又ハ同一會社ノ線ヲ意味スルニ非ズ。

嘗テ本書ノ仕組成ルニ至ルヤ、當時中等教育ニ從事セララル諸友ノ批評注意ヲ受ケ、編纂ニ方リテハ多クノ地學書地圖統計書ヲ參考



シ、又諸國ノ知友ニ請ヒテ其ノ地理産物等ヲ正シタルコトモ實ニ少  
カラズ。著者ハ是等ノ先覺及ビ圖書ニ向テ大ナル利益ヲ得タルヲ  
特ニ鳴謝ス。

明治三十四年十一月

新保 磐次 識ス

目 録

第一章 本邦ノ地勢

第二章 區劃

第三章 畿内

山城國<sup>六</sup> 攝津國<sup>二</sup>職業下風俗 鑛泉 河流及ビ平野

氣候 和泉國<sup>二</sup> 河内國<sup>二</sup> 大和國<sup>二</sup>分水界居民

畿内概要<sup>二七</sup>

第四章 東海道

伊賀國<sup>三〇</sup> 交通 伊勢國及ビ志摩國<sup>三二</sup> 尾張國<sup>三四</sup>

三角洲 三河國<sup>三七</sup> 遠江國<sup>三九</sup> 駿河國<sup>四〇</sup> 甲斐

國<sup>四四</sup> 伊豆國及ビ豆南諸島<sup>四六</sup> 火山及ビ温泉 相模



國五〇 湖ノ一種 武藏國五四 地勢ト風俗 道路ノ等級  
下總國六一 洋流 上總國及ビ安房國六五 常陸國六六  
湖ノ一種

東海道概要 六九

第五章 東山道 七二

近江國七三 湖ノ一種 湖ノ効用 美濃國七六 地震及ビ地層  
飛驒國八〇 信濃國八一 上野國及ビ下野國八五 中央  
火山脈ト富士帶 磐城國及ビ岩代國九〇 陸前國九三  
陸中國九五 海嘯 陸奥國九六 湖ノ各種 羽後國一〇一  
羽前國一〇三

東山道概要 一〇四

第六章 北陸道 一〇七

若狹國一〇七 越前國一〇八 加賀國及ビ能登國一一〇  
越中國一二一 越後國一二三 佐渡國一二六

北陸道概要 一二七

第七章 北海道 一二九

渡島國一二九 後志膽振及ビ石狩國一三三 天鹽國及ビ  
北見國一二六 日高國一二七 十勝釧路及ビ根室國一二八  
千島國一三〇

北海道概要 一三三

第八章 山陽道 一三五

播磨國一三五 雨量ト製鹽 美作國一三九 備前國備中國  
及ビ備後國一四〇 安藝國一四一 周防國一四三 長門  
國一四四



山陽道概要 一四五

第九章 山陰道 一四七

丹波國及ビ丹後國 一四七 但馬國因幡國及ビ伯耆國 一四九 燔岩 隱岐國 一五二 出雲國及ビ石見國 一五三

山陰道概要 一五五

第十章 南海道 一五七

紀伊國 一五七 淡路國 一六〇 阿波國 一六一 讚岐國 一六三 伊豫國 一六四 土佐國 一六五

南海道概要 一六七

第十一章 西海道 一六九

豐前國 一六九 豐後國 一七二 日向國 一七三 筑前國及ビ筑後國 一七五 肥前國 一七八 壹岐國及ビ對馬國 一八一

肥後國 一八二 薩摩國大隅國及ビ大隅諸島 一八五 琉球 一八八

西海道概要 一九〇

第十二章 臺灣及ビ澎湖列島 一九三

第十三章 地勢交通ノ概要 二〇二

地勢 交通

第十四章 氣候產物等ノ概要 二〇九

氣候 動植物ノ分布 產物 輸出入

第十五章 政治ノ概要 二二一

政體 種族 教法 教育 軍備 外交 財政

第十六章 沿革ノ概要 二二八

附錄



内國地理小誌

新保磐次著

第一章 本邦ノ地勢

大日本帝國ハ大小許多ノ島島ヨリ成レリ。其ノ大ナル者ハ本州、北海道、本島、四國、九州、臺灣ノ五ツニシテ其ノ他數多ノ島島東北ヨリ西南ニ亘リ其ノ幅廣キ處ハ大凡六十里、長サ一千里ニ餘レリ。

此ノ狹長ナル帝國ハ東南ハ太平洋ニ面シ、西北ハ海ヲ隔テテ亞細亞大陸ニ對ス、即チ北海道ハ阿哥斯科海ヲ隔テテ露領西伯利亞ニ對シ、本州ト九州トハ日本海ヲ隔テテ西伯利亞、韓國(元ノ朝鮮)ニ對シ、其レヨリ南ノ諸島ハ支那海ヲ隔



テテ支那ニ對ス。臺灣ノ西南ニハ南洋諸島アリ、又太平洋ヲ隔テテ遙カ東ニ米國アリ。

サテ本州ヲ初メ、多クノ島島ニハ皆山岳アリテ、其ノ山脈大抵脊梁ノ如ク縦ノ方向ニ連ナルガ故ニ、山脈ノ兩側ハ幅狹クシテ勾配急ナリ。川川ハ此ノ兩側ヲ流レ下リテ海ニ向フヲ以テ、大抵流レ短クシテ勢急ナリ。

此ノ脊梁山脈ハ皆左右ニ枝脈ヲ出シ、其ノ枝脈ト枝脈トノ間ナル溪谷ニハ必ズ多少ノ平地アリ。故ニ其ノ間ノ川川ハ皆此ノ平地ヲ流レテ海ニ入ル、是其ノ一區内ノ水理ナリ。此ノ平地廣ケレバ平野ト云フ。

斯クシテ山脈ハ其ノ枝脈ヲ以テ自然ニ數多ノ區劃ヲ作レリ。諸國ノ國界ハ大抵此ノ自然ノ區劃ニ因リテ立テタ

ル者ニシテ、就中最モ單一明瞭ナル者ヲ山陽道、山陰道ノ諸國トス。即チ一條ノ山脈ハ兩道ノ脊梁ヲナシ左右ニ出デタル枝脈ハ兩道諸國ノ界トナレリ。

或ハ又一ノ平地内ニ於テ川ヲ以テ國界トナス者アリ、攝津ノ淀川、大和川、武藏ノ利根川、江戸川ノ如シ。若シ境界ノ山川狹少ニシテ地圖上ニ著シカラザル者アルモ、猶多少自然ノ地形ニ因ル者ト知ルベシ。

## 第二章 區劃

天然ノ地勢ニ基ヅキテ區劃セル國數ハ、八十五國アリ。近頃我が國ニ屬セル臺灣ハ此ノ外ナリ。

此ノ八十五國ヲ大別シテ畿内及ビ八道トナス。畿内トハ帝都ノ近國ト云フコトニテ、昔大和又ハ山城ヲ帝都ト



セラレシ時、其ノ近國ヲ畿内トシ、之ヲ中心トシテ諸道ノ名ヲ定メタルガ、今モ、猶舊ニ依リテ其ノ名ヲ用ヒタリ、其ノ區劃左ノ如シ。

先ツ山城以下ノ五國ヲ畿内トシ、又五畿トモ云フ。畿内ヨリ東北ノ方ハ東海岸ノ十五國ヲ東海道トシ、日本海岸ノ六國及ビ佐渡ヲ北陸道トシ、其ノ中間ノ國國ヨリ本州ノ北端ニ至ルマデヲ東山道トシ、合ハセテ之ヲ東北三道ト云フ。本州ヨリ北ノ方ヲ總ベテ北海道ト云フ。或ハ東山道ノ内、東海、北陸兩道ニ夾マレタル部分ヲ中山道ト呼ビ、其レヨリ北ヲ奥羽ト呼ブコトアリ。以上總ベテ東北諸國ト云フ。

畿内ヨリ西ノ方、本州ノ端ニ至ルマデ、日本海ニ面セル諸

國ヲ山陰道ト云ヒ、之ニ反セル諸國ヲ山陽道ト云ヒ、之ヲ合ハセテ中國山陰ノ東ト云フ。

畿内ノ南ナル紀伊一國ト淡路及ビ四國トヲ南海道ト云ヒ、九州及ビ壹岐、對馬、琉球ヲ西海道ト云ヒ、總ベテ之ヲ西南諸國ト云フ。以上五畿八道及ビ臺灣諸島ヲ帝國全體トス。

國ヲ小別シテ郡トナシ、郡ヲ小別シテ町村トナス。大ナル市街ハ郡ニ隸セズシテ市ト稱ス。郡乃至市町村ノ境界ハ、便宜ニヨリ、或ハ溝渠、或ハ量尺ヲ以テ分界ヲ定メ、天然ノ地形ニ據ラザル者亦多シ。

サテ諸國ヲ管轄スル三府四十三縣(臺灣ノ三縣ヲ除ク)ハ一府縣ニシテ二國以上ヲ管スルアリ、或ハ一國ニ足ラザル



アリテ國界ト一致セザル者往往アリ。此クノ如キ場合ニ  
ハ大抵郡界ヲ以テ區域ヲ定ムル者ナリ。

### 第三章 畿内

#### 山城國

山城ハ其ノ字ノ如ク、國境ノ山山自然ニ城ヲナシテ京都  
ヲ圍ミ、其ノ水ハ皆中央ノ平地ニ集マリ、遂ニ合シテ淀川ト  
ナル。東海道鐵道東京ヨリ京都ニ至リ、(百餘里)更ニ延長シ  
テ攝津ノ大阪ニ趣ク。

京都

京都ハ國ノ中央ノ稍北ニ位セル都市ナリ。桓武天皇茲  
ニ都シ給ヒシヨリ明治ノ御代ニ至ルマデ一千餘年皇居ノ  
地ニシテ、中頃二百年間足利將軍モ幕府ヲ茲ニ置キケレバ、  
禁裡御所ヲ初メ、名所古蹟神社佛閣甚ダ多ク、京都府廳、京都

帝國大學等茲ニアリテ  
府廳ハ山城一圓、丹後一  
圓及ビ丹波ノ一部ヲ管  
セリ。市街正シク縱橫禁  
ニ通シ、西陣ニハ京都ノ  
名産ナル錦・緞子等所謂  
西陣織ヲ織出セリ。其  
ノ他友禪染モ亦名高シ。  
市街ハ東西一里、南北一  
里半、人口三十餘萬アリ。  
市民ハ一般ニ工藝ニ  
長シ、其ノ性緻密ニシテ



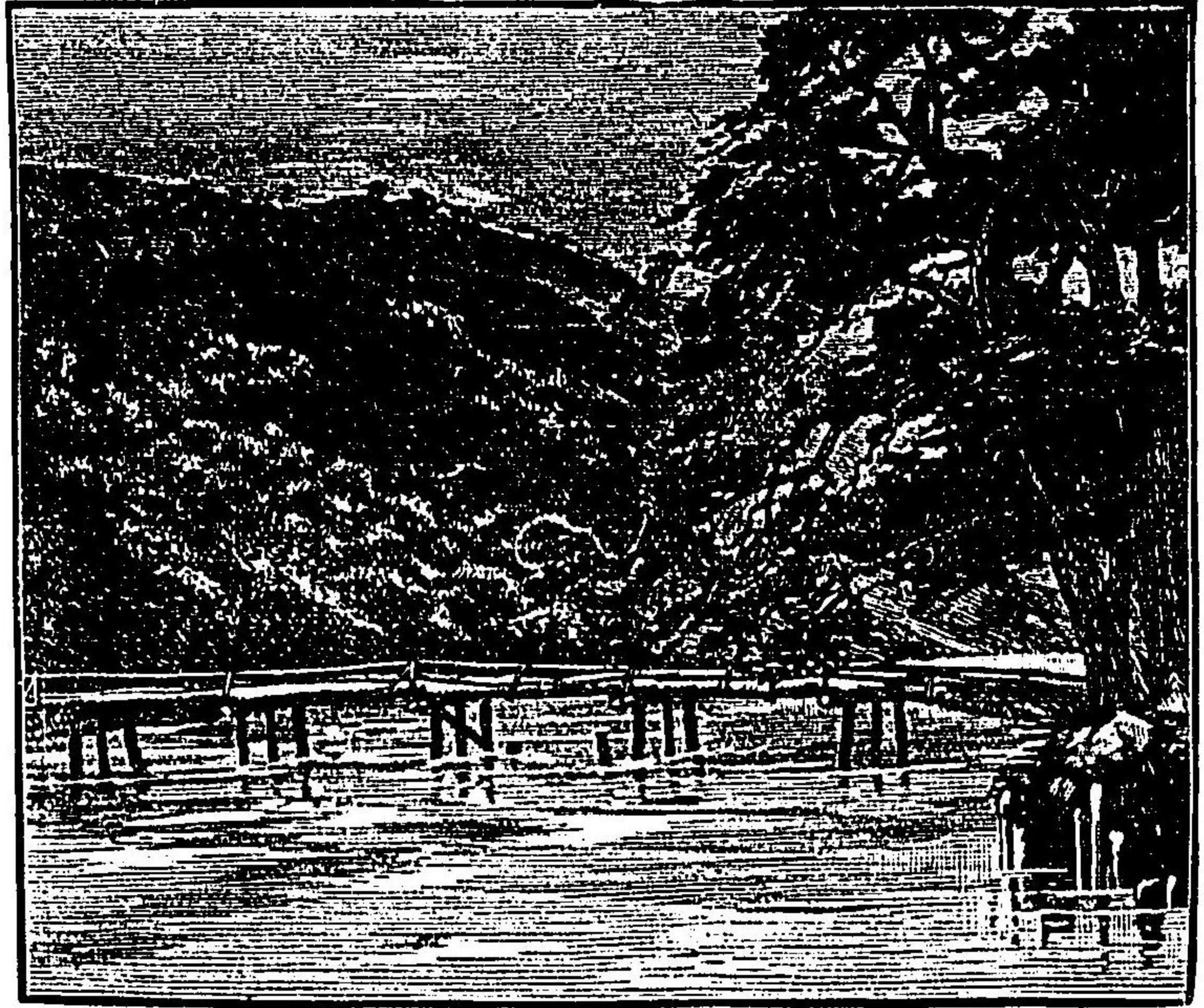


比叡山脈

花崗石地方ノ陶器

勤儉ナリ。氣候ハ此ノ國四面皆山ナルヲ以テ、夏ハ海風ノ涼ヲ送ルナク、冬ハ山風烈シクシテ、寒暑ノ差頗ル強シ。然レドモ山水ノ秀美ハ全國第一ニシテ、所謂京都ノ東山北山、西山ハ即チ前ニ云ヘル國境ノ山山ナリ。先ヅ東山ハ延暦寺ニ名高キ比叡山ノ山脈ニシテ、近江ト界ヲナシ、足利氏ノ別莊ナリシ銀閣寺、又ハ祇園ノ社、清水ノ觀音等其ノ腰ニアリ、山頂ニハ田村麻呂ノ將軍塚アリ。此ノ山脈ハ花崗石ヨリ成ル、花崗石ガ風雨ノ爲メニ碎ケ去ルトキハ常ニ清キ砂及ビ陶器製造ニ適當ナル粘土ヲ成ス者ナリ。サレバ京都ノ砂ノ清白ナルモ、清水・燒・粟田・燒等ノ陶器ガ東山附近ヨリ出ヅルモ其ノ故アリト云フベシ。北山ニハ亦足利氏ノ別莊ナリシ金閣寺、牛若丸ノ成長セシ鞍馬山等ア

リ、而シテ賀茂川ハ鞍馬ヨリ發シ、市内ニ入ル。西山ニハ櫻ノ名所ナル嵐山、紅葉ノ名所ナル高雄山等アリテ、丹波ト界嵐ヲナセリ。大堰川丹波ヨリ來リ、嵐山ノ麓ヲ流レテ風景ヲ添ヘ、是ヨ山リ、桂ニ至リ、桂川ト稱ス。京都ヨリ此ノ川ノ流域ニ沿ヒテ丹波ヲ過ギ、丹後ノ舞鶴ニ達スベキ鐵

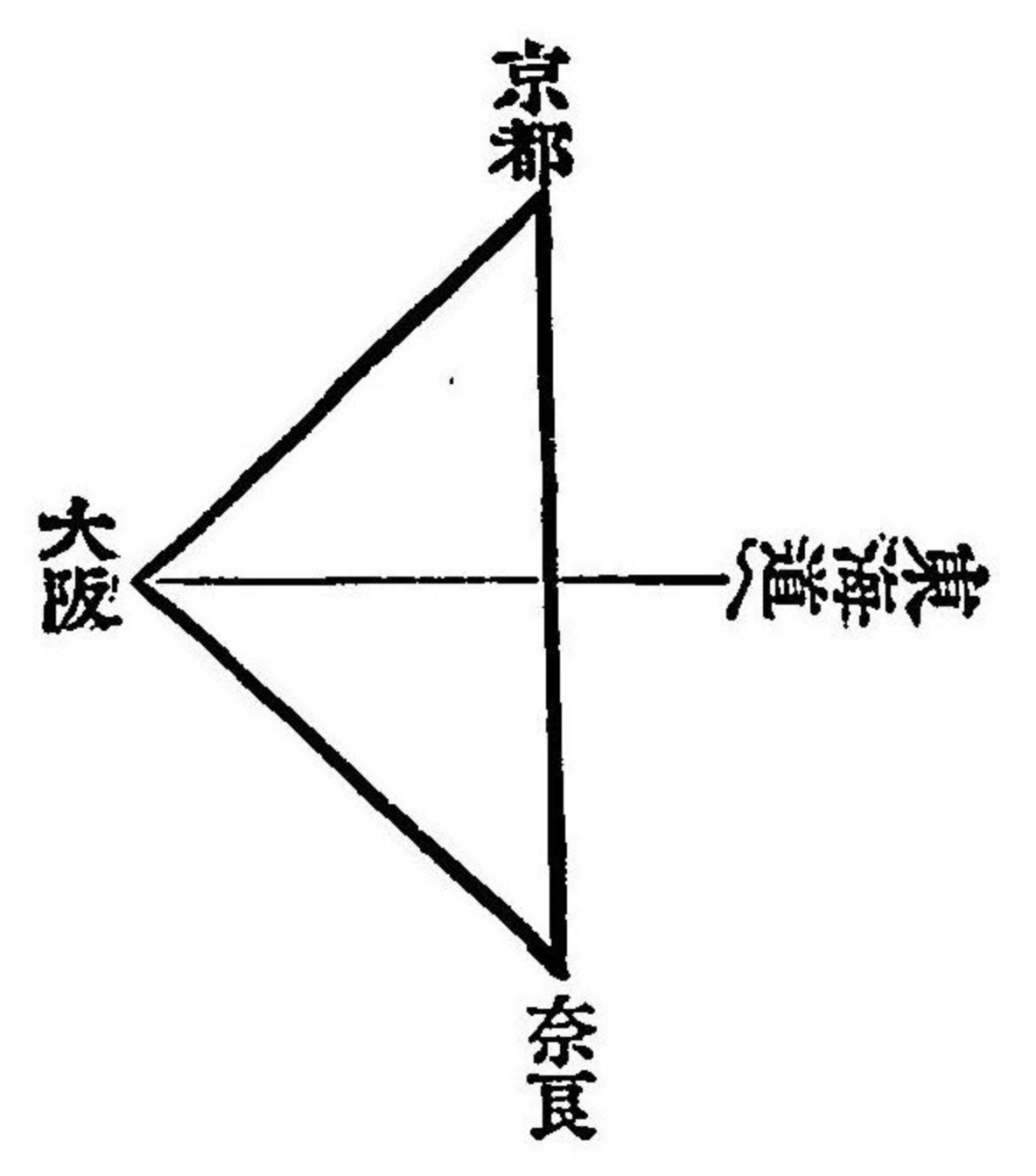




道ハ既ニ嵐山ノ下ヲ過ギテ丹波ニ入レリ。  
 サテ賀茂川ハ市ノ東邊ヲ流ル、俗ニ京都ノ染物ノ美麗ナルハ主トシテ其ノ水ノ清潔ナルニヨルト云ヘリ。然レドモ水量甚ダ少クシテ、河床ノ大部分ハ砂礫又ハ草原ナレバ、夏ノ夜ハ爰ニ床几ヲ並べ、納涼ノ士女星ノ如シ、四條河原ノ夕涼是ナリ。近年東山ニ隧道ヲ穿テ近江ノ琵琶湖ノ水ヲ引キテ水量ヲ増セリ、所謂疏水ナル者ニシテ、運漕灌漑ニ供シ、又此ノ水力ヲ利用シテ電燈ノ如キ工業ヲナサシム。  
 スクテ賀茂川ハ市街ヲ出デ、西南ニ流レ、戊辰ノ役ノ戰地ナル鳥羽ニ至リテ桂川ニ會ス。然ルニ宇治川ハ近江ノ琵琶湖ヨリ發源シ、日本一ノ茶ノ產地ナル宇治ヲ過ギ、又鳥羽ト共ニ戊辰ノ戰地ナリシ伏見ヲ過ギ、淀ニ至リテ桂川ニ

淀川

會ス、是ヨリ下テ淀川ト云フ。次ニ木津川ハ伊賀ヨリ來リ、昔楠公ガ初メテ天子ニ拜謁セシ笠置山ノ麓ヲ過ギ、又茶ノ產地ナル木津ヲ過ギ、男山八幡宮ヲ以テ知ラレタル八幡ノ下ニ於テ淀川ニ會シテ攝津ニ入ル。此ノ伏見、宇治、木津ヲ通シテ大和ノ奈良ニ至ル鐵道アリ。京都、大阪、及ビ奈良ハ三方ニ在リテ其ノ間互ニ十里ヲ隔テ、各鐵道ニテ通ズ。別ニ大阪ヨリ關西鐵道アリ、京都奈良間ノ線路ヲ横ギリ、木津川ノ流域ニ隨ヒテ東海道ニ入り尾張ノ名古屋ニ至ル。爰ニ畧圖ヲ以テ鐵道ノ大勢ヲ示ス。



攝津國



中國山脈

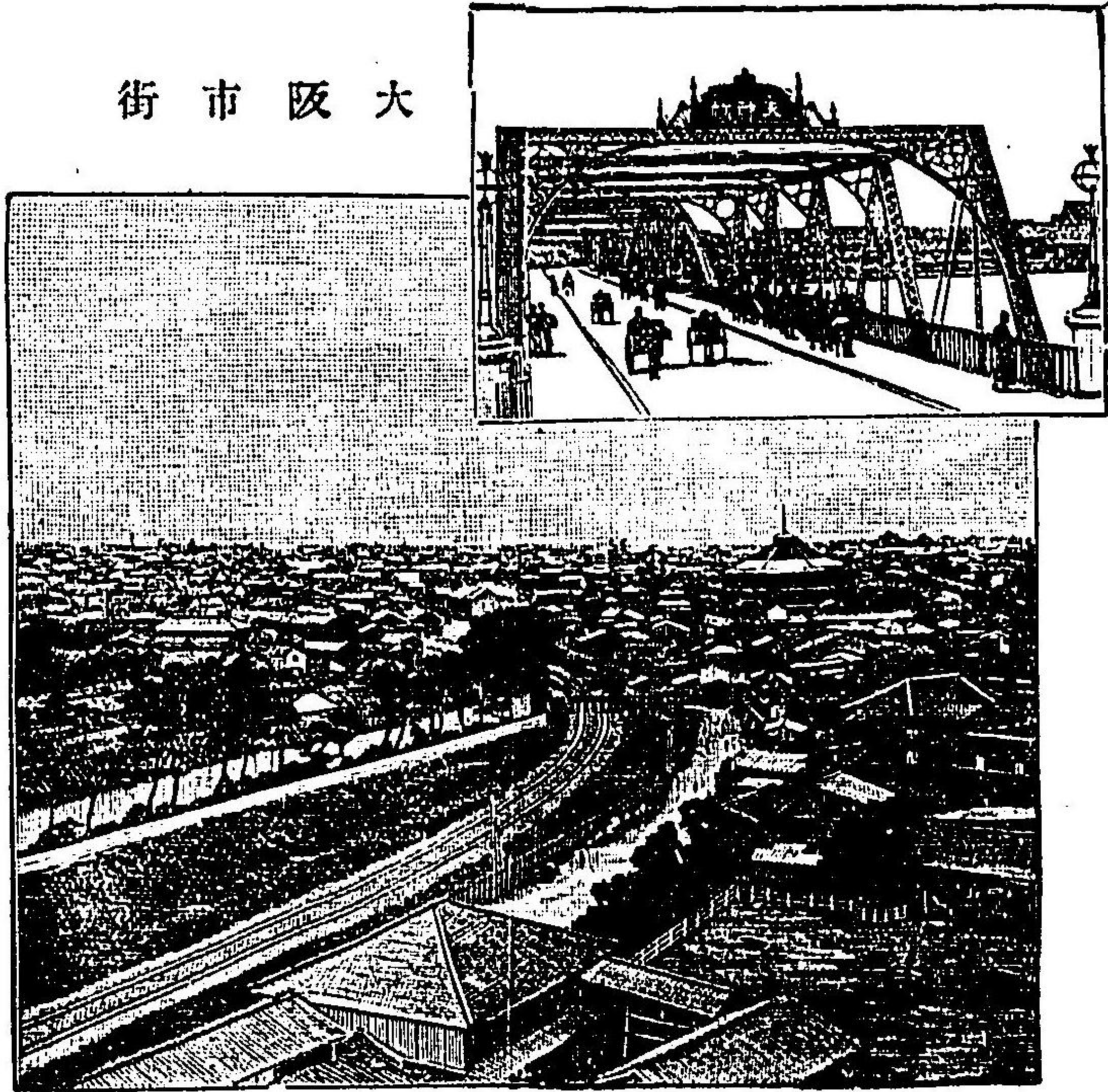
畿内平野 大阪

京都ノ西山ヨリ續キタル山脈攝津ノ後ロニ連ナリ、前ハ大阪灣ニシテ諸水灣内ニ注グ。此ノ山脈、東ハ山城ヨリ東山、北陸ノ間ニ連ナリ、西ハ山陰、山陽ノ間ヲ界ス。地理書ニハ廣ク之ヲ中國山脈ト稱スルコトアリ。

淀川山城ヨリ來リ、半バ國ノ東境トナリ分流シテ安治川、木津川等トナリ、大阪市ヲ過ギテ海ニ注グ。其ノ兩岸ハ畿内平野ニシテ田野拓ケ、村落連ナル、國境ニ接シタル櫻井ハ楠公父子訣別ノ地ナリ。大阪市ハ仁徳天皇ノ都シ給ヒシ浪速津ノ地ニシテ、中頃豊臣秀吉此ニ城キシ以來、繁昌日ニ増シ、物貨輻輳シ、日本商業ノ要地トナリ、堀割縦横ニ通シテ運漕ニ便ナリ。豊臣秀吉ノ城キシ大阪城ニハ今第四師團司令部ヲ置ケリ。府廳、造幣局、商品陳列所等亦

市内ニアリ、府廳ハ攝津ノ東岸及ビ河内和泉一圓ヲ管ス。近來紡績、其ノ他ノ工場盛ンニ興リ、煙筒サナガラ林ノ如ク、高き屋に登りて見れば煙立つノ昔ヲ想ハシム。市街ノ面積京都ト略同シク、人口ハ八十萬ニ餘リ、全國第一稠

大 阪 市 街





職業ト  
風俗

密ノ地ナリ。其ノ住民ハ敏捷ニシテ潤達ナリ。

職業ト風俗

工業地ノ民ノ緻密勤儉ナル、商業地ノ民ノ敏捷潤

達ナルハ京都ト大阪トヲ以テ適例トス。而シテ農業地ノ民ハ質朴ニシテ忍耐ナリ。何レノ國ヲ問ハズ都會ヨリ一步野外ニ出ヅル時ハ粗衣粗食ノ民悠然トシテ寒風烈日ノ中ニ勞働スルヲ見ルベシ。

關西ノ  
中心

大阪ノ交通ハ東海道鐵道京都ヨリ來リ、更ニ海岸ニ沿ヒテ西ノ方神戸ニ至ル。其ノ他大阪ヲ中心トシテ奈良線、關西鐵道(前條略圖參看)又丹後ノ鶴舞ニ至ル阪鶴鐵道及ビ南海道ニ至ル南海鐵道アリ。海運ハ、大阪ヲ中心トシテ商船ノ往來スル者ハ山陰、山陽、南海、西海、四道ノ海岸線ナリ。故ニ大阪ヲ關西貨物聚散ノ中心點ト云フ。近來臺灣及ビ支那ニ向テ定期航路ヲ開ケリ。港内ニ稅關アリテ輸出入稅

全國一  
ノ酒造  
地

鑛泉

等ヲ掌ル。今ヤ大阪築港起工式ヲ舉グ、他年成就ノ日ニ至ラバ外國ノ大船巨舶亦此ニ市ヲ成スニ至ルベシ。河運ハ淀川ヲ上下シテ伏見ニ至リ、京阪ノ間ヲ連絡ス。大阪ヨリ神戸ニ至ル鐵道ハ先ヅ淀川ノ分流ナル神崎川ヲ渡ル。神崎川ノ河口ナル尼崎ヨリ北ニ向ヒテ丹後ノ舞鶴ニ至ラントスル一線アリ、大阪舞鶴ヲ連絡スル者ナレバ之ヲ阪鶴鐵道ト云ヒ、池田川ニ沿ヒテ古來有名ノ酒造地ナル伊丹、池田ヲ過ギ、轉シテ有馬溫泉ノ入口ナル有馬口等ヲ過ギテ丹波ニ入ル。

鑛泉

凡ソ地中ヨリ多量ノ鑛物例ヘバ食鹽、石灰質等ヲ溶カシテ出デ來ル泉ヲ鑛泉ト云フ。鑛泉ノ自然ニ温カナルヲ溫泉ト云ヒ、冷ヤカナルヲ冷泉ト云フ。其ノ鑛物主トシテ食鹽ナルトキハ食鹽泉ト云ヒ、



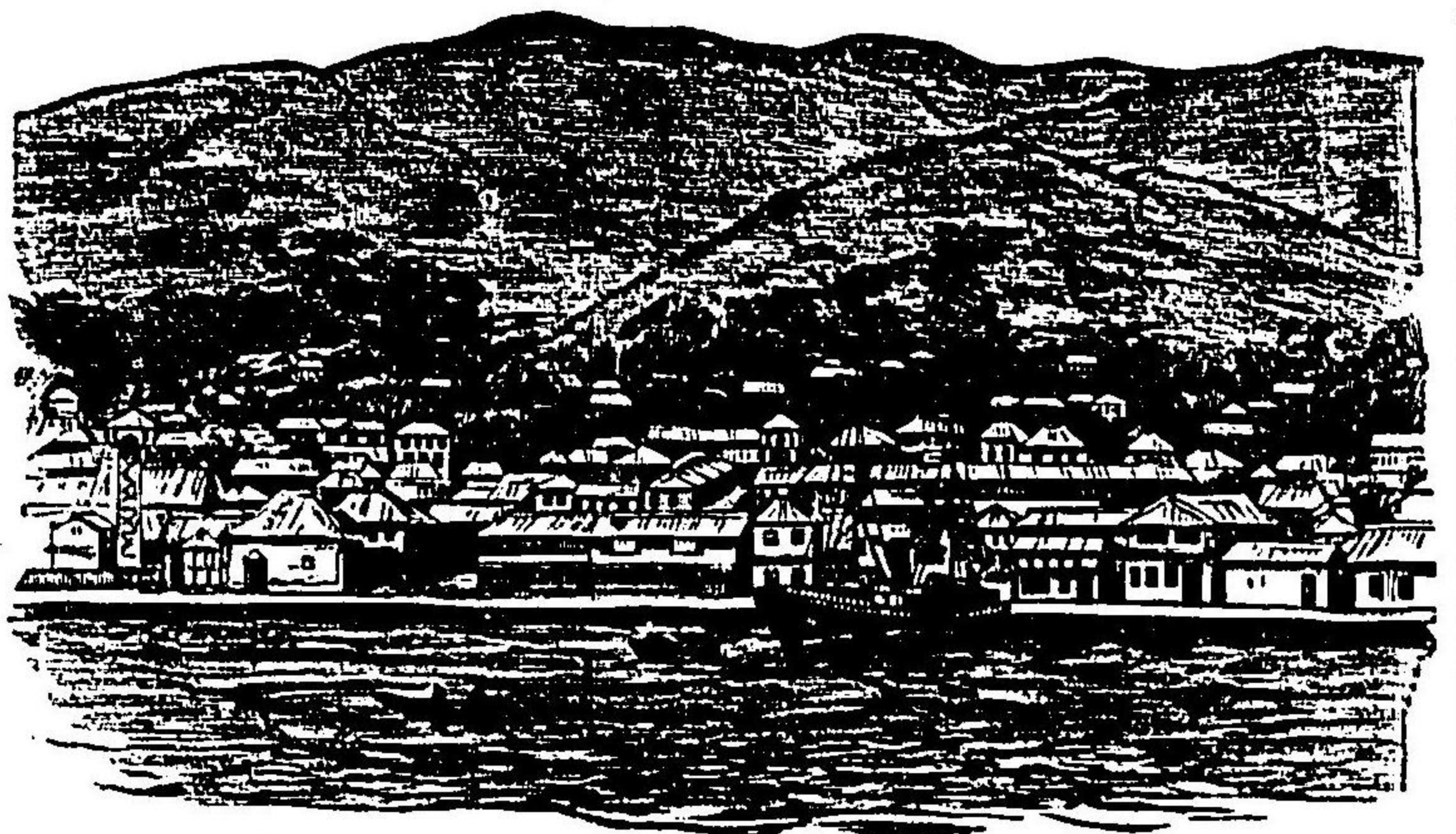
鐵ナルトキハ鐵泉ト云ヒ、硫泉ナルトキハ硫泉ト云フ。有馬ノ如キハ食鹽泉ニシテ鐵ヲ兼ネタル温泉ナリ。鑛泉ノ性質、及ビ其ノ地ノ風土、氣候等ニヨリテ病ニ効アル者少カラズ。

大阪神戸間ノ線路ハ海岸ニ隨ヒテ進ム。此ノ海岸ニ西宮、御影等ノ酒造地相接シ、是等ノ酒ヲ總稱シテ灘酒ト云フ。御影ノ北ニ武庫山、摩耶山並ビ立チ、花崗石質ノ山ニシテ、其ノ間ニ良好ナル石材ヲ産ス、『みかげいし』ノ名ハ蓋シ地名ニ取レルナリ。

神戸市ハ外國貿易場ニシテ元五港ノ一ナリ、兵庫縣廳ハ此處ニアリ、攝津ノ西半ト丹波ノ一部ト但馬、播磨、淡路ノ三國トヲ管ス。市ハ神戸、兵庫ノ二部ニ分レ、兵庫部ハ昔ノ兵庫驛ニシテ、楠公ノ忠魂ヲ祀レル湊川神社アリ。湊川ハ元

花崗石ノ名  
神戸

河流及  
び平野



ト神戸、兵庫二部ノ界ニシテ平日殆ト水ナキ川ナレド、出水ノ時ハ水勢甚ダ急ニシテ被害多カリシガ、近來流路ヲ兵庫ノ西ニ轉ゼシメタリ。山陽鐵道ハ京阪ノ線ニ接續シテ神戸ヨリ起リ、山陽道ニ向カフ。有名ナル神戸、牛、八實ニ中國ヨリ來リテ爰ニ集ル者ナリ。

河流及び平野 本邦ノ地勢ニヨリテ、河流ハ大抵短クシテ急ナルコト已ニ云ヘルガ如シ。元ノ湊川ノ如キハ最モ



沖積層

見易キ例ニシテ、是等ハ全ク運漕ノ便ヲ與ヘズ。大堰川ノ如キハ僅カニ筏ヲ下シ、小舟ヲ通ズルノ便アルノミ。淀川ニ至リテハ其ノ水源ニ琵琶湖アルノミナラズ、平地ヲ流ルルコト頗ル長クシテ其ノ間大小ノ河川ヲ合ハスルガ故ニ、水量豊富ニシテ勢急ナラズ、能ク大小ノ舟ヲ上下セシム。加之、上流ノ岩石、土塊ガ粉碎セラレタル泥土、流路ノ隨所ニ堆積シテ肥沃ナル土壤ヲ成ス、地學上之ヲ沖積土ト云ヒ、又其ノ土ガ一層ヲ形ツクルヲ以テ沖積層ト稱ス。サレバ長流大河ノ流域ハ必ズ廣濶ナル平野ニシテ、田園開ケ農産豐饒ナルヲ常トス。

須磨浦

神戸ヨリ少許ニシテ、攝津ノ西境ナル鐵拐山<sup>テカ</sup>アリ、其ノ麓八月ノ名所ナル須磨浦ナリ。此ノ地ハ源平ノ戰ニ源義經ガ逆落シヲセシ古戰場ニシテ、一ノ谷其ノ他當時ノ古蹟甚ダ多シ。近來醫學ノ調査ニヨレバ、其ノ空氣ノ清潔ナル、氣候ノ溫和平均ナル世界屈指ノ療病地ナリト云フ。

世界屈指ノ療病地

海岸氣候

氣候 海水ハ嚴寒中ニモ甚ダシク、冷エズ、極暑中ニモ著シク温マラザルハ人ノ知ル處ナリ。サレバ海邊ハ大抵夏涼シク冬温カニシテ氣候平均シ、同理ニヨリテ一日中ノ寒暖ノ差亦タ少シトス、須磨ノ如キハ其ノ最モ著シキ者ナリ。之ニ反シテ海ニ遠キ處ハ寒暑ノ差一般ニ大ナリ、之ヲ

内地氣候

内地性氣候或ハ大陸氣候ト稱ス、京都ノ氣候其ノ一例ナリ。氣候ハ山海ノ位置ニヨルコト亦大ナリ。地勢東南ニ向カヒテ日當リ好ク、且海風ヲ受ケ、西北ハ山ヲ負ヒテ寒風ヲ遮ル處最モ氣候温和ナリ、須磨ハ即チ其ノ例ナリ。此クノ如キ位置ハ東海岸ニ多クシテ日本海沿岸ニ少キハ固ヨリ其ノ理ナリ。

平均溫度

各地寒暖ノ度數ヲ記スハ皆平均溫度ナリ。故ニ或ル一日ノ平均同シク八十度ト稱スルモ、或ハ最高九十度ト最低七十度トノ平均ナルアリ、或ハ八十五度ト七十五度ノ平均ナルアリ、又一年ノ平均ハ毎日ノ平均ヲ更ニ日數ニテ平均スルナリ、斯クシテ其ノ大略ノ標準ヲ知ルノミ。本書ノ同溫線圖等ヲ檢スル者須ラク之ヲ知ルベシ。



紀泉山脈

### 和泉國

和泉ハ東南紀泉山脈ヲ以テ紀伊ト界シ、前面ハ大阪灣ニ臨ミ、諸水直チニ海ニ注グ。

大和ヨリ河内ヲ貫キテ來ル所ノ大和川ハ攝津境ヲ流レテ海ニ入り、其ノ河口ニ堺市アリ。堺ハ足利氏ノ頃ハ外國貿易港ニシテ繁昌ノ地ナリシモ、大阪開ケテヨリ一時衰ヘシガ、今又大阪ヨリ南海鐵道通シ、且紀州街道ノ要路ニ當レバ繁昌殆ト昔ニ復セントス。堺ノ鐵器及ビ段通ハ有名ナリ。鐵道ハ其レヨリ古ヘノ高師ノ濱ナル濱寺公園及ビ岸和田等ヲ過ギテ紀伊ノ和歌山ニ至ル。

### 河内國

河内ハ和泉ノ東ニ隣シテ、南境ニハ紀泉山脈延長シ、東境

葛城山脈

ニハ生駒山、信貴山、葛城山等ノ名山相連ナリタル葛城山脈アリ。金剛山ハ實ニ葛城山ノ一峯ニシテ東南隅ニ

峙テリ。大和川大和ヨリ葛城山脈ヲ貫キ來リテ國ノ中央ヲ横ギリ、大阪奈良間ノ鐵道ハ大凡此ノ川ニ沿ヘリ。

此ノ國ハ畿内ノ最小國ニシテ、都市亦著明ナル者ナシ。

金剛山

然レトモ楠公ノ生國ニシテ、金剛山ニハ千早ノ城址アリ、小楠公ノ戰死セシ四條畷ニハ四條畷神社アリ。關西鐵道ハ即チ大阪ヨリ四條畷ニ通シテ山城木津川ノ流域ニ入ル者ナリ。

此ノ國ハ大和川ト淀川トノ流域ニシテ、田野闊ケ、農産饒カニ、河内木綿最モ有名ナリ。

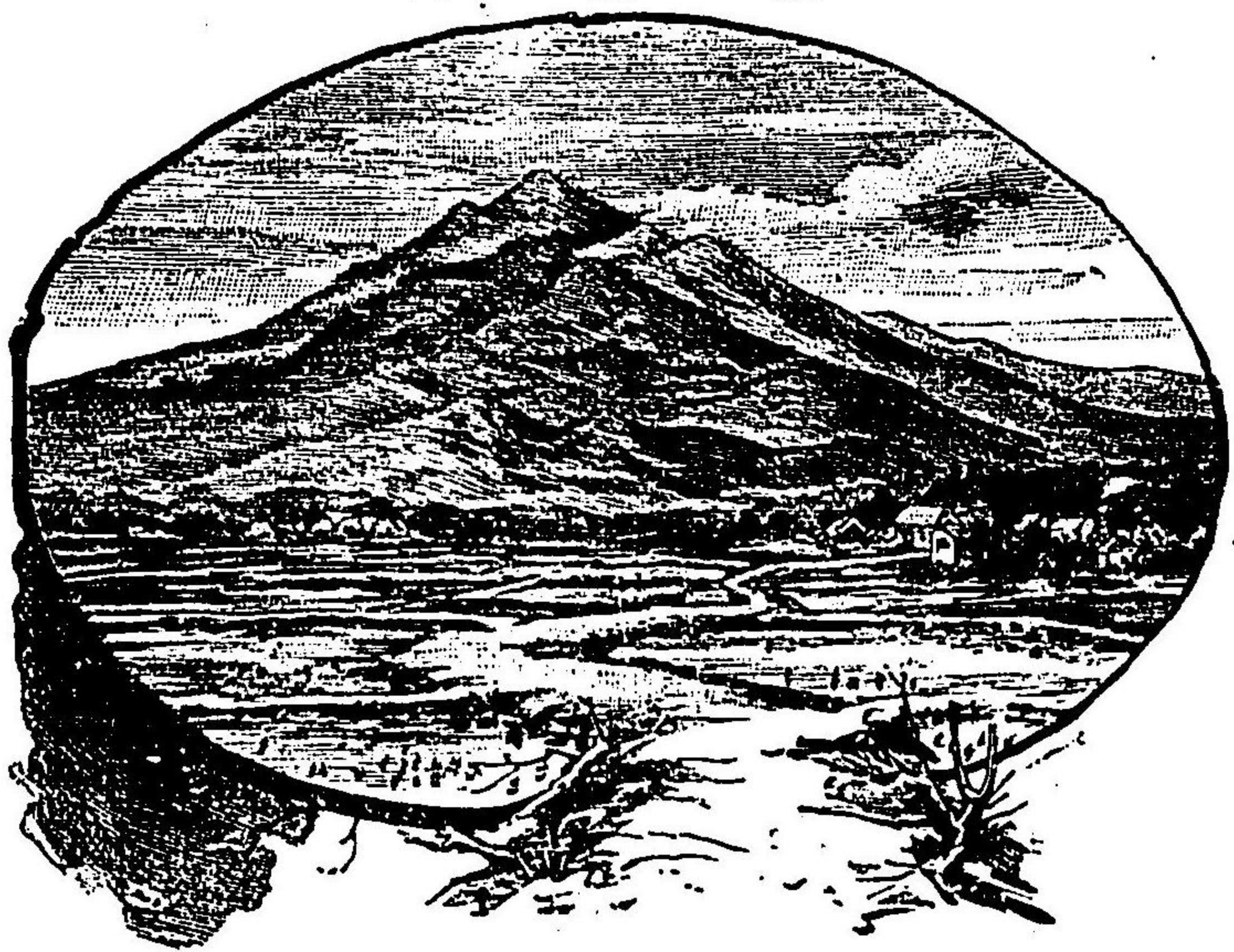
### 大和國



大和ハ四方皆山ニシテ、  
 國內山脈縱横シ、隨ツテ水  
 理頗ル多端ナリ。今簡單  
 ニ之ヲ示サン  
 ニ、圖ノ如ク全  
 國ヲ四部ニ分ツベシ。先  
 ツ西北部ハ當國中最モ平  
 地多キ地方ニシテ、奈良ヲ  
 初メ多クノ市街此ニアリ、  
 北ハ山城ニ接シ西ハ葛城  
 山脈ヲ界トシ、南ハ紀泉山  
 脈延長シ、大和川此ノ區域

東北部	中央部	南部
西北部		

金山剛山



天下第一ノ梅

ニ集成シテ河内ニ入ル。次ニ東北部ハ山地ニシテ伊賀ノ  
 名張川ノ水源地ナリ。此ノ川ガ國ノ極隅ヲ過グル處ヲ月  
 瀬トス、實ニ天下第一ノ梅花ノ名勝ナリ。次ニ南部ハ吉野  
 諸山ニシテ十津川南ニ流レテ紀伊ニ入り、熊野川トナル。  
 中央部ハ吉野諸山ト紀泉山脈トニ夾マレタル地ニシテ其  
 ノ諸水吉野川トナリ、西ニ流レテ亦紀伊ニ入り、紀川トナ  
 ル。以上ヲ大和ノ大勢トス。

分水界

分水界 地圖ヲ接ズルニ吉野川ノ水源ト大和川ノ水源トハ紀泉山  
 脈ノ嶺頭ヲ界トシ、左右ニ分レ落ツ。此クノ如キ經界ヲ分水界ト稱シ、  
 其ノ兩側ノ地面、一ハ左ニ傾斜シ一ハ右ニ傾斜スルコト明カナリ。  
 當國ハ神武天皇以後平安遷都以前大抵此ニ都シ給ヒシ  
 ニヨリ、宮址、山陵、古寺、舊蹟等甚ダ多ク、重ニ西北部ニアリ。



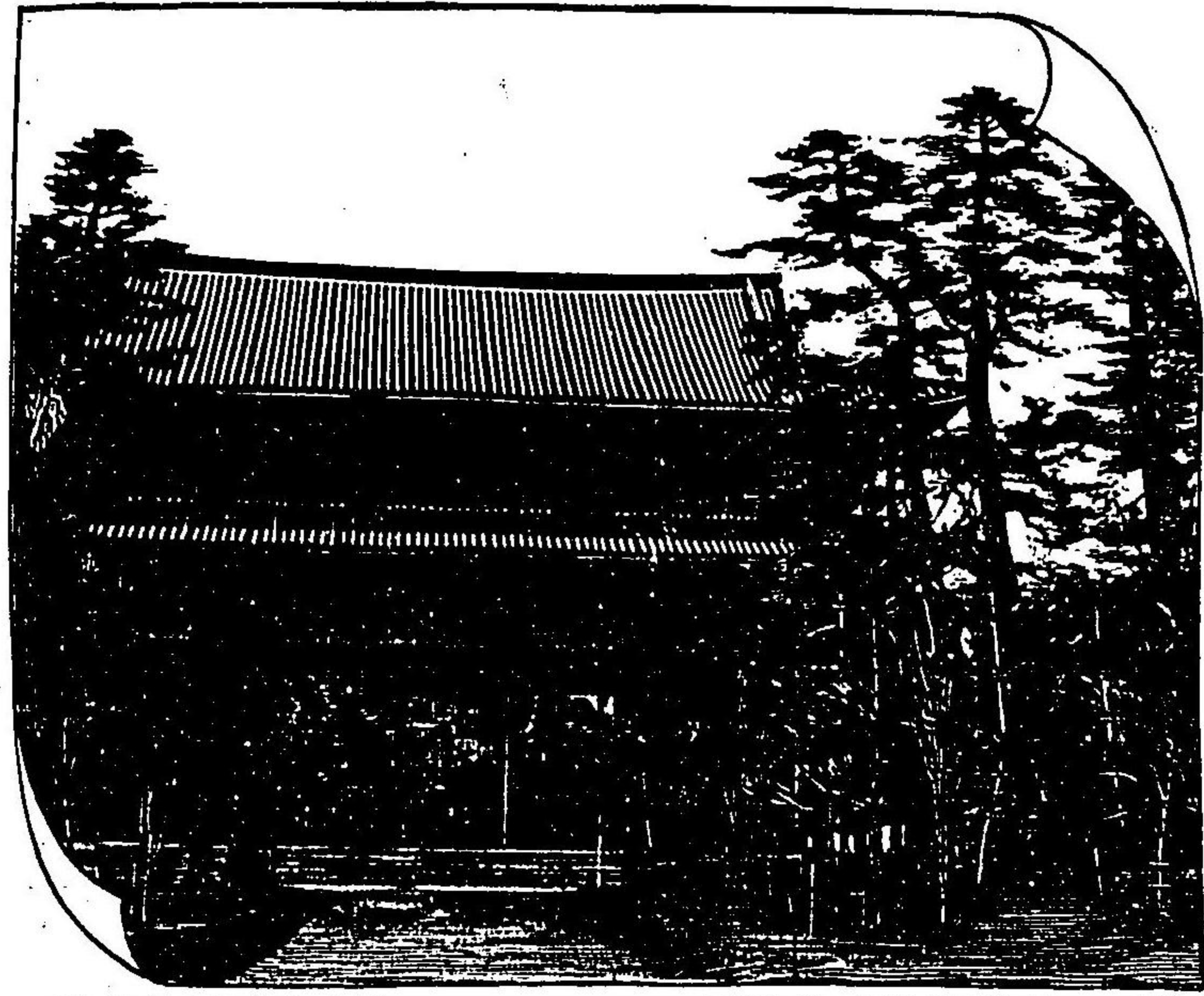
是等ノ地ヲ巡ルヲ世ニ『大和巡』ト稱ス。

奈良

奈良ハ北境ノ都會ニ

シテ奈良縣廳此ニアリ、大和一國ヲ管ス。古來産出スル所ノ奈良晒布、及ビ奈良漬ハ已ニ一種ノ普通名トナレリ。此地ハ七代ノ帝都ナル『奈良ノ都』ノ跡ニシテ京都ノ南ニ當ルヲ以テ南都トモ稱セラル。春日

東大寺



二四

神社、東大寺ノ大佛ヲ初メ、古蹟最モ多ク、春日山、三笠山等其ノ東ニ連ナリテ直チニ東北部ノ山地ニ接セリ。

奈良ヨリ京阪方面ノ鐵道ハ已ニ云ヘリ。南ニ趣ク鐵道ハ三輪、索麵ノ產地ナル三輪ヲ過ギ、殆ト平地ヲ行キ盡シテ櫻井ニ至ル。前面ハ鎌足公ノ廟所ナル多武峯ニシテ、紀泉山脈ノ一峯ナリ、之ヲ踰ユレバ吉野川ノ流域ニ入ル。櫻井ハ亦交通中心ノ地ニシテ是ヨリ東ハ鐵道初瀬ヲ過ギテ伊賀ニ入ルベク豫定セラレ、西ハ已ニ畝傍山ノ下ヲ過ギテ南和鐵道ニ會セリ。畝傍近傍ハ大和緋ノ產地ナリ。

南和鐵道ハ大阪奈良間ノ線ヨリ分岐シテ葛城山脈ニ並行シ、吉野川邊ノ五條ニ至レリ。五條ハ大和ヨリ紀伊ニ通ズル要所ニシテ、是ヨリ紀和鐵道既ニ紀伊ニ入り、和歌山ニ



達セリ。

五條ヨリ吉野川ヲ上レバ川ヲ夾ミテ村落相連ナル所謂

吉野

吉野郷ニシテ、

吉野葛、吉野漆ヲ

名産トス。水ニ

臨ミテ遙遙ト續

キタル吉野山

ハ世界第一ノ櫻

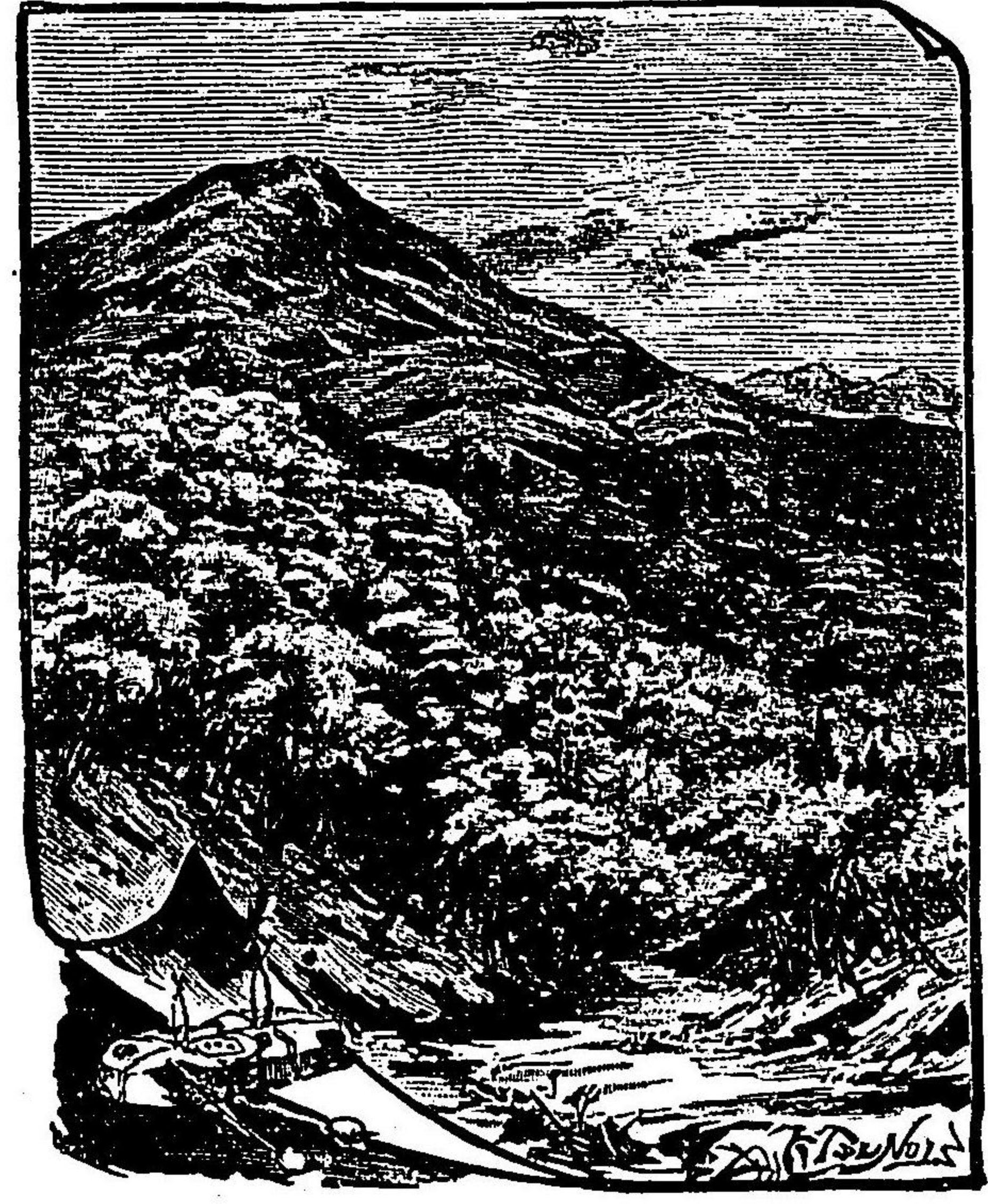
ノ名所、南朝三代

皇居ノ地ニシテ

義經、正行等ノ遺

跡多シ。猶山深

吉野山



紀伊山脈

ク分ケ入レバ大峯其ノ他ノ靈山高岳南部ニ重疊シ、之ヲ總稱シテ吉野諸山ト云フ。而シテ是等ノ山ハ紀伊ヨリ連

續シ、地學者ハ又之ヲ紀伊山脈ト云フ。此ノ諸山ノ水ハ、

已ニ云ヘル如ク、南ニ流レテ紀伊ニ入ル、其ノ重ナルヲ十津

川ト云ヒ、流レニ沿ヘル村落ヲ十津川郷ト云フ、大塔宮ノ

暫ク潛ミ給ヒシ處ナリ。總ベテ吉野地方ハ山岳重疊シ、人

煙稀ニシテ、唯吉野川、十津川沿岸ノミ村落ノ相望ムヲ見ル。

居民

居民 水邊ハ漁業ノ利アリ、水路ノ便アリ、又沿岸ハ平坦ノ地ニシテ陸

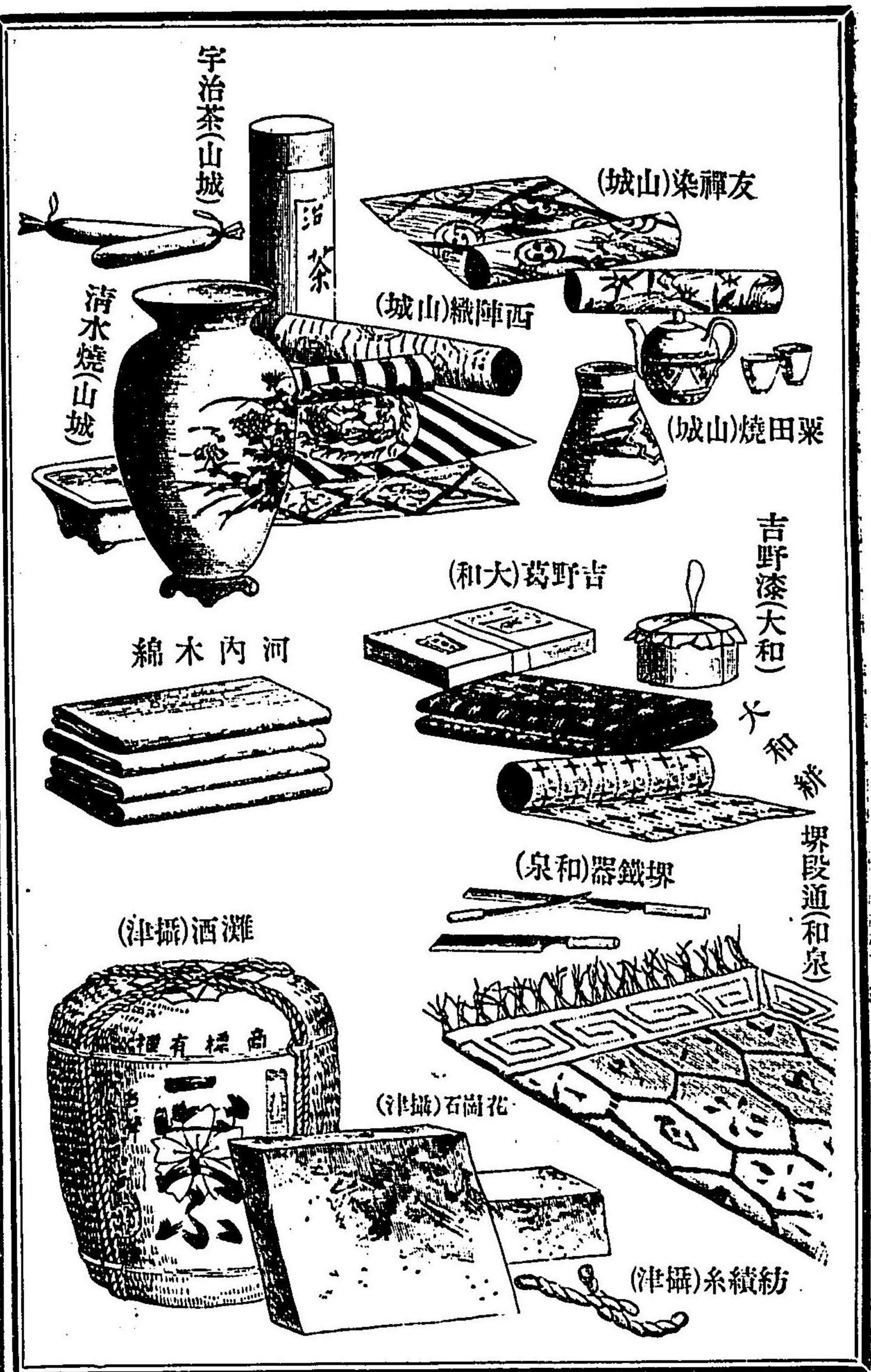
路及ビ農業ニ便ナルガ故、民ノ住所ハ海邊及ビ河岸ニヨリテ繁榮スルヲ

常トス。

畿内概要 畿内ノ境界ハ北ハ中國山脈、東ハ比叡笠置ノ山脈、南ハ紀泉山脈及ビ紀伊ノ諸山ニシテ、西ハ大阪灣ニ臨メ



リ。吉野地方ノ水ガ紀伊ニ入ルノ外ハ諸水皆大阪灣ニ注  
 グ。就中淀川及ビ大和川ハ畿内ノ大河ニシテ、其ノ流域ハ  
 畿内平野ノ一大美田ヲ開ケリ。鐵道ノ大勢ハ東海道鐵道  
 京都ヨリ延長シテ大阪ヲ經、神戸ニ至リテ山陽鐵道ニ連絡  
 シ、其ノ他前ニ畧圖ニ示セル者ノ外、山陰道ニ通ズル阪鶴線  
 北海道ニ通ズル南海線、紀和線ヲ重ナル者トス。氣候ハ概  
 シテ寒暑ノ差甚ダシカラザレドモ、海岸ハ殊ニ溫和ニシテ  
 其ノ他ハ此ニ比スレバ多少内地性ナリ。人情風俗ハ概  
 シテ『上方風』ニシテ、節儉柔和緻密ノ風アリ。産業ハ京都ノ  
 工業、大阪ノ商業ヲ著シトシ、農業ニハ畿内平野アリテ、耕作  
 ノ術最モ緻密ニ進歩シ、漁業ハ海岸線少キガ爲メニ著シカ  
 ラズ。





### 第四章 東海道

#### 伊賀國

伊賀ハ東海道最初ノ國ニシテ直チニ畿内ノ山城ニ接セリ。四境皆山ニシテ諸水集リテ木津川トナリ、大和ヨリ來ル所ノ名張川モ亦木津川ニ入ル。此ノ地勢ニヨル時ハ伊賀ハ寧ロ畿内ニ屬スル者ナリ。

伊賀越

當國ノ名邑ヲ上野トス。東海道驛路ハ道路ノ便宜ニヨリ、伊勢ヨリ東山道ノ近江ヲ經テ京都ニ至ルヲ以テ、當國ノ上野ヲ經テ山城又ハ大和ニ入ルヲ特ニ伊賀越ト稱ス。關西鐵道ハ大阪ヨリ來リ、木津川ニ沿ヒ上野ヲ經テ伊勢ニ入ル。大和ノ櫻井、初瀬ヨリ來ル者ハ名張川ニ沿ヒテ亦上野ニ會スベシ。關西鐵道將ニ伊勢ニ入ラントスル時、一線

交通ノ發達

ヲ分チテ左ノ方近江ノ草津ニ至ル。

**交通** 道路殊ニ鐵道ハ成ルベク平坦ノ地ヲ擇ビテ通ズ、故ニ特殊ノ事情アルノ外ハ大抵河海ノ沿岸ニ近シ、例ヘバ畿内ノ鐵道ハ淀川、大和川、木津川ノ流域及ビ攝津、和泉ノ海岸線ナルヲ以テ知ルベシ。是一ハ工事ノ容易ナルニヨリ、一ハ名邑大市ハ多ク是等ノ地方ニアルヲ以テナリ。

#### 伊勢國及ビ志摩國

鈴鹿山脈

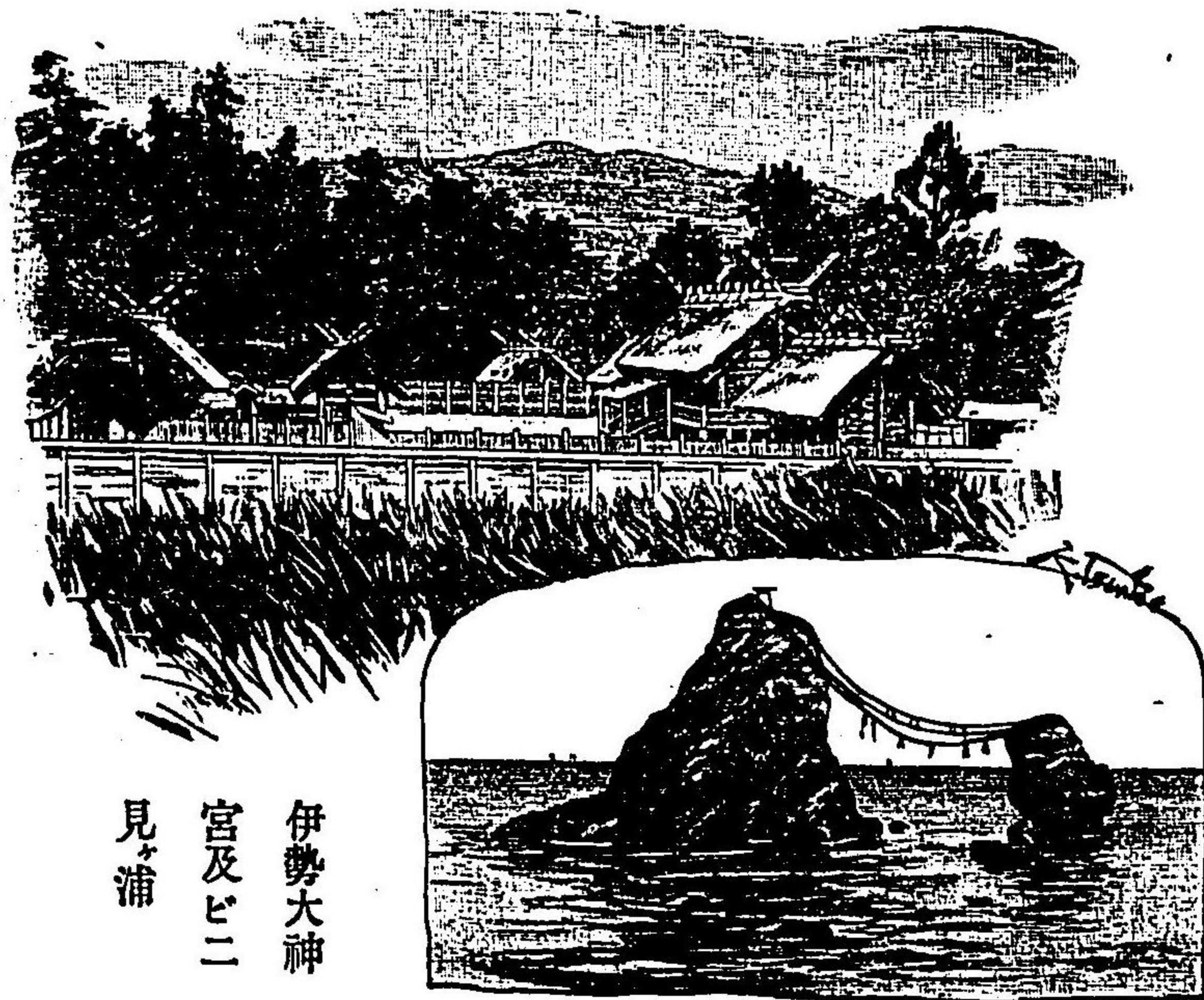
地勢ハ東一面伊勢海ニ臨ミ、西ハ鈴鹿山ノ脈連亘シ、南部ニ至リテ紀伊山脈ニ連ナレリ。近江境ノ鈴鹿峠ハ東海道驛路ガ近江ニ移ル處ナリ。

四日市

伊賀ヨリ鈴鹿山脈ヲ越エテ來レル關西鐵道ハ四日市、桑名ヲ經テ尾張ニ入ル。四日市ハ本州中部ノ要港ニシテ盛ンニ此ノ地方ノ米穀ヲ輸出ス。當國モ伊勢、米トシテ



津



伊勢大神  
宮及比二  
見浦

三  
良米ヲ産シ、桑名ハ昔  
ヨリ米穀ノ市場ニシ  
テ、又桑名ノ時雨蛤ノ  
名世ニ聞エタリ。伊  
勢ハ亦海産ニ富ミ伊  
勢ひじき、伊勢眞珠等  
名高ク伊勢海老ハ已  
ニ一ノ普通名詞トナ  
レリ。

關西鐵道四日市ニ  
至ル前、右ニ支線ヲ分  
カチテ津市ニ至ル、此

兩宮

ノ地ハ安濃津トモ云ヒ、三重縣廳アリテ、伊賀、伊勢、志摩三國  
及ビ紀伊ノ熊野川以東ヲ管ス。參宮鐵道之ニ繼ギテ南  
ニ進ミ松坂ヲ經、宮川ヲ渡リテ山田ニ至ル。松坂ハ松坂  
縞ノ產地ニシテ、敷島の大和心を人間はば朝日に匂ふ山櫻  
花ト詠ゼシ本居宣長ノ生地ナリ。

山田ハ五穀ノ神ナル豐受大神ヲ祭レル外宮ノ地ナリ。

是ヨリ程遠カラヌ五十鈴川上ナル宇治ノ内宮ハ即チ皇  
祖天照大御神鎮座ノ宮ナリ。今ハ宇治山田ノ兩村合シテ  
一町トナリ宇治山田町ト稱ス、是ヨリ東ノ方二里ニ二見  
浦ノ勝地アリ、此ノ處志摩ノ境ニ近シ。

志摩ハ伊勢ノ東南角ノ一部ニシテ過半ハ紀伊山脈ノ山  
地ナリ。山脈ハ海ヲ越エテ三河ノ渥美半島トナリ、相對シ



本州中  
最小國

テ伊勢海ノ口ヲ抱ケリ。海岸出入多クシテ鳥羽及ビ的矢ノ港アリ。此ノ國縱七八里、横之ガ半バニシテ本州中最モ小ナル國ナリ。海藻ハ重要ノ産物ニシテところてん等最モ多量ヲ産スレド、此ノ國ノ海産ハ一タビ伊勢ニ入り、伊勢ノ名ニヨリテ諸國ニ出ヅル者多シ。

尾張國

濃尾平野

尾張ハ東山道ナル美濃ト地勢ヲ共ニシ、木曾川ノ流域ナル濃尾平野ノ大部分ナリ、木曾川ハ國境ヲ成シテ伊勢ノ海ニ注ダリ。木曾川ハ遠ク源ヲ信濃ノ木曾山中ニ發シ、全國著名ナル大河ノ一ナリ。其ノ流域ナル濃尾平野ハ延キテ伊勢ニ及ビ、殊ニ尾張ハ殆ント全ク平野トモ云フベク、地味肥沃ニシ

三角洲

テ尾張米並ニ尾張大根ノ名天下ニ高ク、麥亦甚ダ多シ。

三角洲

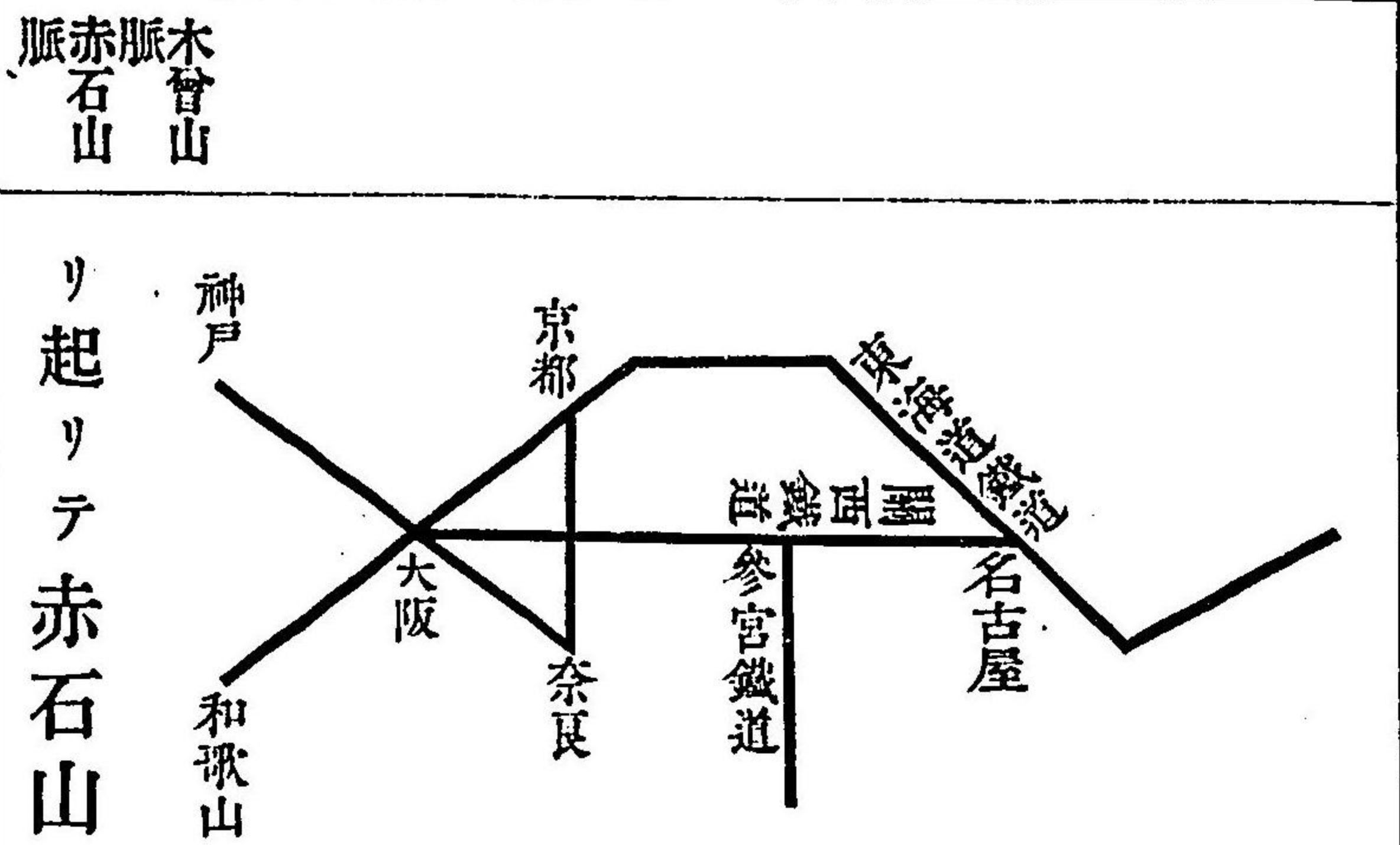
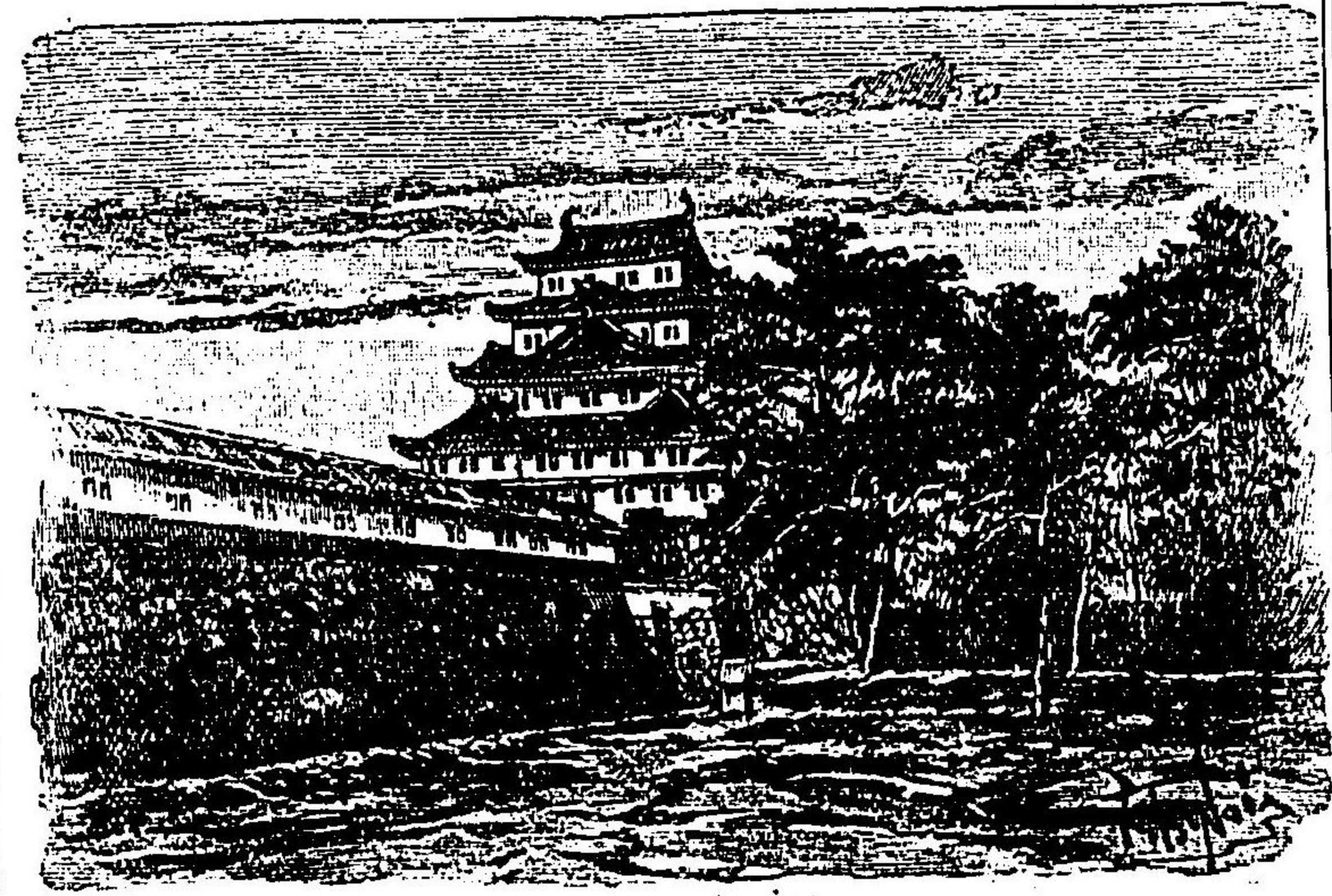
大ナル河ノ下流ハ數派ニ分レテ多クノ河口ヲ成シ、其ノ間ニ三角形ノ洲ヲ形ヅグル者多シ。是ハ初メ河水ノ運ビ來レル泥土ニシテ、而シテ河ハ却テ之ガ爲メニ流路ヲ傍ニ轉ゼシ者ナリ。サレバ三角洲ハ地質極メテ肥沃ニシテ、殊ニ木曾川ノ三角洲ハ最モ著名ナリ。洲内ノ村落一百内外アリ、其ノ過半ハ伊勢ニ屬ス。

名古屋

名古屋ハ兩京間第一ノ都會ニシテ、此ノ地方交通ノ中心ナリ。關西鐵道伊勢ヨリ來リテ此ノ地ニ終ハリ、東海道鐵道東京ヨリ來リ、此ノ地ヲ過ギテ美濃ニ入り、京都ニ趣ク。今又左ニ畧圖ヲ以テ主要ナル鐵道ノ連絡ヲ示セリ。中央鐵道モ東京ヨリ木曾ヲ經テ早晚名古屋ニ達スベシ。此ノ地ハ商業地ニシテ名古屋扇及ビ七寶磁器亦有名ナリ。愛



知縣廳ココニ在リテ尾張三河二國ヲ管ス。名古屋城内ニハ名古屋離宮及ビ第三師團司令部アリ往時ノ黄金ノ名號今猶城樓ノ上ニ輝ケリ。名古屋ヨリ東海道鐵道ニテ東ニ向フ。熱田驛ハ草屋薙寶劍ヲ祭レル熱田神宮鎮座ノ地ニシテ、單ニ宮トモ云フ。鐵道ハ東境ニ至リテ知多半島ニ支線ヲ出ス、此ノ半島ハ酒及ビ醬油ノ多量ヲ



産セリ。半島ノ頸ニ當レル鳴海ハ戰國ノ頃ノ古戰場ニシテ、近傍ノ有松ハ鳴海絞ノ産地ナリ。此國ハ織田信長豊臣秀吉ノ生國ナレバ其ノ頃ノ古戰場多シ。東北隅ハ三河續キノ山地ニシテ瀬戸アリ、現今陶器業ノ最モ舊キ地ニシテ製造盛ナルガ故ニ瀬戸物ハ陶器ノ一名トナルニ至レリ。

三河國

三河ハ北ノ方東山道ナル信濃ノ木曾山脈ニ續キ、東ハ紀伊山脈渥美半島ヨリ起リテ赤石山脈ト稱セラレ、遠江、信濃ノ間ニ連亘ス。



是等ノ間ヨリ流れ出ヅル川ハ西ニ矢矧川アリ、東ニ豊川アリ皆前面ナル衣浦イノウラニ注グ。此ノ二川ハ矢矧川ノ支流ナル大平川ト共ニ當國ノ著名ナル川ニシテ、三河ノ名ハ是ヨリ出デタリ。

此ノ國ハ徳川家康公ノ生國ナリ、東海道鐵道線ニ當レル岡崎ハ當初家康公居城ノ地ナリ。其ノ山入リノ地ヨリ花崗石ヲ出セリ。此ノ國ノ山地ハ尾張ノ瀬戸地方ヨリ美濃、信濃ニカケ、木曾山脈ノ一大花崗石地方ニシテ、瀬戸ニ接スル地方ヨリハ多ク陶土ヲ産セリ。(京都東山ノ條參看)

豊橋ハ舊名吉田ニテ第三師團ノ分營アリ、二十七年平壤ノ役ニ最モ驍勇ノ名ヲ得タルハ此ノ豊橋聯隊ナリキ、古ヘノ三河武士ニ愧ヂズト云フベシ。豊橋ヨリ鐵道支線アリ

有名ナル豊川稻荷ニ至ルベシ。亦豊川ノ上流附近ニハ鳳來寺山アリ、此ノ山ニ付キテハ後章ニ於テ又説ク所アルベシ。

### 遠江國

地勢三河ニ續キテ北方ハ山多ク、諸水皆南ニ向ヒテ海ニ入ル。三河ニ近キ海濱ニ濱名湖アリ。元ハ海水ト通ゼザリシガ、四百年前明應ノ地震ニ、湖口破レテ海ト通シ、其ノ處ヲ今切ト云ヒテ近頃マデ舟渡シナリシヲ今ハ鐵道其ノ上ニ通ゼリ。南ハ渺渺タル太平洋ニシテ志摩ノ鼻ヨリ伊豆ノ鼻マデヲ遠州灘ト云ヒ、波濤常ニ荒シ。

湖水ヨリ東ニ進メバ濱松アリ亦家康公居城ノ地ニシテ、今モ國中第一ノ名邑ナリ。濱松ノ北ナル三方原カサハラハ家康

濱松



ガ武田信玄ト苦戦シタル古戰場ナルガ、今ハ茶ノ產地トシテ本邦中屈指ノ地ナリ。

濱松ヨリ東シテ天龍川ヲ渡ル。天龍川ハ信濃ノ諏訪湖ヨリ發源シテ國ヲ縱斷スル者ナリ。又東シテ駿河境ナル大井河ヲ渡ル。此ノ川ハ昔海道一ノ難所ト稱シ、旅人ハ驛夫ノ肩車ニ乘リテ渡リシ所ナリ。彼ノ赤石山脈ハ三河ヨリ來リ、天龍、大井ノ間ヲ連亘シテ信濃ノ東境トナル、其ノ主山赤石山ハ大井川ノ上流ニ峙テリ。

### 駿河國

北ハ山ヲ負ヒ、南ハ海ニ臨ミ、諸水直チニ海ニ向フコト前諸國ト同シ。但尾張以東ハ山勢漸ク海ニ迫リ、駿河ニ至リテハ海岸ノ平地尤モ狹ク、川流隨テ急ナリ。南ナル海ハ駿

### 静岡

河灣ニシテ遠江ノ鼻ト伊豆ノ鼻ト左右ニ相對シテ此ノ海ヲ抱ケリ。

鐵道遠江ヨリ静岡ニ至ル、此ニ静岡縣廳アリ、遠江、駿河、伊豆三國ヲ管ス、昔ハ駿府或ハ府中ト云ヒシ地ニシテ家康公隱居ノ地ナリ。東ノ海邊ニ峙テル久能山ニハ同公ノ廟所アリ、是ヨリ一轉シテ北ニ至レバ清水港アリ、二保、松原ハ海中ニ突出デテ富士山ヲ望ム絶景ノ地ナリ。

富士山ハ國ノ東北ニ立チテ甲斐ニ跨リ、本邦無二ノ名山ナリ。海面上直立一萬二千尺、千秋ノ雪消ユル時ナシ。其ノ前ノ海邊ヲ田子浦ト云ヒテ亦富士ヲ眺望スル勝地ナリ、昔山邊赤人ガ『田子の浦自打出でて見れば、眞白にぞ富士ノ高嶺ニ雪は降りける』と詠ミシハ是ナリ。其ノ富士ニ近



キ處ヲ裾野ト云ヒ、曾我兄弟復讐ノ跡ナリ、今ハ其ノ邊處處ニ三極ヲ植エテ駿河半紙ヲ製ス。

富士川ハ甲斐ヨリ來

富士山



貿易場  
標準茶

石ニ衝突シテ粉碎セラル。駿河トハ銳キ河ト云フ意味ニシテ、此ノ川ヨリ得タル名ナリ。他日駿甲鐵道ハ此ノ流路ニ沿ヒテ甲斐ニ入ルベシ。富士川ノ西ニ庵原郡アリ、製茶ノ多量ハ駿遠ヲ稱スル中ニモ、庵原ノ茶ハ良品ニシテ外國貿易場ノ標準トセラル。

坂東

サテ東海道鐵道ハ静岡ヨリ清水附近ヲ過ギ、庵原ヲ過ギ、富士川ヲ渡リ田子浦ヲモ過ギテ沼津ニ至ル。東海道驛路ハ是ヨリ伊豆ノ一隅ヲ通りテ相模ノ箱根ニ出ヅレドモ、鐵道ハ暫ク驛路ヲ離レテ箱根山ノ後ロナル御殿場ニ出デテ相模ニ入ル。是古ヘノ足柄峠ノ道ニシテ、坂田公時出身ノ地ナリ。所謂坂東トハ此ノ坂ノ東ト云フ意ナリ。關東ト云フモ亦同シ事ナレド、ソハ箱根ノ關ヨリ出デタル名



ナリ、更ニ相模ノ條ニ委シクスベシ。

### 甲斐國

富士山ノ陰ナル山國ニシテ、四方山ニテ圍マレタリ。即チ南ニハ富士、西ニハ赤石山脈、北ニハ八岳、<sup>ヤツタ</sup>金峰山<sup>キンネン</sup>アリ、東ハ武藏、相模ニ隣シテ武藏ノ秩父山脈ヲ界トセリ、之ヲ一名關東山脈ト云フ。國內過半ノ水ハ集リテ富士川トナリ、獨リ東部ナル秩父山脈間ハ別ニ一區劃ヲ成シ、其ノ水、桂川トナリ相模ニ入りテ相模川トナル。

甲府ハ大凡中央ニアル都會ニシテ山梨縣廳茲ニアリ、當國一圓ヲ管ス、武田信玄ノ城址ハ此ノ附近ニアリ。甲斐ノ民今ニ至ルマデ信玄ヲ崇拜シ、一般ノ氣象剛強ニシテ片意地ナリ。甲府ノ北ニ立テル御岳<sup>ミタケ</sup>及ビ金峰山ハ花崗石質ノ

關東山脈

甲府

花崗石

地ノ寶石

山ニシテ甲府水晶及ビ他ノ寶石ヲ出ス。花崗石地方ニハ多ク美瑛<sup>ミヅノ</sup>シキ礦物ヲ藏スルコト多シ。

甲府ヨリ富士川ニ沿ヒテ駿河<sup>橋</sup>ニ下ル道アリ、國境ニ近キ身延山ニハ日蓮宗ノ大本山アリ。甲府ヨリ東ノ方東京ニ赴ク街道ハ東京ヨリ之ヲ稱シテ甲州街道ト云フ、中央鐵道ノ通





ズベキ道ナリ街道ノ勝沼ハ有名ナル甲州葡萄ノ產地ニシテ前ニ横タハル笹子峠ハ東西二部ノ分水界ニシテ目下工事中ナル中央線ノ隧道ハ長サ三哩ニシテ東洋第一ナリ。峠ヲ越ユレバ東部即チ郡内ニシテ甲斐・絹・郡内・縞ノ產地ナリ。桂川ニ架レル猿橋ハ橋杭ヲ用ヒズ奇巧絶景共ニ名高シ。

### 伊豆國及ビ豆南諸島

伊豆ハ海中ニ突出シタル半島ニシテ山脈國中ニ連ナリ平地甚ダ少シ。山脈ハ東海岸ニ面スル者ト西海岸ニ面スル者トニシテ東面ニハ天城山アリ有名ナル大山林ニシテ天城炭ヲモ出シ又此ノ地方ヨリ伊豆石ヲ出ス。東西ノ二脈ノ間ナル溪谷ノ水集リテ狩野川トナリ駿

### 間歇泉

河ノ海ニ注グ。此ノ川ノ流域ニハ頼朝ノ流サレシ蛭小島範頼ガ幽囚セラレシ修善寺等歴史ニ關係アル地甚ダ多シ而シテ修善寺ハ亦有名ナル温泉地ナリ。豆相鐵道ハ東海道鐵道ヨリ此ノ流域ニ分岐シテ既ニ修善寺近傍ナル大仁ニ至レバ後來必下田ニ達スベシ。下田ハ東海岸ノ南部ニアリテ一ノ良港ナリ熱海ハ北部ニアリテ有名ナル温泉地ナリ。熱海ノ温泉ハ間歇泉トテ晝夜時間ヲ定メテ噴キ出ツル者ニシテ泉量頗ル多ク其ノ冬季温暖ナルコト本邦屈指ノ地ナリ。此ノ地ヨリ海岸ニ人車鐵道ヲ架シテ相模ノ小田原ニ至レリ。鯉節ノ中等以上ニ位セル伊豆節ハ大抵伊豆ノ東海岸ニ産ス。伊豆ノ東南ニ亘リテ大島利島新島神津島三宅島御藏島



八丈島ノ七島アリ、之ヲ伊豆七島ト云フ。大島ハ鎮西八郎爲朝ノ流サレシ島ナリ、其ノ三原山ハ火山ニシテ常ニ烟ヲ吐キ、伊豆相模ヨリ遙カニ之ヲ望ムベシ。八丈島ハ、有名ナル八丈縞ノ本場ナリ。

八丈島ヨリ更ニ東南ニ方リテ小笠原群島アリ、豊臣氏ノ時、小笠原貞頼ノ發見スル所ナルニヨリ此ノ名アリ、父島母島、兄弟、姊妹、婿、媳等ノ諸島ヨリ成ル。其ノ地本州ヨリ二百餘里ノ南ニアルヲ以テ温暖ナルコト甚ダシク、椰子、れん、あななす、海龜等熱國ノ産物ヲ出ス。

小笠原島ノ西南ニ三座ノ無人島アリ、之ヲ硫黃島列島ト云フ。其ノ中央ノ島ニ火山アル故ニ、火山列島トモ稱セラレ。其ノ東ニ南鳥島アリ。以上總稱シテ豆南諸島ト

火山及  
ビ温泉

云フ。

火山及ビ温泉

火山 ハ地中ノ熱ニヨリ  
テ熱セラレタル水蒸氣又  
ハ熱ニヨリテ溶カサレタ  
ル岩石即チ熔岩等ヲ噴出  
ス山ニシテ其ノ噴出物ハ  
烟ノ狀ヲ成シ、又徃徃火光  
ヲ放ツコトアリ。熔岩ノ  
冷エ固マリタルニハ灰ノ  
如キ者アリ或ハ浮石カサシ或ハ  
俗ニ燒石ト云フ類アリ、或  
ハ伊豆石多クハ學名安山





火山石材

岩ノ如キ緻密ナル石材モアリ火山ハ皆此クノ如キ物質ノ噴火口ノ周圍ニ積ミ累ナレル者ナリ。火山ノ現ニ噴出シツツアルヲ活火山ト云ヒ然ラザルヲ休火山ナド云フ三原山及ビ硫黃島ノ山ハ活火山ニシテ富士山ハ休火山ナリ。火山ノ破裂スル時ハ近傍ニ灰ヲ降ラシ岩石ヲ飛バシ田園村落ヲ害スルコト多シ。温泉ハ大抵火山地方ニ多キ者ナリ箱根七湯伊豆ノ熱海修善寺等皆有名ナリ

富士箱根天城八岳ノ如ク火山ノ相連ナレルヲ火山脈ト云フ此ノ脈南ハ硫黃島ニ至リ北ハ上州ノ妙義山信州淺間山等ヲ經テ越後ニ至ル之ヲ富士帶ト云フ。富士帶ハ本州ヲ横斷シテ南北ノ間ニ最モ隆起セル處ナリ。

相模國

相模ノ西境ナル箱根峠ニ昔ハ關所アリシヲ以テ是ヨ

關東

關東平野

リ東ヲ關東ト稱ス。而シテ東海道ノ相模武藏安房上總下總常陸ト東山道ナル上野下野トハ共ニ山脈ニ擁セラレ其ノ中ニ太平野ヲ開キテ一區劃ヲ成ス故ニ此ノ一團ノ國國ヲ關東又ハ關八州ト云ヒ其ノ平野ヲ關東平野ト云フ。武藏ノ秩父山ヨリ甲斐相模ノ間ニ亘レル山脈ヲ關東山脈ト云フハ蓋シ關東諸國ノ經界ナルヲ以テナリ。關西ノ關ハ昔ノ鈴鹿ノ關ヲ意味ス、注意スベシ。

相模ハ今云ヘル如ク北ト西トハ關東山脈及ビ箱根山ニシテ國內亦山多シ。南面ハ相模灘ニシテ馬入川一名相模川甲斐ノ桂川ヨリ來リ南ニ流レテ此ノ海ニ注グ。

東海道驛路ハ伊豆ノ三島ヨリ來リテ箱根峠ヲ越ユ。箱根ハ有名ナル七湯ノアル所ナルガ近來溫泉漸漸ニ開ケテ

箱根



今八十湯ニモ餘リヌラン。  
峠ノ絶頂ニハ蘆ノ湖アリ。  
山水清潔ニシテ湖邊ニ離宮  
アリ。

火口湖

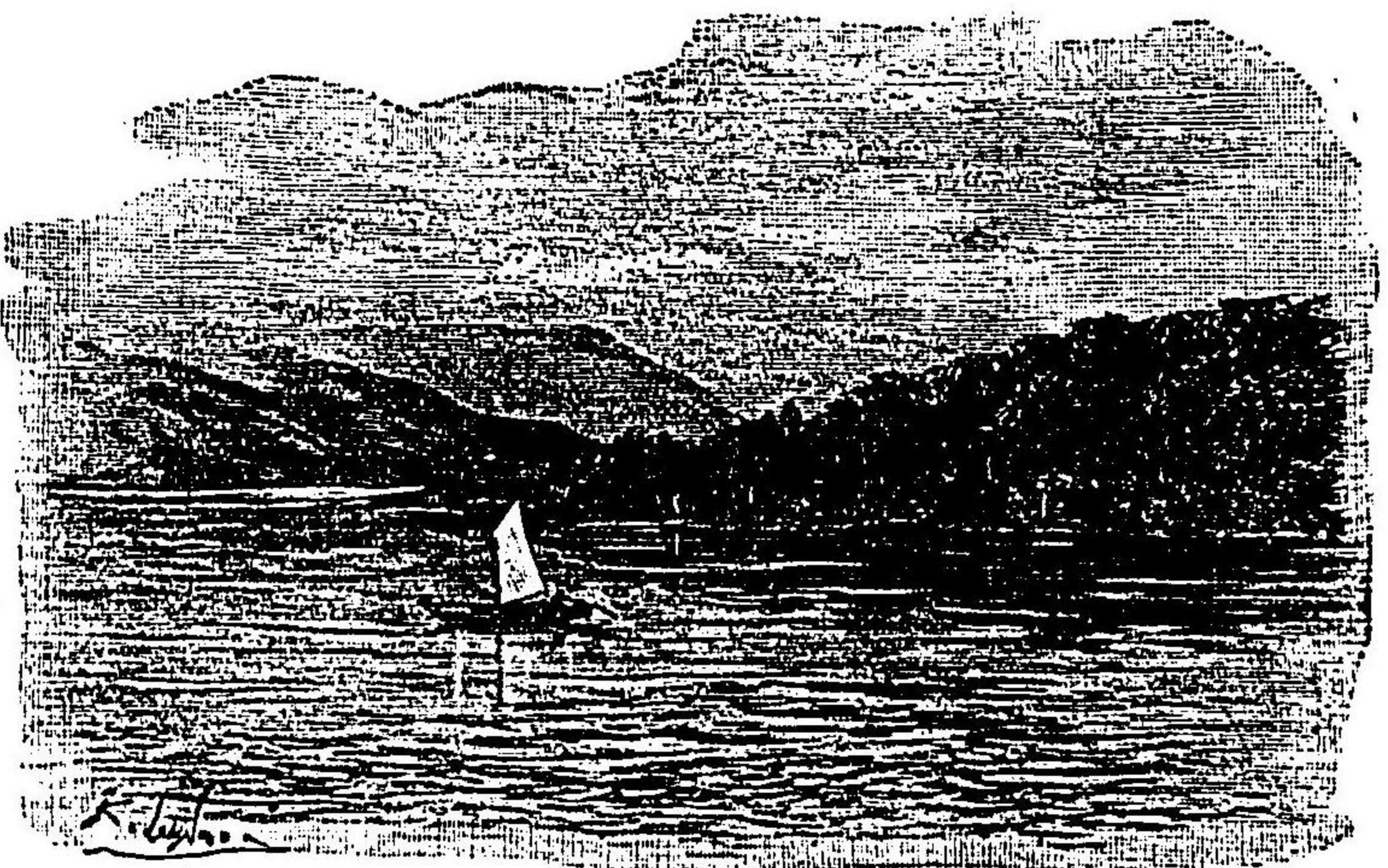
湖ノ一種 火口湖ハ舊噴

蘆

火口ノ休憩シタル處ニ水ノ溜リ、  
若シクハ湧キシ者ニシテ蘆ノ湖  
即チ其ノ一ナリ。此ノ外富士ヲ  
繞リテ駿河及ビ甲斐ニ火口湖ア  
リ、蘆ノ湖ヲ合ハセテ富士八湖  
ト稱ス。

湖

箱根ヨリ東海道小田原驛  
ニ至レバ名物漬物アリ。伊



鎌倉

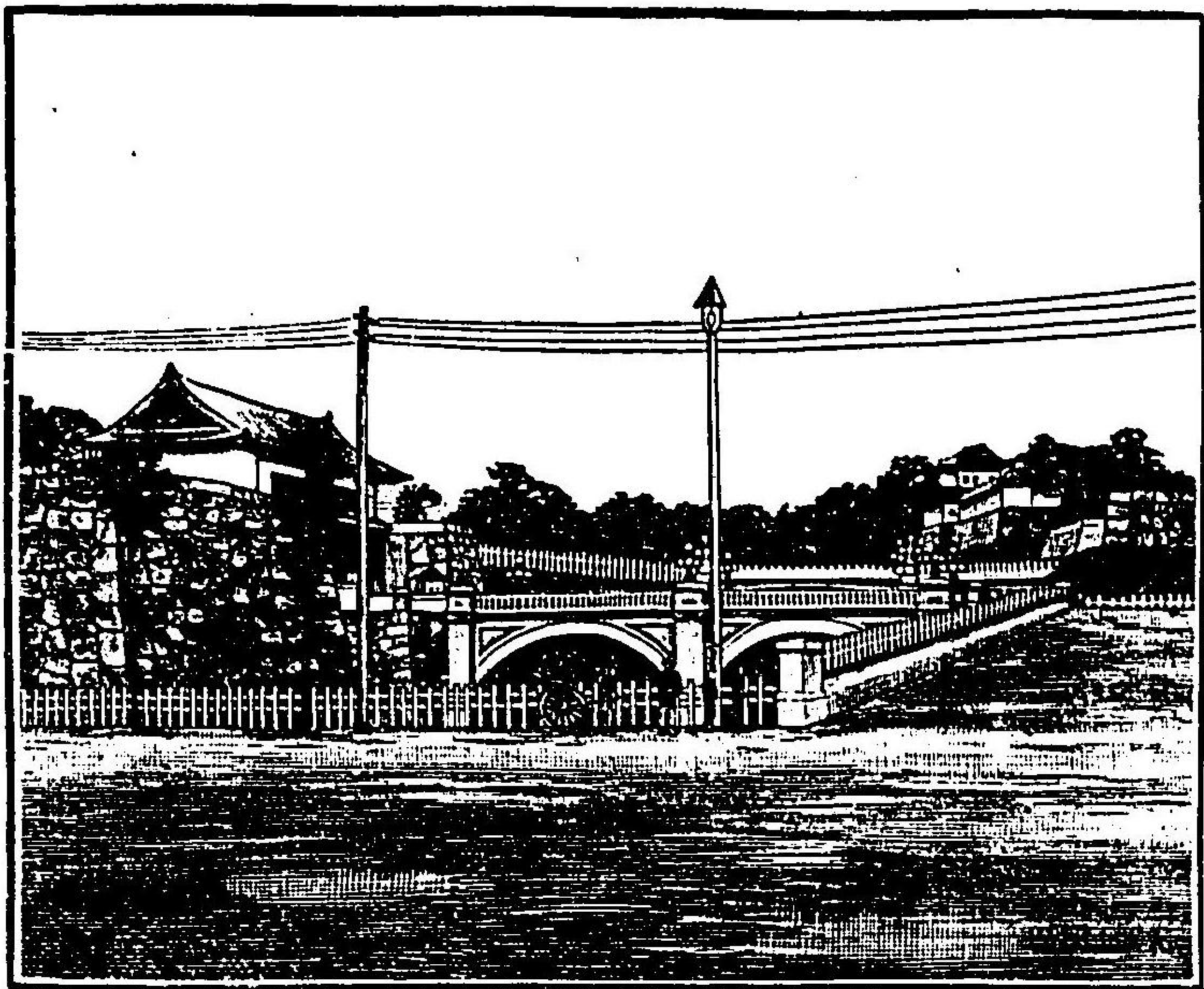
豆ノ熱海ヨリ茲ニ會スル街道ニハ頼朝ノ古戰場石橋山  
アリ根府川石安山岩ヲ産スル根府川アリ。國府津ニ至  
レバ東海道鐵道此ニ來會シテ再ビ東海道驛路ニ沿フ。斯  
クテ海水浴ニ有名ナル大磯ヲ過ギ相模川ヲ渡リ遊行寺ノ  
所在ナル藤澤ヲ過ギ將ニ武藏ノ國ニ入ラントスル前ニ鐵  
道ハ右ニ支線ヲ分チ鎌倉ヲ過ギ横須賀ニ至ル。

鎌倉ハ頼朝以後久シク幕府ノアリシ地ニシテ名所舊蹟  
神社佛閣ノ多キコト奈良京都ニ次ギ而モ氣候溫和ナルヲ  
以テ世ニ知ラル。鎌倉ヨリ西海岸所謂七里濱ヲ過グレ  
バ江ノ島ノ勝地アリ、七里濱トハ昔所謂坂東道六町一里ヲ  
以テ數ヘシ者ナリ。

當國ハ漁業甚ダ盛ンニシテ鎌倉海老殊ニ名ヲ得タリ。



東京



城

シ眺望快豁ノ地ナリ。  
軒端にぞ見る』ト詠ミ  
海近く、富士の高嶺を  
キ、吾が宿は松原續き  
太田道灌此ノ處ニ城  
沃野ニ連ナレリ。昔

宮

秩父絹ノ產地ナリ。  
諸水是ヨリ出デテ東  
京灣ニ注グ。  
東京ハ皇城ノ地ニ

鎌倉ヨリ南ハ三浦半島ニシ  
テ、其ノ横須賀ニハ鎮守府アリ。  
紀伊ヨリ大凡本州ノ北端ニ至  
ルマデノ海岸海面ヲ管シ、港灣  
良好ニシテ造船所壯大ナリ。  
其ノ東ニ突出セル觀音崎ハ  
東京灣ノ關門ニシテ砲臺アリ。

武藏國

武藏ハ關東大平野ノ一部ヲ  
占メ、古ヘ所謂武藏野ニシテ前  
ハ東京灣ニ臨ミ、秩父山西  
隅ニアリテ關東山脈ヲ成ス、是

賀 須 横





道灌ノ後徳川氏幕府ヲ爰ニ開キ、二百五十年間太平繁昌ヲ極メケレバ、草より出でて草に入りし武藏野ノ月モ、軒ヨリ出デテ軒ニ入り、土一升金一升ノ地ヲ照ラセリ。維新ノ後ハ諸省、諸院、帝國議會、東京帝國大學、三都督部、近衛師團、第一師團等皆此ニ集リ、東京府廳ハ武藏ノ中部一帶、伊豆七島及ビ小笠原島ヲ管セリ。市街ハ縱横三里ニ亘リ、人口一百四十萬、世界大都ノ一ニ居リ、人情ハ活潑任俠ニシテ頗ル慧敏ナリ。

地勢ト風俗ト

地勢ト風俗

山國ノ民ハ剛強質素ニシテ忍耐ナリ、平地ノ民ハ活潑華美ニシテ進取ノ氣象アリ、田舎ト都會トノ風俗モ亦大凡此クノ如シ、東海道ニテハ甲斐ト武藏トヲ以テ其ノ例トス。

秩父山ヨリ發スル荒川ハ下流ヲ隅田川ト云ヒ、東京ヲ通過シテ海ニ注グ。其ノ左岸ニ向島ムカシマアリ、無數ノ櫻樹長堤ヲ夾ミ、春ハ花、夏ハ葉櫻、秋ハ七草、冬ハ枯野、雪見、皆遊賞ニ宜シ。昔ハ此ノ川武藏、下總兩國ノ境ニシテ、有名ナル兩國橋ノ名モ是ヨリ出デタレド、後ニハ利根川ノ分流ナル江戸川ヲ以テ境トセリ。

多摩川モ亦秩父山ヨリ發シ、其ノ水清潔ナルヲ以テ中途ヨリ引キテ東京ノ水道ニ供ス。其ノ本流ハ下リテ六郷川ムササビトナリ、海ニ注グ。東京市外ヨリ此ノ邊ニ至ル内海ニハ、海苔採收ノ業盛シナリ、所謂淺草海苔ハ錦繪ト共ニ東京土産ノ著名ナル者ナリ。

隅田川、江戸川、六郷川皆平野ヲ緩流シテ來ル故ニ、流勢急



ナラズ、水量亦少カラズ、運漕、灌漑共ニ利アリ。殊ニ隅田川ト下總境ノ江戸川ニハ小汽船往來シテ、東京市内及ビ下總トノ交通ニ便ナリ。

東京ヲ中心トスル六街道

東京ハ東北諸國ノ中心ニシテ亦全國ノ中心ナリ。東京ヨリ諸國ニ趨ク國道六ツアリ、西ヨリ次第ニ數フレバ(一)東海道(二)甲州街道、是ノ二ツハ既ニ云ヘリ、(三)中山道ハ上野信濃ヲ過ギテ美濃ニ入ル者、(四)奥州街道ハ元ノ奥州諸國ヲ經テ、本州ノ北端ニ至ル者、(五)水戸街道ハ常陸ノ水戸ニ至ル者、(六)下總街道一名房總街道ハ二總ヨリ安房ニ至ル者是ナリ。

道路ノ等級

道路ニ國道、縣道、里道アリ。國道トハ東京ヨリ伊勢神宮、各府縣及ビ各師團本營ニ至ル者、縣道トハ各府縣、市邑相互ニ通シ、或

横濱

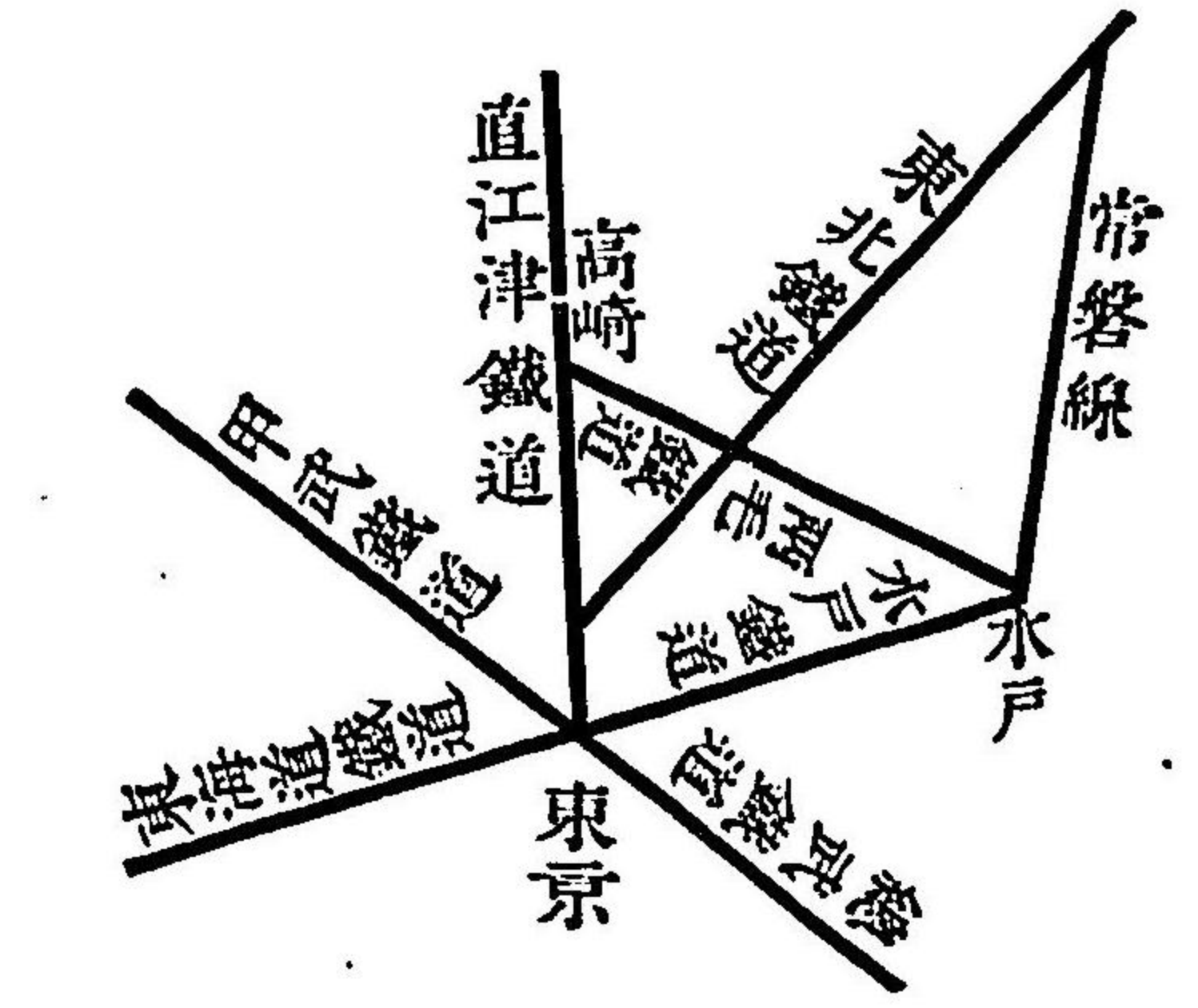
ハ師團本營ヨリ分營ニ通ズル者、里道トハ村里ノ通路ナリ。

外國航路

以上六方面ノ國道ニ沿ヒテ各鐵道アリ。先ヅ(一)東海道鐵道方面ヨリ云ハンニ、東京ヨリ西南十里ニシテ横濱アリ。横濱ハ元五港ノ一ニシテ神奈川縣廳爰ニアリ、武藏ノ南西部及ビ相模全國ヲ管ス。東京ヨリ海路ノ出入ハ皆此ノ港ニ發着シ、啻ニ東北諸國貨物聚散ノ中心タルノミナラズ、郵船ハ全國沿岸ニ定期航海ヲナシ、加之外國航路ハ此ノ港ヲ發着點トシ、東ハ米國ニ至リ、西ハ神戸ヲ經テ朝鮮、支那、露領浦潮斯德及ビ西洋ニ至ル。外國貿易ハ神戸ト東西相對シ、貿易ノ高、横濱ヲ全國第一トシ、神戸ヲ第二トス。是ヨリ鐵道ハ相模ニ入ル、相模ヨリ西ハ己ニ記載セリ。  
(二)甲州街道ノ甲武鐵道ハ養蠶ト絹布トヲ以テ有名ナ



ル八王子ニ通ゼリ。是中央鐵道ノ發端ニシテ甲斐、信濃、美濃ヲ通リテ名古屋ニ達スベキ者ナリ。甲武鐵道ニハ川越鐵道及ビ青梅鐵道ノ二枝線アリ。



東北線路ハ先ツ荒川ノ流域ニ沿ヒテ上リ、埼玉縣廳ノ所在ナル浦和ヲ過ギ、大宮ニ至リテ左右ニ分ル。(三)左ハ直江津線ニシテ初メハ中山道ヲ通り、遂ニ信濃ヨリ越後ノ直江津ニ至ル。(四)右ハ奥州街道ナル東北鐵道ニシテ、本州ノ北端青森ニ至ル。浦和、大宮ノ近郷ハ二子、縞ノ本場ナリ。埼玉縣ハ武藏ノ北半ヲ管シ

麥ノ産額第一

麥ヲ産スル量實ニ全國第一ナリ。(五)水戸鐵道及ビ(六)總武鐵道ハ武藏ヲ通過スル間甚ダ短クシテ、爰ニ云フベキ者ナシ。以上ハ東京ヨリ諸國ニ至ル鐵道六線路ナリ、若シ關東ノ大勢ヲ語ラバ此ノ他ニ猶肝要ナル一線アリ、即チ中山道線ノ上野國高崎ヨリ一線ヲ分チ、東北鐵道ノ小山ヲ横ギリ常陸ノ水戸ニ至ル横線是ナリ。高崎小山間ヲ兩毛鐵道ト稱シ、小山水戸間ヲ水戸線ト稱ス。猶水戸ヨリ磐城ヲ過ギ東北線ニ會スル常磐線アリ。以上略圖ニ示セリ。東京神戸間鐵道百五十里(一里ハ凡二哩半)急行時間十五時間ナリ。

下總國

下總ハ關東平野ノ一大部分ナリ。國內山岳ナクシテ河沼多ク、地勢ヲ一見シテ農産ノ豐饒ナルヲ知ルベシ。就中



利根川

武藏ニ近キ小金原習志野ハ有名ナル牧場ナリシガ、今ハ大抵開拓セラレテ麥其ノ他ノ農産物ヲ産スルニ至レリ。東海道第一ノ大河ナル利根川上野ヨリ來リ、國ノ西北隅ヲ過グル邊ニ古河アリ、東北鐵道此ノ一點ヲ過グ。古河ト對スル一隅ニ結城・紬・結城・木・棉ヲ以テ有名ナル結城アリ、兩毛鐵道ハ前ノ鐵道ニ「十」ノ字ヲ成シテ亦此ノ一點ヲ過グ。此ノ邊ヨリ下ル小流ハ皆利根川ニ入ル。利根川ハ多クノ小流及ビ印旛沼等ノ諸沼澤ノ水ヲ併セナガラ國中ヲ貫流シ、遂ニ常陸境ヲ成シテ銚子港ノ邊ヨリ海ニ注グ。銚子ハ漁獵ニ名高ク、又銚子縮ト號スル木棉縮ヲ産ス。銚子節ハ鯉節ノ中等以下ニ位スト雖モ、産額ハ頗ル多シ。其ノ東端ニ犬吠崎ノ燈臺アリ、是ヨリ南ノ海濱ハ上總ニカケ

洋流



濱九十九里

テ九十九里濱ト稱シ、鰯漁盛ンニシテ、關西及ビ支那ニ輸出セラルルほしかト云フ肥料ハ多ク爰ヨリ出ヅ。南洋ヨリ來ル暖流黒潮ハ本州ニ並行シテ來リ、銚子ニ至リテ稍本州ヲ遠ザカリ、北洋ヨリ來ル寒流親潮亦之ニ代ル。洋流 洋流トハ海水ノ運動ナリ、黒潮ハ南洋ヨリ來リ、琉球ニ沿ヒ、九州ノ南ニ至リテ一分流ヲ日本海ニ與ヘ、本流ハ太平洋ヲ流レテ御倉島ト八丈島トノ間ヲ過グル



トキ、黒瀨川ノ急流ヲ成シ、遂ニ銚子ニ至リテ漸ク北洋ニ赴ク暖流ナリ。其ノ流路特ニ暗緑ノ色ヲナスヲ以テ此ノ名ヲ得タリ。親潮ハ千島ノ北ナル露領堪察加ノ海ヨリ來ル寒流ナリ。

總ベテ海國ノ氣候ハ洋流ニ支配セラルコト多ク、殊ニ吾ガ國ハ全國過半黒潮ノ温暖ニ浴シ、北海道諸國ト雖モ比較的甚ダ温暖ナリ。暖流ニ生活スル鰹、鮪ノ類、寒流ニ生息スル鮭、鱒等ノ共ニ諸子ガ口ニ上ルハ亦洋流ノ恵ミナリ。航海者ハ洋流ヲ利用シテ進行ノ勢力ヲ得ルコト亦廣大ナリ。

利根川ノ分流ナル江戸川ハ、總武ノ境ニシテ、其ノ沿岸ニハ野田ノ醤油、流山ノ味噌、行徳ノ鹽等ヲ出ス。

總武鐵道東京ヨリ江戸川ヲ渡リ、東京灣ニ沿ヒ千葉ニ至ル、茲ニ千葉縣廳アリテ下總ノ大部分上總及ビ安房ヲ管ス。鐵道是ヨリ左右ニ分岐シ、左ハ印旛沼附近ナル佐倉、佐倉宗

千葉

吾ト佐倉炭トニテ名高キ地ヨリ東ノ方銚子ニ達ス、故ニ銚子ノ魚ハ數時間ニシテ東京ノ市場ニ至ルヲ得。又佐倉ヨリ成田ヲ經テ利根川邊ノ佐原ニ至ル鐵道アリ、之ヲ成田鐵道ト云フ。成田ニハ有名ナル新勝寺ノ不動アリ。千葉ヨリ右ハ房總鐵道ト稱シ、直チニ上總ニ入ル。

上總國及ビ安房國

上總ハ下總ノ平地ニ續キ、安房ニ近ヅクニ隨ヒテ山アリ、其ノ諸水ハ一面東京灣ニ注ギ、一面九十九里濱ニ注グ。千葉ヨリ來レル鐵道ハ轉ジテ九十九里濱ニ向ヒ已ニ一ノ宮ヲ過ギタリ。大塚ニ至リ

東京灣沿岸ニハ木更津アリ、東京通ヒノ小汽船發着スルヲ以テ當國第一ノ繁昌ヲナセリ。其ノ前ニ突出セル富



津ノ崎ハ相模ノ觀音崎ト相對シテ東京灣ノ關門ヲナシ、各砲臺アリ。

安房ハ山ヲ負ヒ海ヲ繞ラシ、漁獵最モ盛ンナリ。此ノ國ハ日蓮上人ノ生マレタル國ニシテ、關東殊ニ房總ニハ日蓮宗繁昌ス。

國ノ南端ナル館山ハ良港ニシテ、東京通ヒノ汽船常ニ出入シ、近隣ナル北條ト共ニ氣候溫和ニシテ遊人多シ。

### 常陸國

常陸ハ關東ノ東北端ナリ。南方ハ利根川ノ流域ニシテ關東平野ノ一部ヲ成シ、北ハ漸ク山多クシテ磐城ニ連ナレリ。是阿武隈山脈ニシテ後ニ委シ。其ノ最モ前ニアルハ筑波山ナリ、此ノ山甚ダ高カラズト雖モ、群山ノ陣頭ニ進

### 富士ト筑波

ミテ平野ニ屹立シ、東京ヨリ之ヲ望メバ恰モ富士ト相對シテ王城ヲ護ルガ如ク、以テ帝都ノ美觀ヲ成セリ。

筑波山ヨリ落ツル川川ハ霞浦ニ入り、其レヨリ北方ノ川ハ皆直チニ太平洋ニ注グ。霞浦ハ利根川ニ注グ所ノ湖水ニシテ、大キサ琵琶湖ニ亞ギ日本第二ノ大湖ト稱セラル。此ノ湖水元ハ入海ナリシガ、地形ノ變ニヨリテ湖トナリシナリ。鹿島ナル鹿島神宮ハ日本第一ノ古社ナリト云フ。其ノ前面ノ海ヲ鹿島灘ト云ヒ波濤常ニ荒シ。

### 湖ノ種類

湖ノ二種 大地ノ水底ニアリシ部分、地變ニヨリ漸ク隆起シテ陸トナリ、其ノ間ノ凹所ノミ依然トシテ殘レル者ハ湖水ノ一種ニシテ霞浦其ノ例ナリ。

此ノ外利根川附近ニ散在セル湖ハ舊河道ノ新河道ヨリ分離シテ遂ニ湖ノ形ヲ成セル者多シ、是亦湖ノ一種ナリ。



水戸



水戸鐵道東京ヨリ來リ  
 筑波山ヲ左ニ望ミ霞浦ヲ  
 右ニ見テ小山ヨリ來ル水  
 戸線ニ接シ水戸ニ至ル。  
 水戸ハ東北ニテ有名ナル  
 煙草ノ產地ニシテ爰ニ茨  
 城縣廳アリ常陸及ビ下總  
 ノ一部分ヲ管ス維新前ハ  
 徳川三家ノ一ナル水戸中  
 納言家ノ城地ニシテ黃門  
 光圀卿藤田東湖ノ如キ明  
 君良臣ヲ出シタリ。ソノ

偕樂園ハ梅花ノ名勝ニシテ日本三公園ノ一ト稱セララル。

那珂川ハ下野ヨリ來リ水戸ノ北ヲ過ギテ那珂湊ニ入ル。

常磐線ハ水戸ヨリ北ノ方海岸ヲ過ギテ磐城ニ入ル。東

北部ノ眞弓山ヨリ寒水石(大理石ノ一種)ヲ出ス。

東海道概要 東海道ハ前ハ海ニ臨ミ後ハ山ヲ負ヘリ。

其ノ山山ハ伊勢ニアリテハ紀伊山脈、鈴鹿山脈、三河ニハ木

曾山脈、駿遠ノ赤石山脈、甲州ノ諸山、關東山脈及ビ常陸ニハ

阿武隈山脈等ニシテ、獨リ濃尾平野ト關東平野トノミ山脈

ヲ缺ケリ。海岸線ハ出入多クシテ、海灣ノ東ニハ各一ノ

半島突出ス、即チ伊勢海ノ東ニハ知多半島アリ、衣浦ニ渥美

半島、駿河灣ニハ伊豆半島、相模灘ニハ三浦半島、東京灣ニハ

房總半島アリ、隨テ海岸線ノ入り込ムコト甚ダ深シ。



鐵道ハ東京ヲ中心トシ東海、甲武、直江津、東北、水戸、總武ノ六線諸方ニ分出シ、其ノ東海道線ガ名古屋ニ至ルヤ、關西鐵道之ニ會ス、是鐵道ノ大勢ナリ。氣候ハ平均シテ畿内ト大差ナク、而モ地勢概シテ南受ケナルノミナラズ、黒潮ノ影響ノ爲メ一般ニ暖カク、海岸ハ殊ニ溫和ナルヲ以テ安房ノ館山ヨリ伊勢ノ二見、浦ニ至ルマデ避暑避寒ノ養生地數フルニ違アラス。人情ハ概シテ敏捷ナリト雖モ、名古屋以西ハ上方風ニ近クシテ、伊勢最モ勤儉ニ名アリ、東北ニ至リテハ漸ク武斷ノ風ヲ帶ビ、甲斐ノ剛強、東京ノ任俠等ヲ著シトス。産業ハ農業ニ濃尾及ビ關東平野等アリ、漁業ハ海岸多キガ爲メ一般ニ利益多ク、殊ニ房總最モ盛ンナリ。鐵道全通シ港灣多キガ故ニ商業ノ便利亦多シ。





第五章 東山道

近江國

近江ハ東山道最初ノ國ニシテ、山城ニ隣シ、東山、東海兩驛路ノ咽喉ナリ。近江ハ淡海ノ義ニシテ琵琶湖ヨリ名ヲ得タリ。四境皆山ニシテ、西ハ山城ト比叡及ビ笠置ノ山脈ヲ隔テ、北ハ北陸道ト中國山脈ヲ隔テ、東ハ伊勢ノ鈴鹿峠ヨリ連續セル山脈ヲ以テ美濃ト界シ、諸山ノ水ハ悉ク中央ノ琵琶湖ニ注ギ、獨リ南頭ニ一大川ヲ開キテ比叡笠置ノ間ヨリ山城ニ流出スル者ハ彼ノ宇治川ノ上流勢多川ナリ。琵琶湖ハ日本第一ノ大湖ニシテ周回殆ト六十里、其ノ形琵琶ニ似タルヲ以テ此ノ名ヲ得タリ、即チ北ハ胴ニシテ南ハ轉手ナリ。湖中ニ多クノ魚ヲ産シ、周圍ノ平地ハ肥沃ナ

琵琶湖

ルヲ以テ、近江米ノ品質ハ第一等ニ算セラル。琵琶湖ハ地面ノ陷沒ヨリ成レリ、傳ヘ云フ紀元三百年代孝靈天皇ノ御宇ニ、一夜ニ此ノ湖ヲ生シ、同時ニ富士山ヲ現出セリト。

湖ノ一種

湖ノ一種 地震等ノ地變ニヨリテ地面陷沒シ、其ノ處ニ水ノ溜レル者亦湖ノ一種ニシテ、琵琶湖其ノ例ナリ。

湖ノ効用

琵琶湖ノ如ク注入ノ川ト流出ノ川トヲ持テル者ハ、第一、注入ノ水ガ伴ヘル泥土ヲ沈メテ清水ヲ流出スルノ効用アリ、第二、多量ノ水ノ貯蓄所トシテ出納共ニ水ノ平均ヲ保ツノ効用アリ。注入ノ道流出ノ道ノ一ヲ缺ク者或ハ兩者共全ク無キ者モ亦アリ。

大津

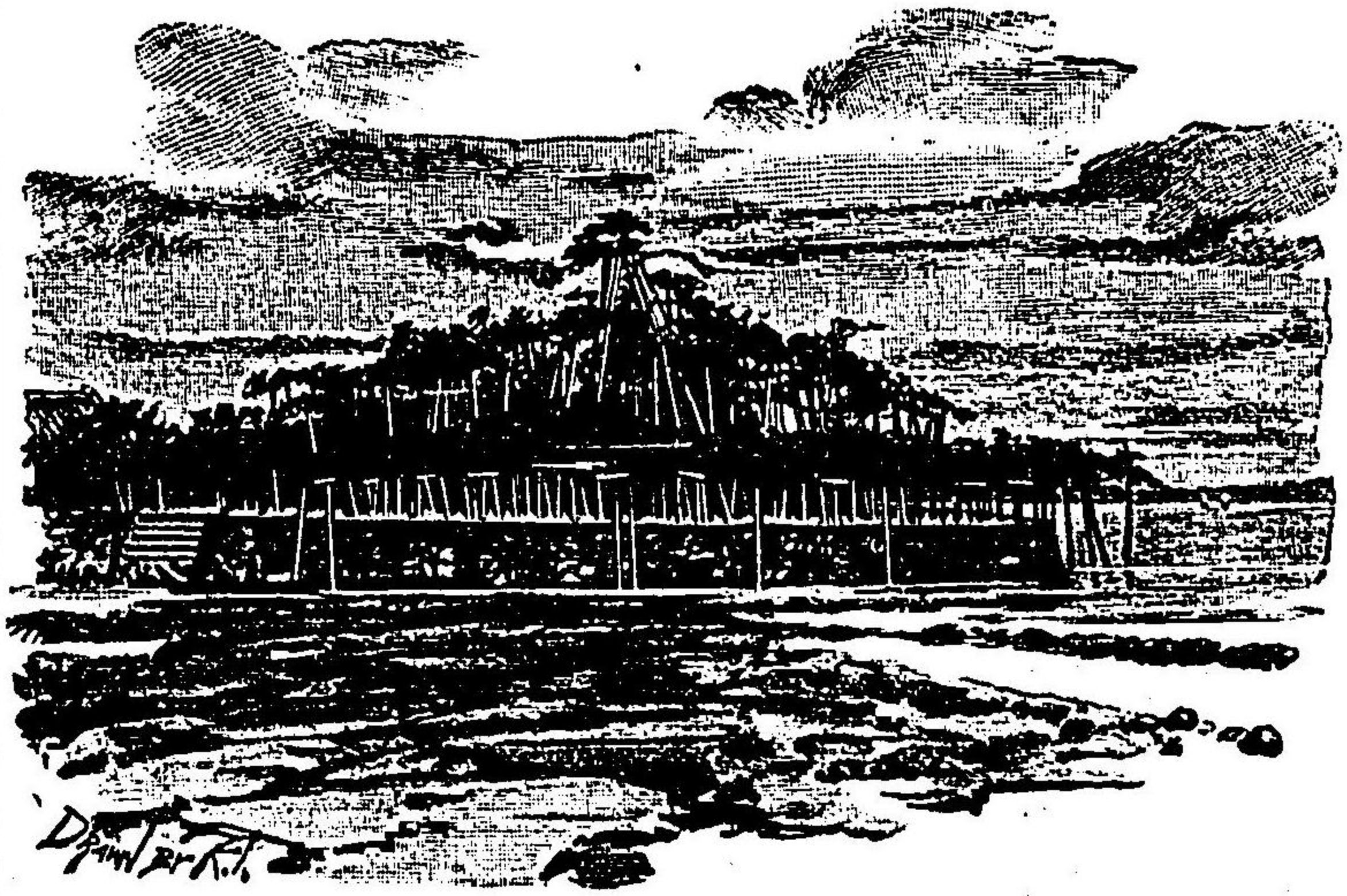
東海道鐵道ニヨリテ京都ヨリ東スレバ先ヅ湖南ノ大津ニ至ル、是當國第一ノ都會ニシテ、滋賀縣廳此ニアリ、近江全國ヲ管ス。其レヨリ勢多川ノ落口ヲ渡レバ勢多ノ長橋ハ



花崗石  
地ノ寶  
石ノ寶

鐵軌ト相並ビ、比叡山脈ナ  
ル比良ノ高嶺ハ山城境ニ  
峙チ、轉手附近ナル近江八  
景互ニ秀美ヲ競ヒテ、恰モ  
畫圖ノ中ヲ行クガ如シ。  
然レドモ胴部ニ至リテハ  
水烟渺茫トシテ波浪頗ル  
荒シ、中ニ竹生島アリテ辨  
財天ヲ安置セリ。湖南ノ  
諸山ハ笠置ヨリ續ケル花  
崗石質ニシテ、黃玉(ト一バ  
ズ)黒水晶等ノ寶石ヲ出ス。

近江八景ノ内唐崎ノ松



鐵道ノ  
複雜ノ

其レヨリ草津ニ至ル、此ハ東山道ト東海道トノ驛路ノ追  
分ナリ、左ハ東山道ニシテ美濃ニ赴キ、右ハ東海道ニシテ鈴  
鹿ヲ經テ伊勢ニ入ル。然ルニ東海道鐵道ハ却テ東山道驛  
路ニ隨ヒ、美濃ニ入リテ名古屋ニ出テ、關西鐵道ノ枝線ハ大  
凡鈴鹿ノ方面ニ向ヒテ伊賀ノ本線ニ會ス。此ノ驛路ト鐵  
道ト互ニ複雑セリ、諸子ハ宜シク心ヲ留ムベシ。伊賀ニ近  
キ信樂ハ茶ノ產地トシテ宇治ニ亞グ。  
草津ヲ過ギテ野洲川ヲ過グルトキ、河床ニ多クノ布ヲ  
晒セルヲ見ン、是野洲晒布ナリ、是ヨリ東ノ沿道ニハ多ク蚊  
帳ヲ出セリ。更ニ湖邊ニ沿ヒテ進マバ、丘上ノ青松白壁湖  
水ニ映ズルヲ見ン、是彦根城ニシテ曾テ開國ニ大關係アリ  
シ井伊大老ノ居城ナリキ。



鐵道湖邊ヲ離レントスル際一線米原ヨリ分レ更ニ湖邊ニ沿ヒテ北ニ進ミ越前ノ敦賀ニ至ル。其ノ間ニ長濱アリ、是濱縮緬ノ產地ナリ。又賤嶽アリ、是昔加藤清正等ガ少年ニシテ勇名ヲ揚ゲタル賤岳七本槍ノ古戰場ナリ。

鐵道本線ハ漸ク湖邊ヲ離レテ美濃境ヲ通過ス、左ハ艾ニ名高キ當國ノ伊吹山、右ハ瀧ニ名高キ美濃ノ養老山脈ニシテ是即チ伊勢ノ鈴鹿ノ脈ヨリ連續スル者ナリ。凡ソ此ノ國ノ人ハ職業上ニ一種ノ忍耐ト勇氣アリテ、少年ヨリ家郷ヲ離レ、獨立シテ商業ヲ營ム者多キハ世ノ知ル所ナリ。

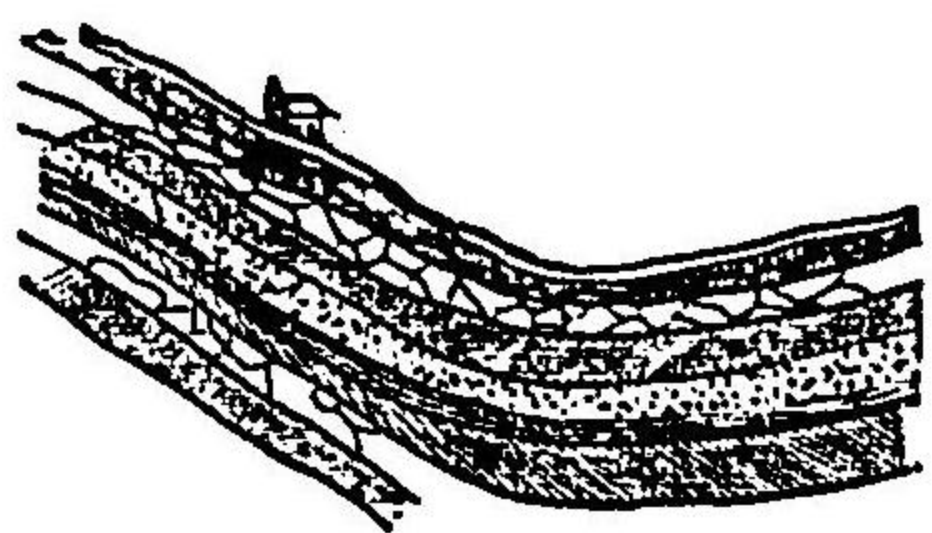
### 美濃國

美濃ハ南ノ一方打開キテ濃尾大平野トナリ、有名ナル美濃米ヲ産ス。他ノ三方ハ皆山ナリ。木曾川信濃ヨリ

來リテ濃尾ノ境ヲ成シ、伊勢ノ海ニ注グ。此ノ川、河底高クシテ元ハ長良川、揖斐川ト合流セシ後、其ノ水諸川ニ浸入シテ水害甚シカリシカバ、近年木曾川トノ通路ヲ絶チ、長良、揖斐二川ハ別ニ合流シテ海ニ注クベクセリ。此ノ國ハ明治二十四年濃尾大震災ノ震源トシテ、非常ナル慘害ヲ蒙レリ。

### 地震及ビ地層

#### 地震及ビ地層



地震ノ源因ハ種種アレドモ、本邦ニ最モ多キハ火山ノ破裂ニヨル者ト地沁リニヨル者トノ二ツニシテ、何レモ火山國ニ多シ。地沁リノ地震トハ地下岩石ノ層ノ移動スル爲メニ、非常ノ震動ヲ起ス者ニシテ、濃尾震災即チ是ナリ。諸子ハ攝津ノ條ニ於テ沖積土ノ層ヲ成スコトヲ學ビタリ。地下ニハ猶數多ノ層ヲ形ツクル所多ク、其ノ層ニハ粘土層、砂石層等アリ、之ヲ



地層ト云フ。新開道路ノ側等ニ於テ崖ノ削リ成サレタル面ニ於テ屢圖ノ如ク整齊ナル層ノ形状ヲ見ルヲ得ベシ。

サテ濃尾震災ニ於テ、美濃一國ノミニテモ死者五千人傷者一萬人潰家十萬戸モアリテ、實ニ前古未曾有ナル大震災ナリキ。

關原

東海道鐵道近江ヨリ彼ノ伊吹、養老ノ間ヲ出ヅレバ、當國ノ關原ナリ。爰ハ徳川氏天下分ケ目ノ大戦アリシ地ニシテ、昔東山道ノ關門ナリシ不破ノ關此ノ邊ニアリシヲ以ツテ關原ト稱ストモ云フ。其レヨリ大垣ヲ過グ、此ノ地ハ揖斐川ノ流域ニアリテ、此ノ邊ヨリ南ハ水害震災ノ最モ甚ダシカリシ地方ナリ。

岐阜

次ニ岐阜ハ長良川ニ臨ミ、當國一ノ都會ニシテ岐阜縣

紙下紙製品

應此ニアリ、美濃、飛騨二國ヲ管ス。長良川ノ鮎、漁ハ今猶鶻飼ノ古風ヲ存シ、遊賞ノ人少カラズ。其ノ上流附近ハ有名ナル美濃紙(本名書院)ノ產地ナリ。岐阜ニ岐阜挑灯、岐阜團扇、ゆとん等紙製ノ産物ノ盛ナルハ此ノ美濃紙原料ノ供給自由ナルニヨレリ。鐵道ハ岐阜ヨリ轉シテ尾張ニ入り、東海道ノ本道ニ就ク。

サテ東山道ノ驛路ハ岐阜ヨリ東ニ進ミテ木曾川ノ南岸ニ沿ヒ、信濃ノ木曾谷ニ入ル。名古屋ニ連續スル中央鐵道モ亦此ノ流域ニ入り、共ニ木曾谷ヲ通過スベシ。此ノ木曾川以南ノ地ハ陶器美濃焼ノ產地ニシテ、其ノ陶質清白、價格低廉能ク一般ノ需用ニ適セリ。産出ノ多額ハ全國第一ナリト雖モ、大抵世間ニハ瀬戸焼ト相混ゼリ。實ニ此ノ河南



陶業地ノ系統

諸郡ハ木曾山脈花崗石地ニシテ、三河ノ陶土、瀬戸ノ陶業ト系統ヲ同シクス。蜂屋柿ノ本場ナル蜂屋ハ河北ナル加茂郡ニアリ。

### 飛驒國

飛驒ハ美濃ノ北ナル山國ニシテ、中國山脈ノ末端其ノ西ト北トヲ圍ミ、東ハ越中立山ヨリ來レル立山火山脈ヲ以テ信濃ト界ス。此ノ東境ハ火山脈ト花崗石ノ山脈ト相交リテ最モ複雑セル山脈ナリ。内地ハ地勢南北ニ分レ、古來歌人ニ詠マレシ位山ハ南北ノ分水界トナリ、北ノ諸水ハ皆越中ニ入り、南ノ諸水ハ飛驒川トナリテ木曾川ニ入ル。

國中山多クシテ殆ト平地ナク、住民多クハ養蠶ニ勤ム。唯位山ノ北ニ多少ノ高原アリテ此ニ高山町アリ、山水清

立山火山脈

潔ニシテ小京都ノ名アリ、當國生絲ノ市場ナリ。

### 信濃國

信濃ハ本邦第一ノ山國ニシテ、諸山脈相會シ、水路亦多端ナリト雖モ、爰ニ略圖ヲ示サバ一目瞭然タルベシ。サテ最初ニ直江津線ヲ説明シ置クテ便トス。

直江津線ハ、既ニ云ヘル如ク、東京ヨリ上野ヲ過ギテ當國ニ入ル。國境ヲ碓氷峠ト云ヒ富士帶ノ淺間火山ト妙義山トノ間ニ當レリ。此ノ峠ハ日本武尊ノ『吾妻はや』ト歎キ給ヒシ

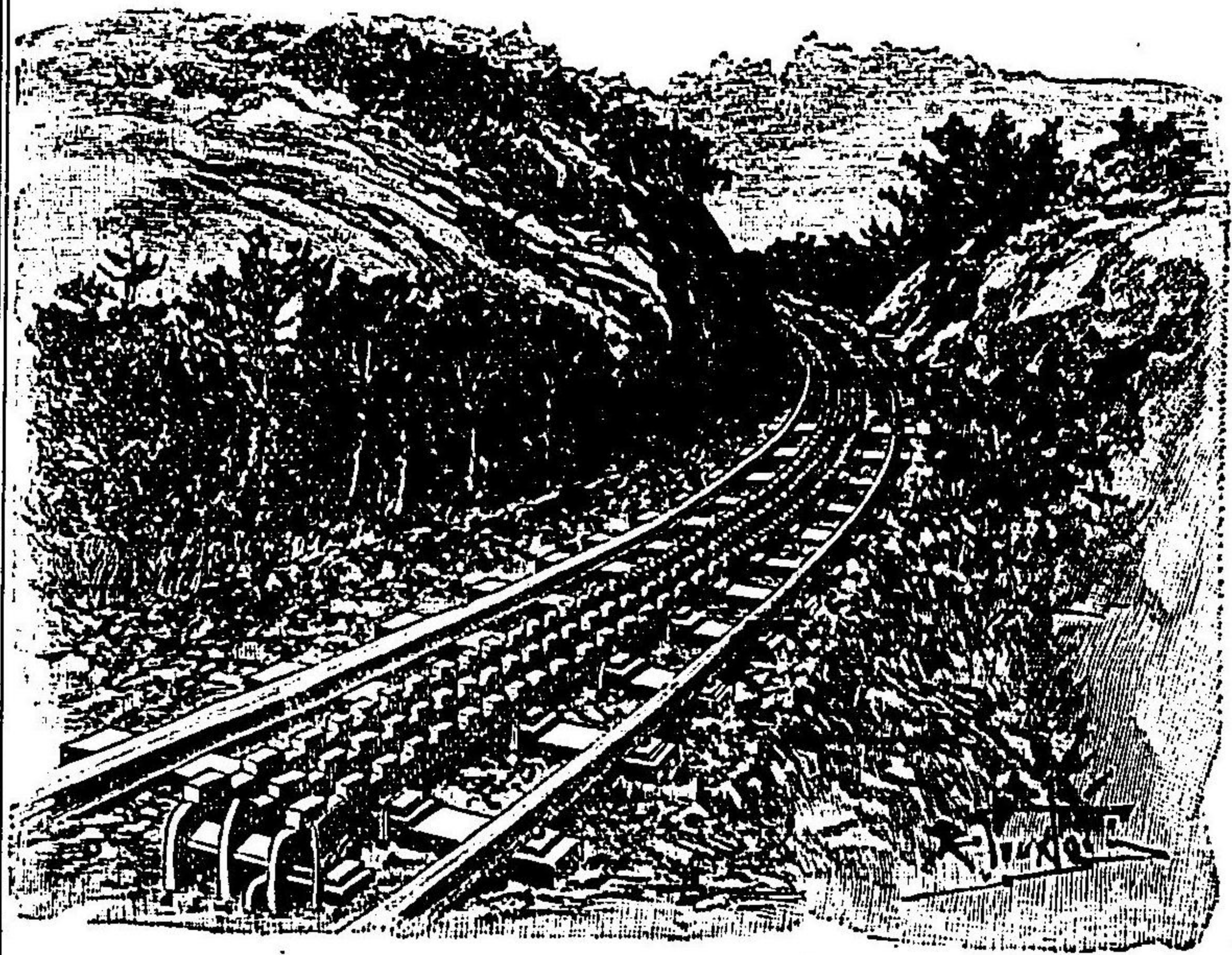




吾妻ノ國

處ニシテ、是ヨリ東ハ吾妻ノ國即チ關東ナリ。峠ノ麓ヲ輕井澤ト云ヒ、本州市邑ノ中寒氣最モ烈シキ處ナリ。信州ハ山間ノ高地ナルヲ以テ、一般ニ寒暑ノ差烈シクシテ内地性ナリ。斯クテ鐵道ハ輕井澤ヨリ淺間ノ烟ヲ右ニ望ミテ千曲川ノ流域ニ出デ上田・紬ニ有名ナル

道 鐵 ノ 峠 氷 碓



長野

上田ヲ過ギ、月ノ名所ナル『更級や姨捨山』ヲ左ニ見テ川中島ヲ過ギ、長野ニ至ル。更級ハ郡名ニシテ更級・蕎麥・名高シ。川中島ハ千曲川ト犀川トノ間ノ名ニシテ武田、上杉ノ古戰場ナリ。

長野ハ當國一ノ都會ニシテ長野縣廳ハ信濃全國ヲ管ス。市内ニ善光寺アリ、參詣ノ道者織ルガ如シ。此ノ邊一帶ノ地ヲ善光寺平ト呼ビ、信濃高原ノ最モ廣キ處ニシテ、田野善ク開ケタリ。鐵道ハ進ミテ、越後ニ入ル。

サテ美濃ヨリ來レル中央鐵道豫定線ハ木曾川ニ沿ヒテ木曾谷ニ入ル、即チ木曾街道ナリ。木曾山脈ハ三河ヨリ北方天龍、木曾二川ノ間ニ廣ガレル大花崗石地方ニシテ三河ヘカケ本邦第一ノ山林ナリ。谷ノ左ニハ立山火山脈ナ

木曾街道  
本邦第一ノ山林



ル木曾ノ御岳アリ、行者ノ登拜スル所ナリ。斯クテ街道ハ木曾谷ヲ上リテ、昔木曾ノ棧橋アリシ福島ヲ過ギテ、松本ニ至リ、左右ニ分カル。右ハ本線ニシテ諏訪ニ出デ、甲斐ノ甲府ヲ經テ東京ニ達シ、左ハ枝線ニシテ犀川ニ沿ヒ、直江津線ニ會ス。諏訪ハ天龍川ノ水源ナル諏訪湖ノアル所ニシテ寒氣甚ダシク、冬日湖水ニ氷ヲ結ブトキハ人馬其ノ上ヲ通行ス。湖邊ノ諏訪市街ヨリ出ヅル生絲ハ品質最モ齊一ナリ。松本ハ蠶卵紙生絲織物ノ市場ナリ。當國ハ一般ニ、養蠶ノ業盛ニシテ、一年産スル所ノ繭大凡三四十萬石、諸國ノ第一ナリ。却テ説ク、東山道ヲ貫通センニハ諏訪ヨリ中央線ト分離シテ、和田峠ヲ越エ、輕井澤附近ニ進ミテ直江津線ニ會シ、碓氷峠ヲ越エテ上野ニ入ル。

繭ノ最  
多額

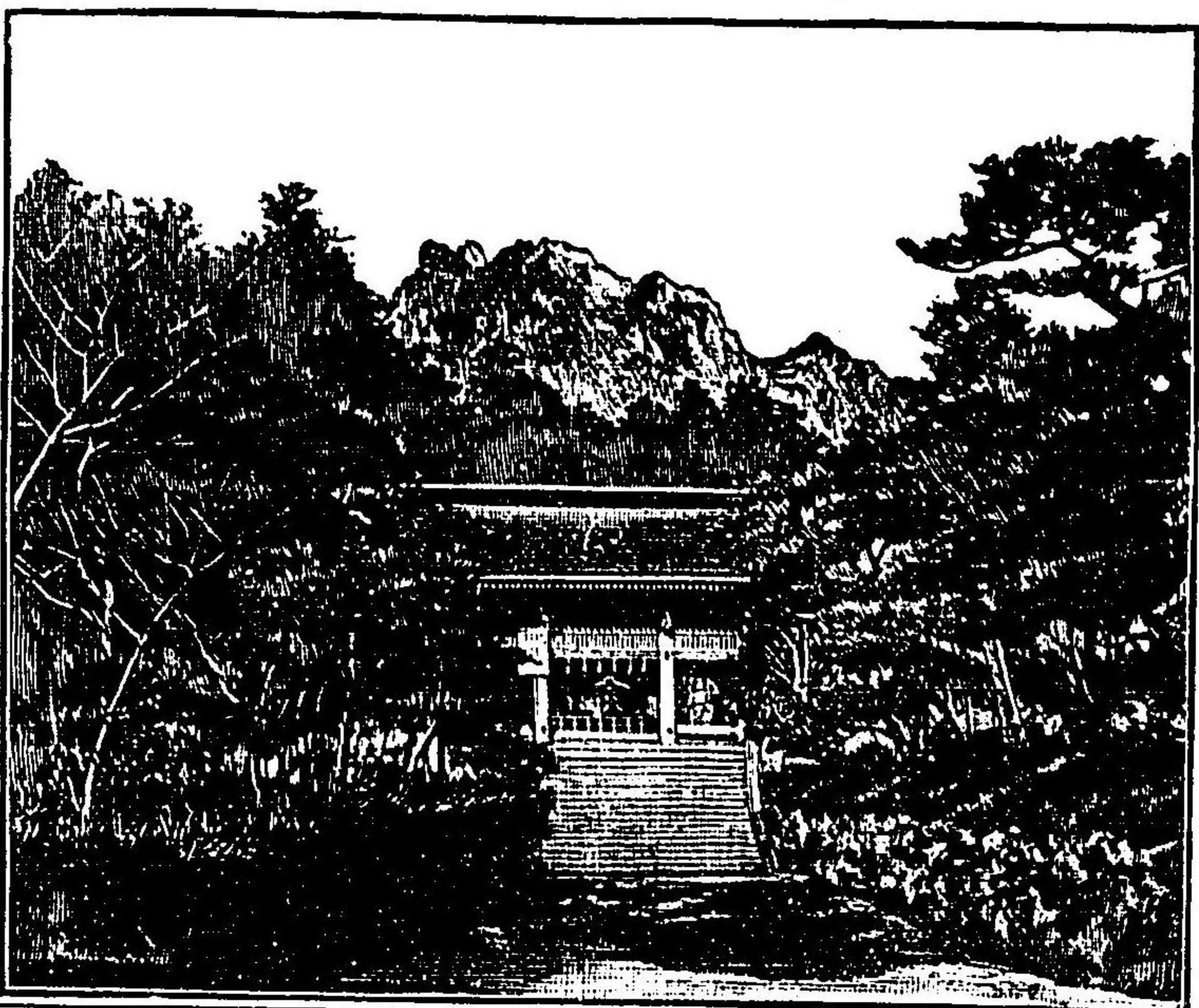
### 上野國及ビ下野國

兩野ハ三方山ニ圍マレ、北部ハ山地ナレドモ、南部ハ一帯ニ平地ニシテ關東平野ノ一部ナリ。利根川ノ本流ハ上野ノ奥ヨリ出デテ關東平野ヲ流レ、其ノ間上野全國ノ水及ビ下野過半ノ水ヲ受容ス。獨リ下野ノ東部那須地方ノ水ハ那珂川トナリテ常陸ニ入ル。

鐵道ハ直江津線、上野ヲ過ギ、東北鐵道、下野ヲ貫キ、兩毛鐵道ハ平野ノ部ヲ通過シテ、横ニ兩線ヲ連絡ス。兩毛ト云フハ昔ハ上野、下野ヲ上毛野、下毛野ト書キタレバナリ。今東山道貫通ノ旅行ヲナスニ、信濃ヨリ碓氷峠ヲ越ユレバ、奇岩突兀タル山アリテ、右ニ近ク峙テ、是即チ妙義山ニシテ、左ニ並ベル榛名、赤城ト共ニ上州ノ名山ナリ。何レモ皆



消火山ニシテ、榛名ノ傍ナル伊香保、信濃境ナル草津等ハ皆有名ナル温泉ナリ、亦以テ其ノ火妙山地ナルヲ知ルベシ。碓氷峠ヨリ進ミ、テ高崎ニ至レバ、其ノ近傍ナル富岡ニハ製絲ノ大工場アリ。上州ハ繭ヲ産スルコト一年二十萬石、其ノ量信州ニ亞ギ、隨テ生絲織物ノ業甚ダ盛大ナ



前橋

高崎ヨリ右ハ東京行ニシテ左ハ兩毛線ナリ。兩毛線ノ過グル所、先ヅ前橋ハ生絲ノ大市場ニシテ、群馬縣廳アリ、上野一國ヲ管ス。次ニ伊勢崎ハ銘仙ニ名高ク、桐生ハ西陣様ノ織物ニ名高ク、下野ニ入リテハ足利亦織物ニ名アリ。斯クテ小山ニ至リ、東北鐵道ニ移ル。

宇都宮

東北線ノ宇都宮ニハ栃木縣廳アリテ下野全國ヲ管ス。宇都宮ヨリ日光鐵道ヲ分チ日光ニ至ル。途中ニ鹿沼アリテ麻ノ紡績會社アリ。下野ノ麻ハ全國第一ノ多額ナリ。

日光

日光山ニハ徳川家康公ノ廟所東照宮アリ、其ノ結構美麗ハ世ノ遍ク知ル所ナリ。山上ノ中禪寺湖ハ火口湖ノ一



本邦第一ノ銅山



ニシテ其ノ吐口ナル華嚴瀧ハ直下四十丈幅十五間本邦瀑布中一二ノ壯觀タリ。是等ノ水ハ集リテ絹川トナリ下總ニ入りテ利根川ニ會ス、眞岡木棉ノ本場ナル眞岡ハ絹川ノ支流ニアリテ宇都宮ヨリハ東南ノ方ニ當レリ。日光ノ西南ニ足尾銅山アリ門一年ノ產出量百萬貫ニ上リ本邦ニテハ第一ノ銅山世界ニテハ第五六ノ銅山ナリ。然レドモ設備ノ注意足ラザリシガ爲メ近傍ノ

中央火山脈

山林ヲ繕ニシテ屢水害ヲ起シ下流ニ鑛毒ヲ流シテ多クノ良田ヲ不毛ニセリ。東北鐵道ハ宇都宮ヨリ進ミテ絹川ヲ渡リ、那須野ヲ過ギ、磐城ニ向フ線路ノ西數里ニ鹽原ノ溫泉アリ。那須野ハ那須岳ノ裾ナル高原ニシテ關東平野トハ自ラ地勢水理ヲ異ニシ耕作未ダ開ケザル處多シ。那須岳ハ北境ナル活火山ニシテ夫ノ榛名赤城日光等ト一條ノ大火山脈ヲ成セリ。此ノ脈ハ本州ノ北端ヨリ奥羽ノ中央ニ連亘シテ脊梁ヲナシ、淺間山ニ至リテ富士帶ニ合セリ、之ヲ那須火山脈或ハ中央火山脈ト云フ。兩毛北部ノ諸山ハ大抵此ノ火山脈ヨリ續キタル火山質ナレドモ獨リ上野信濃越後三國ノ境ナル三國峠ヨリ並



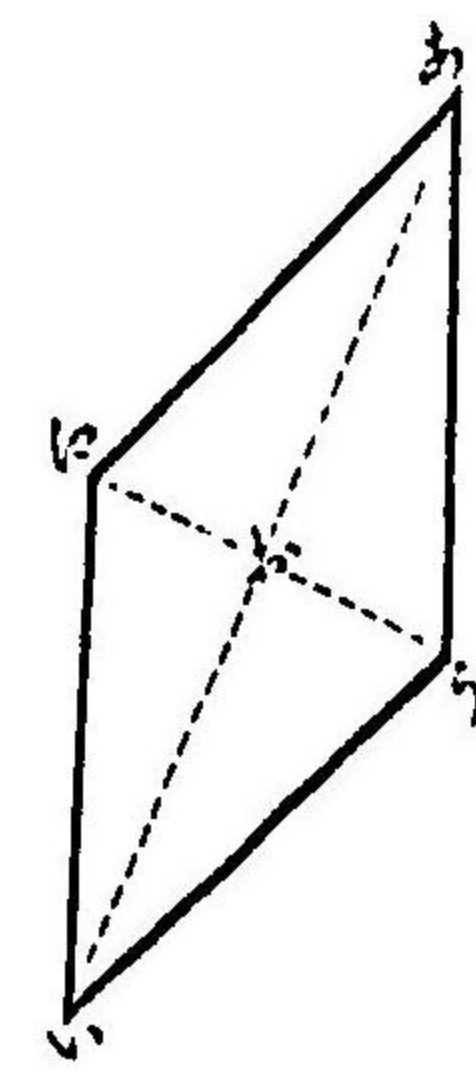
三國山脈

列セル清水峠等ハ別種ノ脈ニシテ、之ヲ三國山脈ト稱ス。高崎、前橋ヨリ大凡利根川ノ上流ニ沿ヒテ此ノ山脈ヲ越ユル道ハ東京ヨリ北陸ニ至ル最近ノ線路ナレバ、他日上越鐵道ハ此ノ方向ニ敷設セラルベシ。

中央火山脈ト富士帶

### 中央火山脈ト富士帶

中央火山脈ガ縦ノ方向ニ於テ最モ隆起セルハ猶富士帶ガ横ノ方向ニ隆起セルガ加シ。今圖ノ如ク紙ヲ細長キ菱形ニ裁チ、之ヲ本州ノ略形トシ、あい及びうえノ對角線ニ點線ノ如ク折目ヲ附ケ、おナル交點ノ凸起チ上ニシテ机上ニ置クトキハ、二線縱横ニ隆起シ、其ノウえハ富士帶ニシテあかハ中央火山脈ナリ、交點おハ山脈ノ錯綜スル處ニシテ信州ノ高地ニ當ルベシ。



### 磐城國及ビ岩代國

阿武隈山脈

此ノ二國ハ相並ビテ磐城ノ東面ノミ海ニ臨メリ。中央火山脈岩代ノ中央ヲ貫キ、阿武隈山脈之ニ並行シテ常陸ニ至リ、其ノ間ニ一大溪谷ヲ成シ、其ノ水ハ阿武隈川トナリテ陸前境ニ注グ。磐城、岩代ノ國境ハ此ノ流域ニ劃セラレテ、互ニ川ノ左右ニ出入セリ。

白河 福島

東北鐵道ハ下野ヨリ來リ、阿武隈川ニ沿ヒテ頻ニ磐岩ノ國境ヲ出入ス。白河(磐城)ハ馬ノ市場ニシテ阿武隈沿岸ナル三春地方ハ三春、駒ノ產地ナリ。福島(岩代)ハ生絲、蠶卵、紙ノ市場ニシテ福島縣廳アリ、磐城ノ大部分及ビ岩代ヲ管ス。總シテ奥羽諸國ハ皆蠶業ニ勤ム。福島ヨリ鐵道左ニ分レ羽後ノ米澤ニ至ル、之ヲ奥羽線ト稱シ、本州ノ北端ニ至リテ東北鐵道ト連接循環スル豫定ナリ。サテ東北鐵道ハ左



ニ岩代ノ半田銀山ヲ見テ陸前ニ入り、濱街道常磐線ニ會ス。常磐線ノ都會ニハ平マタ及ビ相馬ノ中村アリ。

會津地  
方若松

中央火山脈ノ西ハ山間ノ一區劃ニシテ其ノ一郡ノ名ヲ取リ、汎稱シテ會津地方ト云フ。其ノ名邑若松ハ戊辰ノ役東北軍ノ中心タリ。東北鐵道ノ郡山ヨリ岩越鐵道此ノ地ニ達セリ。會津蠟燭ハ精良ノ佳品、會津陶器、會津漆器ハ廉價ノ品ニシテ、何レモ一般ノ需用ニ適セリ。若松ヨリ磐梯山ノ麓ヲ過ギテ羽後ノ米澤ニ達スベシ。磐梯山ハ中央火山脈ノ消火山ナリシガ、明治二十一年ニ大破裂ヲナシ、噴出ノ灰、流出ノ土石ヲ以テ山北ノ田畑殆ト一萬町歩ヲ不毛ニセリ。磐梯山ノ南麓ナル猪苗代イナカレノ湖水ハ一千年前磐梯山破裂ノ時陷落セシ處ナリ。猪苗代湖水ノ排出口ナ

ル阿賀川ハ行ク行ク此ノ地方ノ水ヲ集メテ越後ニ入ル、岩越鐵道亦之ニ沿ヒテ行クベシ。

### 陸前國

西ハ中央火山脈ヲ負ヒ、東ハ太平洋ニ臨ミ、牡鹿半島突出シテ一ノ灣ヲ成セリ。東部ハ一帯ノ平野ニシテ、仙臺平野ト云ヒ、衆水貫流シ、仙臺米ノ產地ナリ。

仙臺

仙臺ハ全道第一ノ都會ニシテ宮城縣廳ハ牡鹿半島外ノ一郡ヲ除キ當國及ビ磐城ノ一部ヲ管シ。第二師團司令部等亦茲ニアリ、其ノ產物仙臺平ハ有名ナリ。

松島

東北鐵道ハ仙臺ヲ過ギ支線ヲ鹽竈ニ出シ、幹線ハ直チニ松島ヲ過グ。松島ハ鹽竈ト共ニ松島ノ灣ニアリ、所謂「八百八島」灣内ニ星列シ、島上ノ松ハ鶴舞ヒ、龜遊ビ、龍騰リ、虎踞リ



『松島やただ松島や  
松島や』實ニ日本三  
景ノ隨一ナリ。  
鐵道ハ進ミテ仙  
臺地方ノ平野ヲ貫  
通シ、遂ニ北上川ニ  
沿ヒテ陸中ニ入ル。  
北上川ハ全道第一  
ノ長流ニシテ、陸中  
ヨリ來リ石卷港ノ  
ニ注グ。之ヲ擁ス  
ル牡鹿半島モ亦々

北上川

島 松



九四

粘板岩

陸中ヨリ來レル北上山脈ノ餘勢ニシテ、其ノ尖端ナル金華  
山ハ海中ニ屹立セリ。此ノ邊ニ至リテハ彼ノ親潮勢力ヲ  
逞シクスルヲ以テ、金華山ノ内外ハ時候著シク差異アリ。  
半島ノ内側ニ荻濱港アリテ定期船ノ寄港所ナリ。外  
側ノ雄勝ニ雄勝石ト稱スル粘板岩アリテ學校用ノ石板又  
ハ硯石トナル。

### 陸中國

最大ノ  
國北上  
山脈南  
部地方

陸中ハ東西四十里南北六十里、面積大凡一千方里、全國中  
最モ大ナル國ナリ。西ハ中央火山脈ニ限ラレ、東ハ太平洋  
ニ臨ミ、北上山脈ハ中央火山脈ニ並行シテ其ノ間ニ南部  
地方ノ大溪谷ヲ成シ、諸水集リテ北上川トナリ、陸前ニ入ル。  
北上山脈ノ外ハ外南部ト稱シ、其ノ諸水各太平洋ニ直



入ス。獨リ西北隅ナル鹿角郡ハ地勢、水理羽後ニ屬シ、此ノ區内ニハ有名ナル尾去澤銅山アリ。

東北鐵道陸中ニ入り、北上川ニ沿ヒテ進メバ衣川流レテ北上川ニ入ル、是辨慶ガ立往生ノ昔話ニ名高キ所ニシテ此ノ邊ニ當時ノ古跡多シ。北上川ノ流域ニハ平地多クシテ耕作開ケ、南部米ヲ産ス。

盛岡

盛岡ニハ岩手縣廳アリ、鹿角郡ヲ除ケル當國ノ大部、陸前ノ一部及ビ陸奥ヨリ凸字形ヲナシテ入込ミタル一部ヲ管ス。此ノ地南部縮緬、南部釜等ヲ産ス。川ヲ隔テタル厨川ハ前九年ノ古戰場ナリ、其ノ上ニ峙テル岩手山(又岩鷲山)ハ中央火山脈ノ高山ニシテ、南部富士ノ名アリ。鐵道ハ盛岡ヨリ進ミテ陸奥ニ入ル。

外南部ノ海濱ニハ釜石町アリ、夥シキ鐵鑛ヲ藏シ、其ノ質最モ良シ。前年此ニ大熔鑛爐ヲ設ケシモ、技術精シカラズシテ業ヲ中止セリ。此ノ地方ハ地質學ニ謂フ所ノ石炭系ノ地層ニシテ此ノ層ハ大抵鐵ト石炭トニ富メリ。釜石以北ノ外南部ハ多ク花崗石ヲ顯ハセル高原ニシテ一帶ニ良馬ヲ産ス、所謂南部馬ナリ。明治二十九年ノ三陸海嘯ニハ釜石附近最モ慘害ヲ蒙レリ。

海嘯

海嘯 海嘯ハ「つなみ」ト云ヒ、海中ノ海震ノ爲メニ海水ノ陸地ニ押寄スル者ナリ。二十九年三陸ノ海嘯ニハ釜石六千ノ人口大半死亡シ、甚ダシキハ全村浪ノ爲メニサテハレシ所アリ、死亡總計三萬人、到ル處田園ヲ荒シ、家宅ヲ流セリ、凡ソ海嘯ノ慘毒此クノ如キハ古來未曾有ナリト云フ。

農地、牧地、工業地

大抵火山質ノ地ハ肥沃ニシテ花崗石質ノ地ハ

農地、牧地、工業地



瘠セタリ。高原ニシテ水利惡シク且地味瘠セタル所ハ多クハ牧場ニ用ヒラル、世界各國皆然リ。鐵ト石炭トニ富メル地ハ工業ノ發達ニ宜シク、英國ヲ初メ世界ノ工業國ハ皆石炭系ノ播布多キ國ナリ。

### 陸奥國

陸奥國ハ南境ハ山ニシテ他ノ三方ハ海ニ臨ミ、北海道ト津輕海峽ヲ夾メリ。中央火山脈、中央ヲ貫キテ地勢ヲ二分ス、山脈ノ東ヲ汎稱シテ小南部ト云ヒ、西ヲ津輕地方ト云フ。小南部ノ北端ハ斧ノ形ヲ成シテ陸奥内海ヲ擁ス、之ヲ田名部半島ト云フ。斧ノ上ニ立テル恐山ハ中央火山脈ノ活火山ナリ。

東北鐵道ハ南部ヨリ小南部ノ東岸ヲ過ギ、又北岸ニ沿ヒテ津輕ノ青森ニ達ス、是東北鐵道ノ北端ナリ。青森ハ陸奥

津輕地方

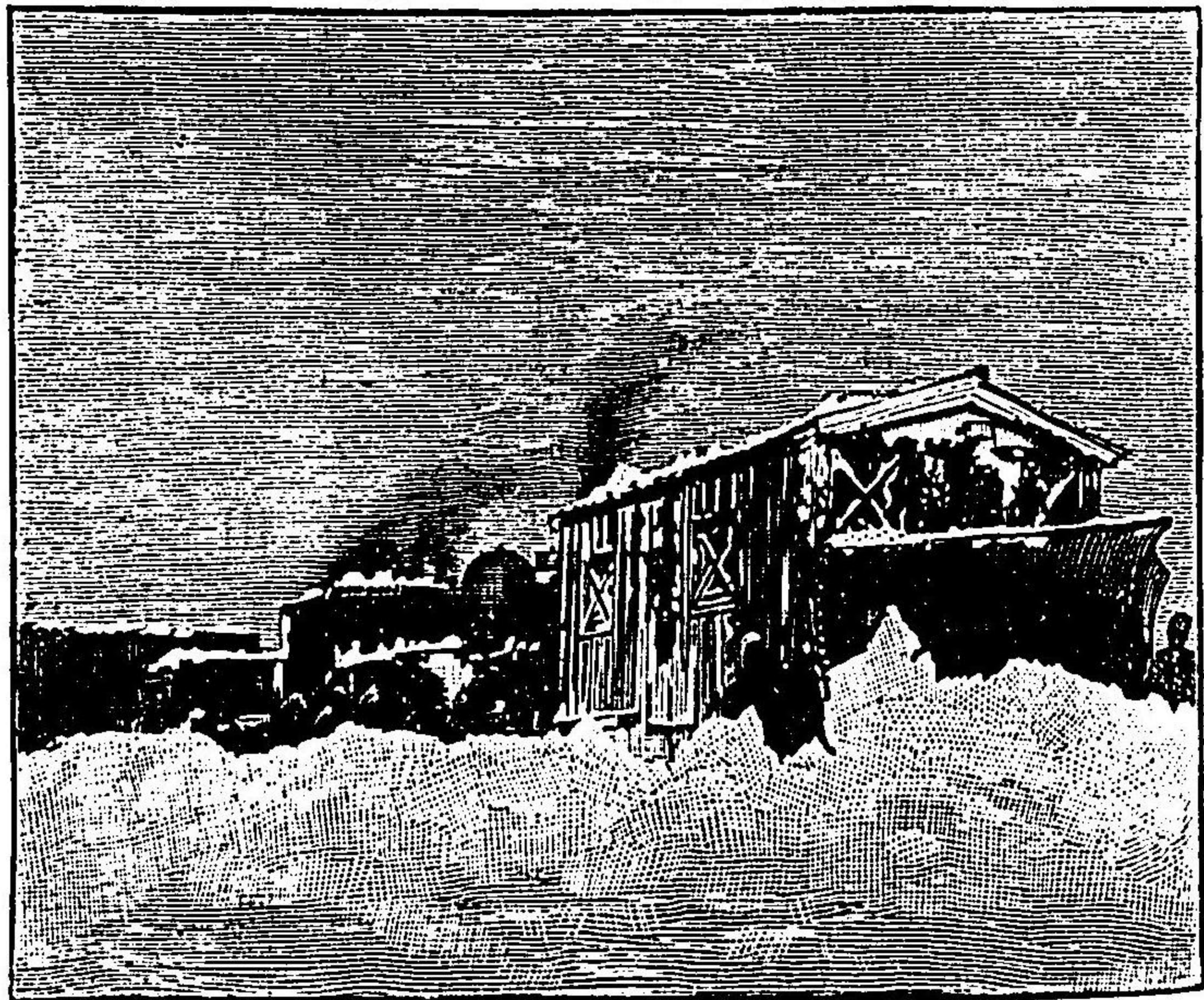
青森

弘前

内海ノ青森灣ニ臨ミ、青森縣廳ノ所在地ニシテ、東北鐵道ト北海道ト連絡ノ要港ナリ。縣ハ岩手ニ屬スル一部ヲ除キ陸奥一國ヲ管ス。東京ヨリ此ニ至ル鐵道大凡百八十里、時間一晝夜ナリ。

奥羽線ハ青森ヨリ弘前ニ延長シ、漸ク歩ヲ進メテ已ニ羽後境ヲ越エ

青森縣中ノ景





タリ、將來羽後、羽前ヲ通過シテ福島ニ循環スベキハ已ニ云ヘリ。弘前ハ津輕富士ノ別名アル火山、岩木山ノ麓ニシテ岩木川ノ上流ニアリ、此ノ地ハ津輕塗ヲ出シ、亦第八師團司令部ノ位地ナリ。岩木川ハ陸奥第一ノ長流ニシテ、其ノ流域ナル津輕ノ平地ヨリハ津輕米ヲ産ス。岩木川ノ注口ノ澤湖ヲ十三瀉ト云ヒ、一方海ニ通ゼリ。

湖ノ各種

湖ノ各種 北國ニテ『瀉』ト云フハ大抵元海岸ノ低地ニ土砂打寄せテ縁ヲ造リ、遂ニ湖澤ヲ成シタル者ヲ云フ、而シテ十三瀉ノ如キハ猶海ニ通ゼル者ナリ。嘗テ舉ゲタル湖ノ種類ハ(一)火口湖(箱根ノ如キ)(二)水底ノ地面ノ隆起ニヨリテ成レル者(霞浦ノ如キ)(三)河道ノ變化ニ成レル者(利根川附近ノ湖ノ如キ)(四)地盤ノ陷落ニヨル者(琵琶湖ノ如キ)(五)今舉ゲタル一種等ナリ、是等ヲ最モ通常ナル者トス。

羽後國

鳥海火山脈

羽後ハ東ハ陸中ノ鹿角ト共ニ中央火山脈ニ限ラレ、西ハ日本海ニ臨ム。岩木山ヨリ續キタル岩木火山脈國內ヲ縱貫シ、南部ニ至リ鳥海山トナル。此ノ山脈ハ鳥海火山脈トモ云ヒ、始終中央火山脈ニ並行シ、岩代、越後ノ間ヲ過ギ上野ニ至リテ富士帶ニ合ス。

鹿角ヲ水源トシテ北部ノ水ヲ併セテ海ニ入ル者ヲ能代川トス、其ノ河口ノ能代ニハ能代塗ノ名産アリ、能代川ノ一支流ナル阿仁川ノ上ニ阿仁銅山アリ、其ノ銅鑛精良ニシテ産額多シ。能代ノ南ニ八郎瀉アリ、之ヲ擁セル男鹿半島ノ山ハ秋色殊ニ艷麗ニシテ愛スベシ。奥羽豫定線ハ弘前ヨリ能代川ノ流域ニ入テ八郎瀉ノ湖邊ヲ過ギテ



秋田

秋田ニ至ル。

秋田ハ御物川ノ右岸ニ立チ、秋田縣廳ハ鳥海山南ノ一郡ヲ除ケル當國一般ト陸中ノ鹿角トヲ管ス。秋田・畝織・秋田・八丈・秋田・米ハ著名ノ産物ニシテ、秋田・露ハ輪切ノ大サ椀ヲ覆フニ至ル。豫定線路ハ秋田ヨリ御物川ノ水源ニ上ル。

仙北地

御物川ノ水源地方ハ中央火山脈ト鳥海火山脈トニ夾マレタル高原ニシテ、其ノ中ナル一郡ノ名ヲ以テ仙北ト汎稱シ、其ノ金澤ハ後三年ノ古戰場ナリ。國ノ南端ニハ院內銀山アリ。當國ニハ此ノ外銀山猶多ク、産額全國第一ナリ。豫定線路ハ金澤院內等ヲ過ギテ羽前ニ入ル。

銀ノ最多額

莊內地

鳥海山ノ南ハ莊內地ニシテ地勢羽前ニ屬ス、國境ナル最上川ノ口ニハ酒田港アリ。

### 羽前國

羽前モ亦東ハ中央火山脈ヲ負ヒ、西ハ日本海ニ臨メリ。鳥海火山脈其ノ間ヲ通り、羽黒山、月山、湯殿山並立チ登山ノ行者振鈴ノ

最上地方

聲ヲ絶タズ。鳥海山脈ノ東ヲ汎稱シテ最上地方ト云ヒ、西ヲ莊內地方ト云フ。最上川ハ最上高原ヲ縦貫シ、流レテ莊內ニ入ル、日本





三急流ノ一ナリ。

奥羽豫定線ハ御物川ノ流域ヨリ最上川ノ流域ニ入ル。

山形ハ昔ヨリ日本第一ノ紅花ノ產地ニシテ、茲ニ山形縣廳

アリ、當國一圓ト羽後ノ鳥海山南ノ一郡トヲ管ス。最南部

ニ米澤アリ、米澤糸織等ヲ産ス。是ヨリ鐵道既ニ山形及ビ

福島ニ通ゼリ。

最上川ハ莊内地方ニ出デ、國界ヲ成シテ海ニ注グ。其ノ

流域ナル羽後ノ酒田港、當國ノ鶴岡ハ共ニ莊内ノ名邑ナリ。

莊内ノ大山酒ハ味美ニシテ東北諸國ノ需用甚ダ多シ。東

山道概要 中山道諸國及ビ岩代ハ山脈ヲ以テ東海、北陸兩

道ニ界シ、其ノ他ハ海ニ瀕セリ。東海道ト界スル山脈ハ已

ニ東海道概要ニ云ヘリ。北陸道トノ界ハ江濃、飛ニ於ケル

山形  
本邦紅  
花第一  
ノ產地

中國山脈、信濃ニ立山火山脈、上野ニ三國山脈、岩代ニ鳥海火  
山脈等ナリ。奥羽ニハ中央、鳥海、北上、阿武隈山脈等並行ス  
ル山脈ノ多キヲ以テ、川流縱ニ其ノ間ヲ流レ、遂ニ長流トナ  
ル者多シ、北上、阿武隈ノ二川最モ著シトス。鐵道ハ東北鐵  
道東京ヨリ奥州街道ニ沿ヒテ青森ニ至リ、回テ弘前ヲ過ギ、  
將ニ仙北、最上ノ高原ヲ過ギテ岩代ニ循環セントセリ。又  
兩毛鐵道ハ兩毛ヲ貫キ、中央鐵道ハ不日ニ濃信ヲ通ズベシ。  
其ノ他東海道鐵道、直江津線等ガ横斷シテ過グルアリ。氣  
候ハ一般ニ寒冷ナリ。人情ハ質朴ニシテ、其ノ中近江、美濃  
ハ稍、上方ノ緻密ヲ帶ビ、信濃、上野ハ山國ノ性質トシテ剛強  
片意地ナリ。奥羽ノ人ハ朴直ニシテ剛強ナレドモ、稍沈鬱ノ  
氣ヲ帶ブルハ蓋シ東北人ノ性質ナラン。農業ハ近江、美濃、





仙臺南部津輕秋田等ノ米有名ナリト雖モ一般ニ幅員ニ比シテ拓殖ノ擧ラザルトコロ多キハ蓋シ瘠土アリ深山アリ、或ハ水利不便ノ地アルニヨル。然レドモ蠶業、鑛山、山林等ノ如キ事業ハ最モ盛大ニシテ蠶業産物ハ各國共ニ皆之ヲ産シ、鑛山ハ釜石ノ鐵、足尾、阿仁ノ銅、院内ノ銀以下枚擧ニ違アラズ、山林ハ木曾ヲ第一トシ津輕ノ檜林等亦有名ナリ。

第六章 北陸道

若狹國

前ハ日本海ニ臨ミ、後ハ中國山脈ヲ負ヒ、衆水日本海ニ入ル。以下諸國ノ地勢大抵相同シキ故、特別ノ點アルヲ除クノ外ハ一一之ヲ云ハズ。

西ハ山陰道ト青葉山ヲ隔テ、海岸ハ岩礁危立シテ風景最



小濱

モ佳シ。昔京都ニテハ魚類ヲ多ク此ノ國ニ仰ギ、今モ若狹・  
ハ猶京畿ニ稱セラル。小濱ハ國ノ名邑ニシテ、若狹・  
此ノ地ヨリ東ハ越前ノ敦賀ニ至リ、南ハ近江ノ大津ニ至リ、  
西ハ丹後ノ舞鶴ニ至ル鐵道ハ豫定或ハ工事中ナリトス。

越前國

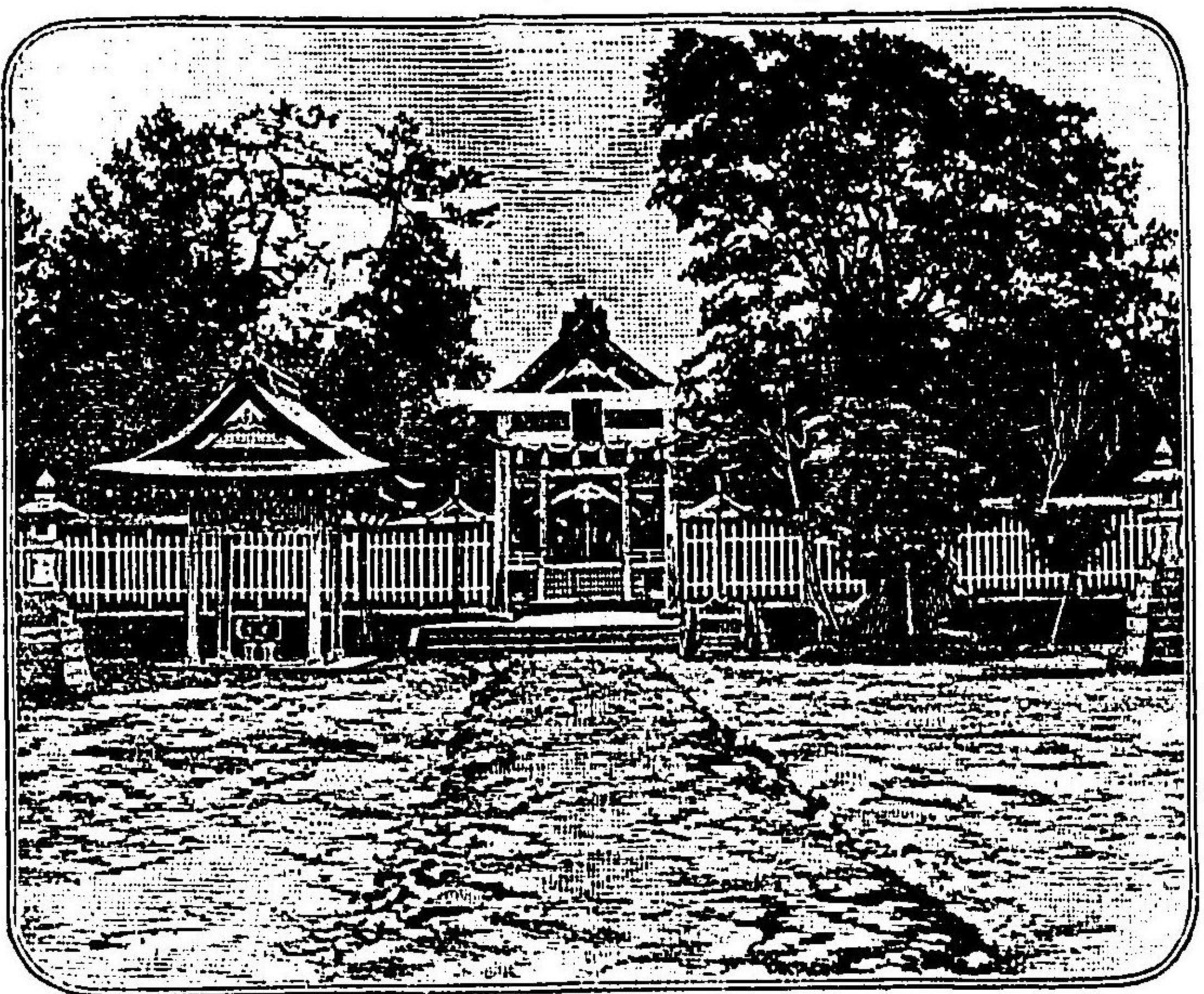
敦賀

若狹ヨリ來レバ、敦賀灣深ク入リテ中ニ敦賀港アリ、  
大阪及ビ元五港ノ外、三十二年改正條約實施ノ後、新タニ開  
カレタル二十三港ノ一ナリ。北陸鐵道此ノ地ヨリ、北陸  
道ノ驛路即チ北國街道ニ沿ヒテ敷設セラレタリ。此ノ  
鐵道ハ、近江ノ米原ニ於テ東海道鐵道ニ連絡シ、其ヨリ關西  
鐵道ニヨリテ伊勢ノ四日市ニ出ヅルヲ以テ、此ノ地ハ實ニ  
北陸、東海交通ノ要津タリ。

福井

北陸鐵道ハ敦賀ヨリ  
發シ、越前奉書ノ產地ナ  
ル今立郡ヲ掠メテ福井  
ニ至ル。福井ハ當國ノ  
産物ナル羽二重等ヲ出  
シ、福井縣廳ハ若狹越前  
ヲ管ス。其ノ市外ナル神  
藤島神社ハ新田義貞朝  
臣ノ英靈ヲ祀レル處ナ  
リ。當國有名ノ雲丹ハ  
福井ノ西ナル海ニ産ス。  
鐵道ハ福井ヨリ加賀ニ

藤島神社





入ル。加越ノ國境ハ冬季最モ雪深キ所ナリ。

### 加賀國及ビ能登國

加賀ノ白山シラネハ本邦ノ名山ニシテ、常ニ雪ヲ戴クヲ以テ此名ヲ得タリ。此ノ山亦消火山ニシテ、其ノ脈國境ニ蟠リ、越前ノ海岸ニ出デ遂ニ海ヲ越エテ若狹ノ青葉山トナリ、山陰道ニ入ル之ヲ白山火山脈ト云フ。

白山火山脈

北陸鐵道ハ越前ヨリ來ル。國境ニ近キ大聖寺町ノ山入リニハ有名ナル九谷燒ノ產地アリ、更ニ進メバ加賀・絹ノ產地ナル小松アリ。金澤ハ加賀能登ヲ管スル石川縣廳ノ所在地ニシテ、第九師團司令部ノ位地ナリ。元ハ日本第一ノ大諸侯前田氏ノ城下ナリケレバ、今モ北國一二ノ大都會ニシテ、名産ニハ銅器及ビ御所落雁アリ。其ノ兼六園ハ日

金澤

本三公園ノ一ナリ。北陸鐵道越中ニ入ルノ前ニ七尾鐵道能登ニ分ル。

七尾

能登ハ加賀越中ノ間ヨリ出デタル半島ニシテ、東岸ニ七尾灣アリ、灣中ニ島アリ、能登ノ形ハ恰モ掌中ニ鞠ヲ弄スルガ如シ。灣ニ臨メル七尾港ハ開港場ノ一ニシテ七尾鐵道加賀ヨリ此ニ至ル。西岸ノ輪島ハ漆器ノ堅牢ニ名アリ。

### 越中國

立山火山脈

前ハ日本海ニ臨ミ、後ロハ中國山脈ノ末端ヲ負ヒテ飛驒ニ界シ、東ハ立山火山脈ヲ以テ信濃ニ界シ、立山ノ奇嶮ハ人ヲシテ戰慄セシム。

北陸鐵道加賀ヨリ來リ、國境栗殼峠ヲ越エテ高岡ヲ過グ。高岡ハ飛驒ヨリ來ル射水川イシヅカ（一名莊川）ノ流域ニアリ、



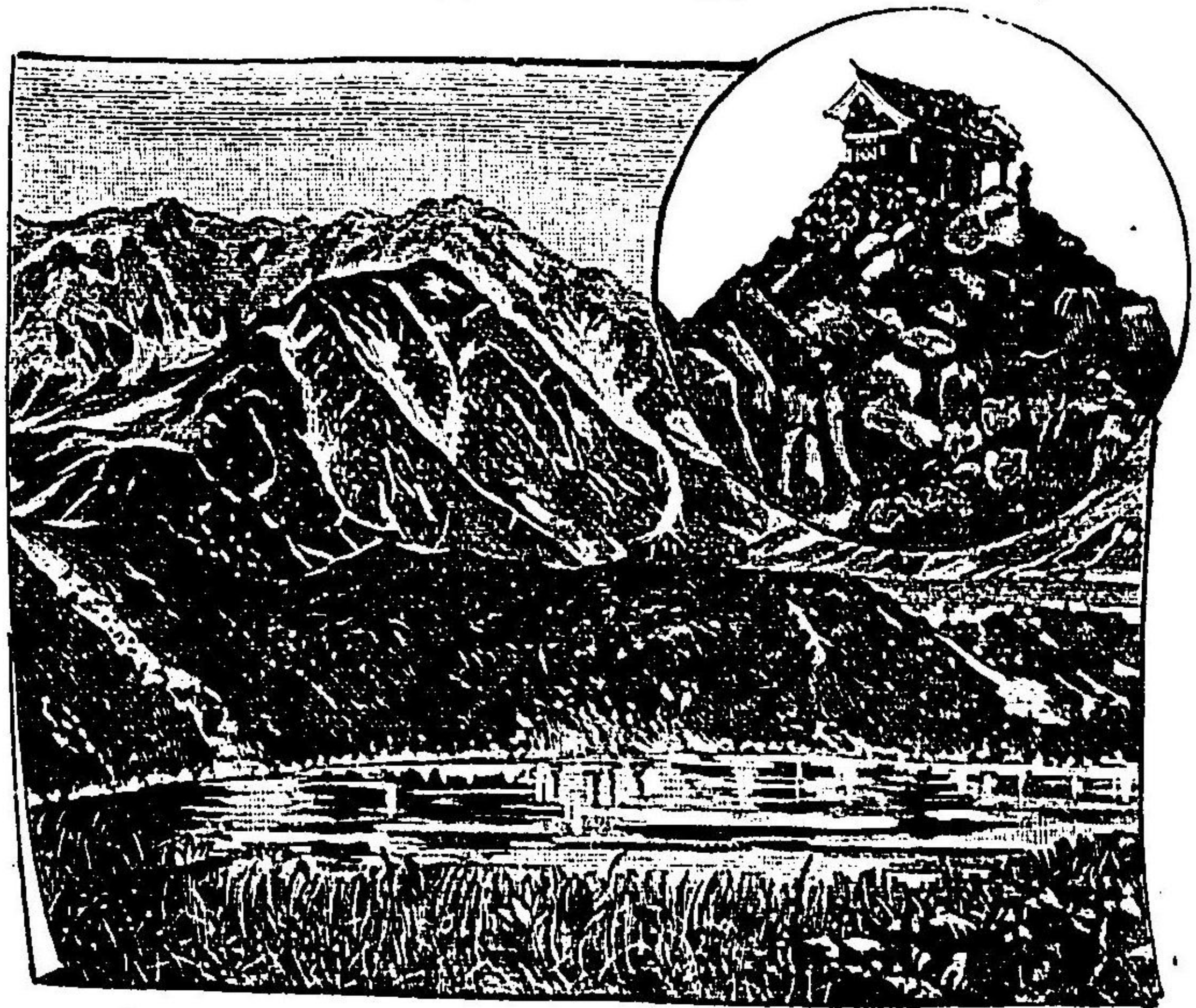
伏木

銅器ノ產地ナリ。射水川ノ河口ナル伏木港ハ開港場ノ一ニシテ、多ク米ヲ輸出ス。

富山

神通川モ飛驒ヨリ來ル。是ヲ渡レバ富山アリ、賣藥ニ名高ク、富山縣廳ハ當國一圓ヲ管ス。山此ノ地ヨリ越後ノ直江津ニ至ル鐵道ハ今計畫中ナリ。

越後國



信濃川

越後ハ日本海ニ臨ミ、海岸直徑七十餘里、本州中最モ縦ニ長キ國ナリ。後面ハ山脈連續シ、其ノ岩代境ハ鳥海火山脈ノ高山相連ナリ、上州境ハ三國山脈ナリ。信州境ナル妙高諸山ハ富士帶ノ北端ナリ。信濃川信濃ヨリ來リ、斜ニ貫流シテ新潟港ニ入り、千曲川ノ水源ヨリ河口マデ大凡一百里、本州第一ノ長流ナリ。有名ナル此ノ川ノ鮭ハ産額甚ダ少ケレドモ、風味ハ第一等ニ位セリ。

直江津線信濃ヨリ來リ、妙高山ヲ左ニシテ高田ニ至ル此ハ大雪ト飴ト謙信ノ古城址春日山トニ名高シ。又少許ニシテ直江津ニ達ス、即チ此ノ鐵道ノ終點ニシテ、北國ノ一要津ナリ。北越鐵道更ニ此ノ地ヨリ起リ、海岸ニ沿ヒテ米山ヲ越エ、轉ジテ信濃川ヲ渡リ、右岸ノ長岡ヲ過ギ、新潟



越後平野

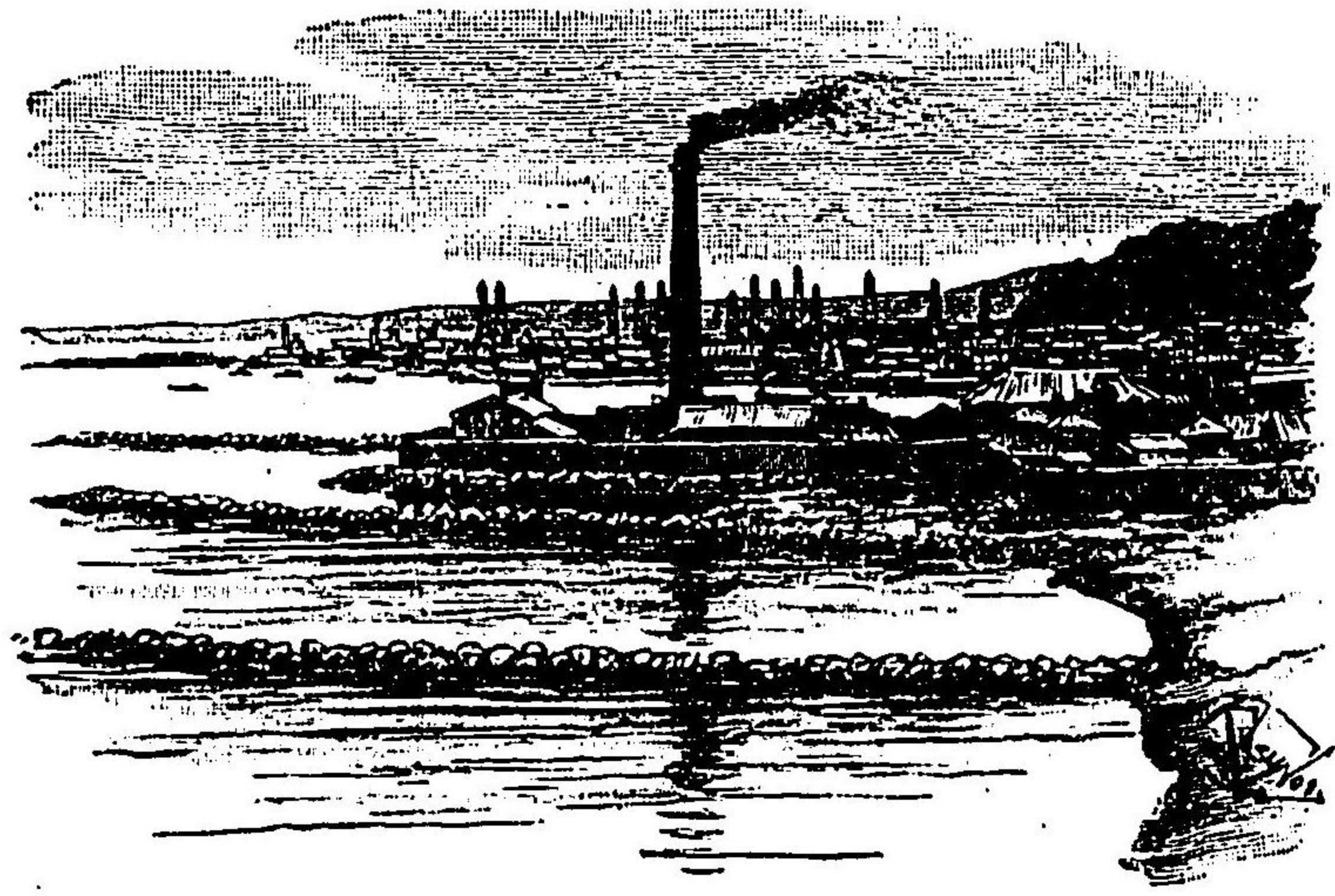
新潟

ノ對岸ナル沼垂ニ達セリ。  
 長岡ハ三國山脈ナル上越ノ街道ニ當ルヲ以テ亦緊要ノ地ナリ。越後縮越後紬ノ產地ハ何レモ長岡ノ稍上流ナル山入りニアリ。此ノ邊ヨリ下ハ一帯ニ越後平野ニシテ、岩代ヨリ來ル阿賀川モ亦此ノ平野ヲ流レ耕作善ク開ケ、産出ノ越後米年年三百萬石ニ近ク、一箇國ノ産トシテハ全國第一ノ額トス。當國ノ民ハ一般ニ勤勉醇良ニシテ、或ハ進取ノ氣ニ乏シキモ農業地人民ノ性質ヲ代表セリ。  
 新潟ハ信濃川ノ川口ニアリ、元五港ノ一ニテ新潟縣廳ハ越後、佐渡二國ヲ管ス。此ノ市ハ近國無比ノ都會ナレドモ、港口ノ宜シカラザル爲メ、貿易未ダ繁盛ナルニ至ラズ。他日、築港成就スルニ至ラバ、當ニ面目チ一新スベシ。近頃此

外國路航

ノ港ヨリ露領浦潮斯德ニ航路ヲ開ケリ。  
 米山ヨリ鐵道ニ由ラズシテ海岸ヲ行ケバ、海中ニ井ヲ掘リテ石油ヲ取ル地方アリ。此ノ外當國處處ニ石油ヲ産ス。其ヨリ少シ進ミテ彌彥山ノ麓ヲ過グ。彌彥山、米山共ニ甚ダ高カラズト雖モ、越後平野ノ海濱ニ特立スルヲ以テ、常ニ航海者ノ目標トナレリ。此ノ二山ハ皆消火山

海 中 ノ 石 油 鑛





彌彦火山脈

ニシテ羽後ノ男鹿半島ヨリ脈ヲ引キ、彌彦火山脈ヲ成シテ鳥海山脈ニ並行シ、妙高山ニ至リテ富士帶ニ合ス。此ノ脈更ニ信州ノ北部ニ延ビテ立山火山脈ニ接ス。信濃川ハ即チ鳥海彌彦二火山脈ノ間ヲ流レ下ル者ナリ。

佐渡國

佐渡ハ二個ノ細長キ島ヲ並ベタル如クニシテ形狀稍魚鱗ニ似タリ。二個ノ半島上ニ山脈各貫通シ其ノ接合部ナル地峽ノ處、平地稍廣シ。地峽ノ兩側ハ各灣ヲ成シ、東ナル灣内ニハ夷港アリ、新潟ト交通ノ良港ナリ。西ナル灣ハ眞野入江ニシテ、灣頭ノ眞野ニハ承久ノ亂ニ遷幸アリシ順徳天皇ノ舊蹟アリ、行人懷古ノ涙ヲ濺ガザル者ナシ。

金北山 北ナル半島上ノ金北山ハ有名ナル金銀山ニシテ黄金

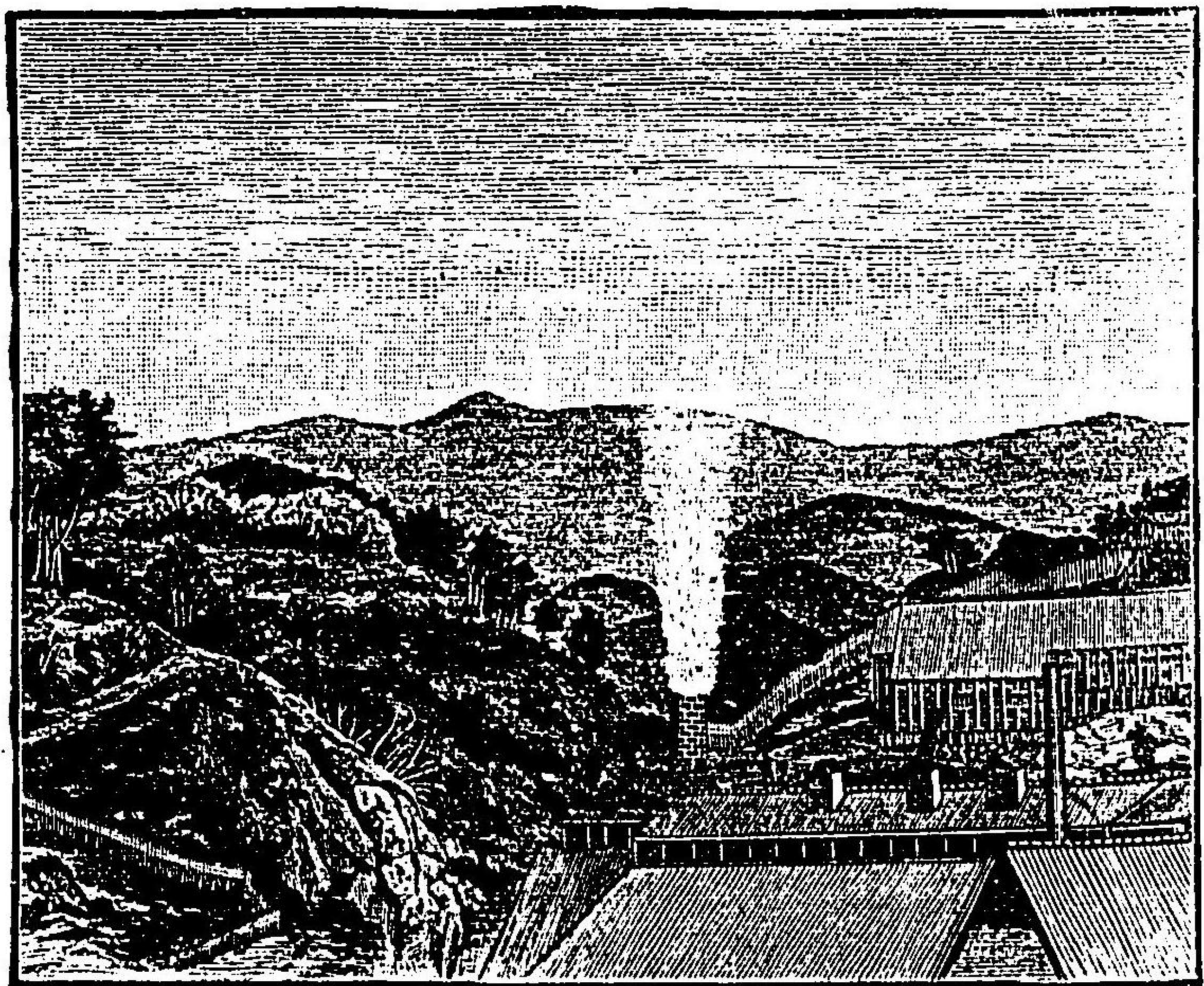
本邦黄金第一ノ產地

年年ノ産額五六十貫目以上、即チ全國産量ノ三分一ニシテ本邦第一トス。其ノ西海岸ニ位スル相川ハ主トシテ之ガ爲ニ繁昌シ、當國第一ノ都會ナリ。

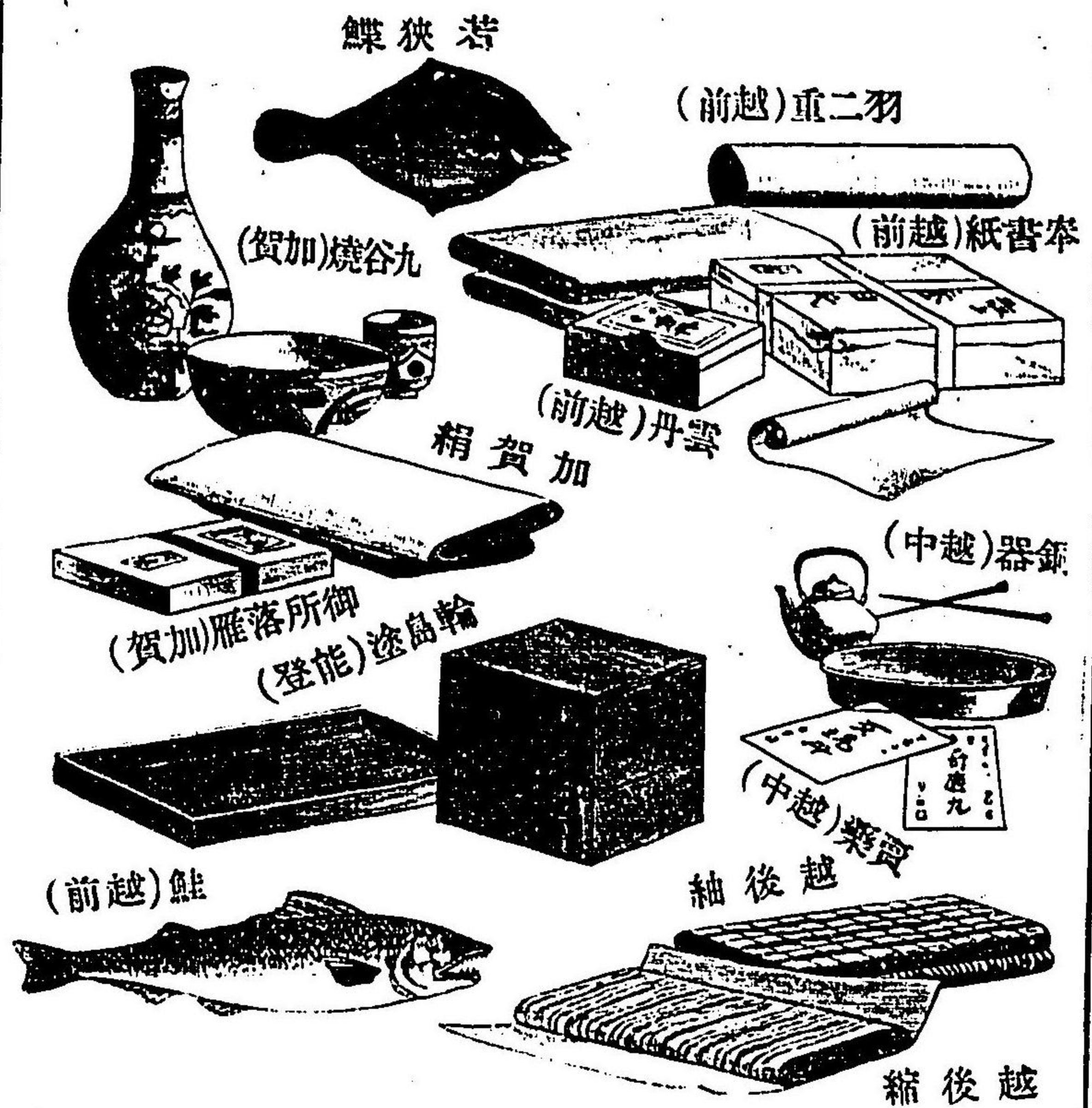
北 金

北陸道概要

北陸道ハ西北ハ日本海ニ臨ミ、山東南ハ山脈ヲ以テ東山道ト界ス、其ノ山脈ハ已ニ東山道概要ニ列記セ







越後縮。地面ノ傾斜  
 スクノ如ク北受  
 ケニシテ、而モ冬  
 季ハ大陸ヨリ來  
 ル陰冷ナル西北  
 風此ノ山岳ニ衝  
 突シテ雲雨トナ  
 ルガ故ニ、雨雪甚  
 ダ多ク、特ニ能登  
 チ最トス。サレ  
 バ北陸道ハ本州  
 中最モ陰寒ノ位

日本海岸線

地ヲ占メタレド、黒潮支流ノ影響ニヨリ、幾分ノ寒氣ヲ中和  
 シテ東山道ノ如キ内地性ナク、氣候割合ニ酷烈ナラズ。日  
 本海岸線ハ屈曲少クシテ良港ナク、冬季ノ如キハ船舶ノ  
 寄港シ難キコト多キハ北海沿岸ノ共ニ患フル所ナリ。鐵  
 道ハ北國街道ノ線路大抵成効シ、直江津線、敦賀線ニヨリテ  
 東海道線ニ通ズルノ便アリ。人情ハ一般ニ實直ナリ。農  
 業ハ越後平野ヲ著シトシ、蠶業、漁業、農業トモ各國多少其  
 ノ利アラザルナシ。工業ハ古クヨリ發達シ、九谷陶器、輪島  
 漆器、金澤高岡ノ銅器等、皆精緻觀ルベシト雖モ、未ダ以テ盛  
 大ト稱スベカラズ。

第七章 北海道 渡島國



北海道ハ元「蝦夷ガ島」ト稱シ、其ノ住民ハ蝦夷人即チ「あいぬ」ナリキ「あいぬ」ハ矇昧ニシテ文字ヲ知ラズ、漁獵、射獵ヲ以テ生活ヲ營ムノ民ナリ。斯クシテ北海道ハ久シク化外ノ地ナリシガ、内地ノ人漸漸往來移住シ、維新ニ至リ、一統ノ政ヲ布カレシ爲メ、改メテ北海道ト稱シ、國界ヲ定メ、官衙ヲ置キ、移住開拓ヲ獎勵セラレタリ。

北海道ノ本島ハ大サ大凡本州ノ三分一ニシテ形ハ赤鱗ノ尾ヲ掉フニ似タリ、而シテ渡島ハ其ノ尾端ニ當リ、尾端開キテ「入」ノ字ヲ成シ、山脈其ノ脊梁ヲ通レリ。此ノ山脈ハ中央火山脈ガ津輕海峡ヲ越エテ再ビ現レタル者ナリ。

「入」ノ字ノ脚間ノ右邊ニ小キ半島アリ、函館灣ヲ抱キテ此ニ函館港アリ。函館ハ元五港ノ一ニシテ北海道産物集

散ノ中心タリ。

青森ヨリ海路三

十里ニ足ラズ、港

内水深クシテ本

邦良港ノ一トス。

道

總シテ北海道ハ

本邦ノ寒地ニシ

テ、函館ノ如キモ

冬ハ海水時ニ氷

リテ半里ニ至ル

コトアリ、親潮ノ爲メニ東風夏猶寒シ。

函館ヨリ後志ノ小

樽ニ至ルベキ函樽鐵道ノ豫定線ヲ説カンニ、函館ノ地峽

北 海 道 土 人





ヲ過グレバ龜田ノ五稜廓アリ、維新最終ノ戰場ニシテ、其ノ渠内ノ製氷ハ清潔堅緻ナルコト全國ニ冠タリ。此ノ邊稍平地多ク、七飯ノ農事試験場ハ北海道ノ爲メニ農業ノ模範ヲ示セリ。山脈ヲ越エテ脚ノ外側ニ出ヅレバ内海アリ、之ヲ渡リテ、對岸ナル膽振國室蘭港ニ渡リ、鐵道ニ乗ジテ全道ノ首府札幌ニ至ル、是現今ノ札幌順路ナリ。然レドモ函樽線ハ内海岸ニ沿ヒテ膽振ニ入ル。

渡島ノ西海岸ニハ福山、江差等ノ市邑アリテ、鯨漁盛ンナリ。凡ソ北海道沿岸ノ村落ハ漁場或ハ海草採收場ナラザルハナシ、故ニ以下一一之ヲ記セズ。

### 後志膽振及ビ石狩國

中央火山脈ハ赤罈ノ尾ヲ縱貫シテ、後志ト膽振ヲ西東ニ

千島火山脈  
天鹽岳ノ山脈

分界シ、蝦夷富士ノ別名アル後志岳トナリ、石狩膽振ノ平野ニ至リテ止ム。平野ヨリ別ニ山脈ヲ起シテ石狩ノ南境ヲ成シ、本島ノ中央ノ高點ナル石狩岳トナリ、本島ヲ縱貫シテ千島ニ入ル、之ヲ千島火山脈ト稱ス。此ノ火山脈ニ交叉ヲ成シタル天鹽岳ノ山脈ハ石狩ノ東境ヲ成シテ、直チニ本道ノ北端ニ至リ、其ノ枝脈ヲ以テ又石狩ノ北ヲ界ス。斯クシテ石狩國ハ三方山ニ圍マレ、西ノ一方ハ獨リ海ニ臨メリ。

石狩川ハ源ヲ石狩岳ニ發シ、山間ヲ流レ下リテ上川ノ原野ニ出ヅ、爰ハ空知炭鑛ニヨリテ知ラレタル空知川ガ石狩川ニ合流スル河間ノ地ニシテ、山水特ニ清潔ナレバ、後來或ハ離宮ヲ設ケラルベキ地ナリ。斯クテ行ク行ク衆流



石狩平野  
本邦産ノ最多  
額

旭川  
札幌

寒地ノ製糖料

小樽

ヲ合セ石狩大平野ヲ周流シテ遂ニ石狩港ニ注グ石狩ノ  
鮭・漁ノ盛ナルハ實ニ本邦第一ト稱セラル。總ベテ石狩  
川ノ流路ハ九十里餘ニシテ其ノ過半ハ舟楫ヲ通ズルコト  
ヲ得ベク。本道第一ノ長流ナリ。又石狩平野ノ如キハ北海  
道中後來最モ望アル區域ナリ。

旭川ハ石狩川ノ上流ニアリ、第七師團司令部ノ所在地  
タリ。札幌ハ石狩平野ニアリテ全道ノ首府タリ、北海道廳  
此ニアリ。又札幌農學校、札幌びーる製造所、砂糖製造所等  
アリ。而シテ本道ハ寒地ニシテ甘蔗ニ適セザルガ爲メ、砂  
糖ハ甜菜ヨリ製ス。函館ヨリ來ルベキ函樽鐵道豫定線  
ハ膽振國ノ内海岸ヨリ膽振、後志ノ國境ヲ出入シ、後志ノ岩  
内炭山ノ東ヲ過ギテ小樽港ニ至ル、開港場ノ一ナリ。斯

グテ小樽ヨリ既成ノ  
鐵道ニ乗ズレバ、少許  
ニシテ札幌ニ達シ、進  
ミテ同國幌内等ノ炭  
山ニ至ル。

膽振ノ海岸

次ニ現今ノ札幌道  
ハ、上ニ云ヘル如ク、渡  
島ヨリ内海ヲ渡リテ  
室蘭ニ至ル。此ノ内  
海ヲ内浦ト云フ、又噴  
火灣ト云フハ膽振ノ  
山岳屢噴火スルニ因





リテナリ。室蘭ハ開港場ノ一ニシテ亦北海道及ビ陸奥海岸ヲ管スベキ軍港タリ。室蘭ヨリ鐵道アリ、中央火山脈ト千島火山脈トノ間ヲ通リテ石狩平野ニ入り、其ノ一支線ハ夕張炭山ニ至リ、本線ハ札幌幌内間ノ鐵道ト交叉シ、空知炭山等ニ至ル。是等ノ鐵道ヲ總ヘテ炭鑛鐵道ト云フ。今ヤ官設鐵道ハ石狩川ノ上流ヨリ天鹽ノ天鹽川及ビ十勝ノ十勝川兩流域ニ入ラントス。

### 天鹽及ビ北見國

此ノ二國ハ天鹽山脈ニテ背合セテナシ、北見ノ一方ハ千島火山脈ヲ界トス。天鹽ニハ長港ナシト雖モ、天鹽・昆布有名ナリ。天鹽岳ヨリ發スル天鹽川ハ本道第二ノ大河ニシテ、其ノ流域ニハ鐵道敷設セラレテ北見ノ宗谷ニ至ルベ

シ。北見ノ北端ナル宗谷岬ハ露領さがれん即チ樺太ト僅ニ十里ノ海峽ヲ隔テ、東端ナル知床岬ニ至ルマデ直徑七十餘里、本州ノ越後ト共ニ最モ縦ニ長キ國ナリ。海岸長港ナク、殊ニ冬季ハ氷塊ノ爲メニ船ヲ通ゼズ、故ニ地味肥エタレドモ、移住ノ人民少カリシニ、近頃枝幸ニ砂金ヲ發見セラレシヨリ來集スル者日ニ増加セリ。天鹽川流域ノ鐵道ハ上流ヨリ一線ヲ分チテ北見ノ中央海岸ヲ通ルベキ豫定ナリ。

### 日高國

天鹽岳ノ脈延長シテ日高十勝ノ間ニ連亘シ、恰モ赤鱗兩翼ノ骨ヲ成セリ。其ノ南端ノ突角ハ日高ノ襟裳岬ニシ



テ、宗谷ト互ニ極端チナス。此ノ山脈ハ樺太ヨリ來リ、海ヲ渡リテ本州ノ北上、阿武隈ノ山脈トナル者ナリ。

室蘭ヨリ襟裳ニ至ルマデハ舟ヲ寄スベキ處ナシ。其ノ沿岸ノ沙流ニハ義經ノ祠アリ、傳ヘ云フ義經高館ヨリ逃レテ此ニ來リ、蝦夷ヲ綏撫セリト。新冠ニハ御料牧場アリテ馬ヲ産ス、御料ノ名馬新冠ハ爰ヨリ出デタリ。

### 十勝、釧路及ビ根室國

三國相並ビテ千島火山脈ヲ負ヒ、海ニ臨ム。十勝ニハ良港ナシ。十勝川ハ本道第三ノ大河ニシテ、石狩、天鹽ト共ニ北海道ノ三大河ト稱セラレ、隨テ其ノ流域ハ皆有望ノ平野ナリ。釧、風鎮等ニ磨リ用ヒラルル十勝石ハ、本名黑曜石

火山石

又火山玻璃ニシテ火山石ノ尤モ美ナル者ナリ。豫定鐵道

ハ十勝川流域ヨリ海岸ニ沿ヒテ釧路ニ入ルベシ。

釧路ノ後面ニハ釧路岳、雄阿寒岳、雌阿寒岳等ノ高山

並立シ、北海道中ノ最寒地ト稱セラル。釧路岳ニ近キ硫黃

山ハ多量ノ硫黃ヲ出シ、之ガ爲メニ釧路川ノ流域ニ沿ヒ

鐵道ヲ架セリ。釧路ノ東隅ニ厚岸灣アリテ、中ニ厚岸ノ

良港アリ。豫定鐵道ハ海岸ニ沿ヒ、灣頭ニ至リテ、枝線ヲ出

シ、硫黃山鐵道ニヨリテ北見ノ中部鐵道ニ連絡シ、幹線ハ灣

頭ヨリ根室ノ根室港ニ達スベシ。

根室ハ良港ニシテ、函館、札幌ニ亞ゲル北海道ノ都會ナレ

ドモ、冬季海水氷リテ船ヲ通ゼザルハ惜シムベシ。當國西

別川ノ鮭ハ有名ナリ。凡ソ北海道ノ川ノ名ニ別ト云フコ

最寒地  
第一ノ  
硫黃產  
地

根室



ト多シ、コハ『あいにぬ』ノ語ニ川ヲ別ト云フ故ナリ、其ノ外山ヲ登澤ヲ内ト云フモ、皆『あいにぬ』語ナリ。

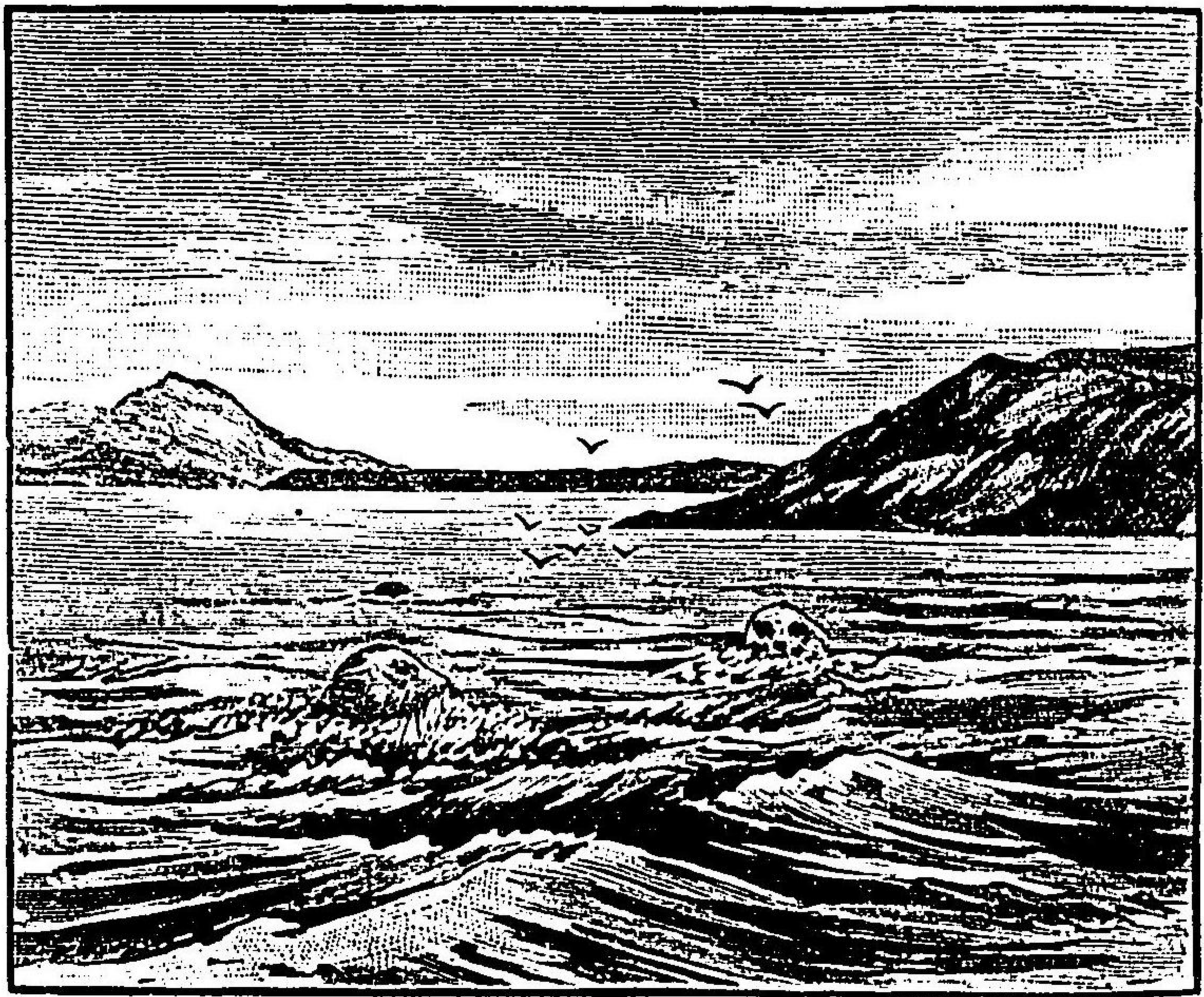
### 千島國

千島ハ根室沖ナル國後、擇捉ヨリ始リ、幌筵、占守ニ至ル三十餘島ヨリ成リ、無人島頗ル多シ。占守ハ實ニ帝國ノ東北端ニシテ露領カむちやつカト僅ニ數里ノ海ヲ隔ツルノミ。

千島ハ火山列島ノ好例ナリ、諸島皆火山質ヨリ成リ、大抵活火山或ハ休眠火山ヲ有シ、其ノ形富士ニ似タル者多シ。千島ニ著シキ者ヲ擧グレバ、(一)寒氣ノ酷烈ナルコト、(二)天然ノ路長大ニシテ其ノ下ニ兩宿リスベキコト、(三)國後ノ硫黄採掘頗ル盛ナルコト、(四)獵虎、臘、獸等、高價ノ海獸多ク、殊ニ

### 占守

幌筵ニ群集スルコト、(五)然レドモ外國密獵船ノ濫漁ニ委シテ、其ノ種漸ク滅絶ニ至ラントスルコト等ナリ。數年前海軍大尉郡司成忠同志ト共ニ占守ニ移住シ、積雪狂浪ノ中ニ帝國ノ北門獸ヲ守ラントス、壯ナリト謂フベシ。藤田東湖、嘗テ歌アリ曰ハク『玉鉾の陸奥越えて見まほしや





蝦夷が千島の雪の夕暮』

北海道概要 北海道ハ本島ノ大サ凡ソ本州ノ三分一ニシテ、其ノ形赤罽ノ如ク、中央火山脈及び千島火山脈ハ脊骨ヲ成シ、天鹽岳ノ山脈ハ兩翼ノ骨ヲ成セリ。斯クシテ北海道ノ山脈ハ東西南北ニ通り、諸水各、其ノ兩側ニ向フ。就中石狩、天鹽、十勝ノ三川最モ大ニシテ、其ノ流域ハ各、有望ノ平原ナリ。内地ハ到ル處ニ深林大木アリテ、人跡至ラズ、熊、鹿、豺、羣ヲ成セリ。鐵道ハ炭鑛鐵道、石狩、膽振ニ縱横シ、函樽鐵道官設鐵道ノ豫定線多クシテ、官設ハ漸漸開通セリ。海岸ハ赤罽ノ頭部尾部ニ良港多クシテ、兩翼ノ部分ニ甚ダ乏シ。氣候ハ一般ニ寒氣嚴シク、上川ノ最低溫度ハ零下二十四度ニ至リ、東北部諸港ノ如キ、冬季ハ凍港トナル、蓋シ陸路

世界三  
大漁場

天然ノ  
桑

ノ交通ニ待ツコト多カルベシ。然レドモ其ノ寒氣ハ未ダ以テ文明ノ發達ヲ害スルニ至ラズ、加之近海ハ世界三、大漁場ノ一トシテ、何レノ海岸ニモ漁獵ノ利甚ダ多ク、其ノ最モ盛大ナルハ鮭漁ナリ。其ノ他昆布、干鮑、煎海鼠等支那人ノ需要ニ適スル者最モ多ク、本道ニ産ス。蠶業ハ未ダ多ク開ケズト雖モ、各地天然ノ桑多キヲ以テ、後來有望ノ適地タルヲ知ル。海中動物ハ本州海岸ヨリハ寧ロ歐米ニ類似シ、蔬菜ノ類モ外國種ノ發育最モ宜シ。稻ハ生育セザルニ非ズト雖モ、元是熱帶性植物ニシテ、加之本道ハ水理未ダ治ラズ、且寒氣早ク至ルヲ以テ、收穫ノ早キ穀物ヲ欲シ、東北部ニ於テハ全ク麥ヲ作レリ。移住ノ民ハ奥羽人最モ多ク、北陸道之ニ次ギ、中國、四國等諸國ノ人亦之アリ、故ニ人情風俗



一定セズト雖モ、要スルニ皆進取冒險ノ氣ニ富メリ。『あいにぬ』人ハ強健朴直ニシテ倭民族ヲ畏敬シ、其ノ開化セル者ハ移住人ト雜居シテ業ヲ營ミ、其ノ未開ナル者ハ移住人ノ侵害ヲ畏レテ深ク山林ニ遁匿ル。大凡優等人種ト劣

優等人種ト劣等人種

優等人種ト相接スルトキハ、劣等ナル者ノ消滅スルヲ世界ノ常トス。然リト雖モ同シク是我が皇家一視同仁ノ民ナリ、優等人種タル者豈之ヲ誘掖シテ以テ皇化ニ浴セシムルヲ務メザルベケンヤ。

第八章 山陽道

播磨國

播磨ハ山陽道ノ初メニシテ、畿内ノ攝津ニ鄰セリ。北ハ山城、攝津ヨリ續ケル中國山脈ヲ負ヒ、又其ノ枝脈ニ因リテ東西ヲ界シ、而シテ南ハ播磨灘ニ臨メリ。山陰ノ丹波ヨリ來ル加古川及ビ其ノ他ノ諸流皆播磨灘ニ注グ。凡ソ中國諸國ハ、地勢單一ニシテ諸國皆相似タルヲ以テ、其ノ特殊ニ係ル者ノ外ハ以下一一之ヲ説カズ。且其ノ地勢狹キ



明石



一三六  
ガ故ニ山岳ハ甚ダ高キ者ナク  
河流ハ大抵皆短キコトヲ記憶  
スベシ。

山陽鐵道攝津ヨリ來リ、播磨  
ニ入レバ舞子濱アリ、白沙青  
子、松須磨ヨリ打續キテ風景太ダ  
好シ。明石ハ月ノ名所トシテ  
濱須磨ト並ベ稱セラル所謂明石  
玉ハ此ノ地ノ産ヲ本トス。此  
ノ邊ハ淡路島ト距離最モ近ク、  
海峡狹クシテ潮流急ナリ、之ヲ  
明石ノ瀬戸ト云フ。總ベテ

姫路

水勢強キ處ノ魚類ハ美味ナリト云ヒ、明石鯛ノ名關西ニ聞  
エタリ。此ノ瀬戸ヨリ本州ノ末ナル早柄瀬戸ニ至ルマデ  
ノ間ヲ瀬戸内海ト稱シ、無數ノ島嶼、若布星列シ、風景ノ美  
ナルコト世界ニ比類少シ。

加古川ヲ渡レバ高砂ノ松、菅公手植ノ曾根ノ松等ノ名勝  
此ノ附近ニ最モ多シ、是等ノ名所ヲ巡ルヲ世ニ『播州巡』ト云  
フ。姫路ハ豊太閤ノ中年ノ時ノ舊城地ニシテ其ノ城今猶  
存シ、現ニ第十師團司令部アリ。姫路革ハ品質我が國第一  
ト稱スレドモ、其ノ製法舊式ニシテ軍用及ビ靴用ノ者ト異  
ナリ。此ノ地ニ於テ山陽鐵道ヲ横斷スル一線アリ、海岸ナ  
ル飾磨津ヨリ山陰ノ但馬ニ至ル、因ツテ之ヲ播但鐵道ト  
云フ。龍野ハ醬油ニ有名ナリ。備前境ニ近ツケバ海濱ニ



赤穂

製鹽ト  
醬油

赤穂アリ、有名ナル赤穂鹽ノ產地ニシテ、赤穂義士大石内藏助等ノ生地ナリ。總ベテ山陽道及ビ四國ノ内海岸ハ全國中雨ノ最モ少キ地ニシテ、善ク鹽ヲ産スト雖モ、就中先ヅ指ヲ赤穂ニ屈ス。龍野ノ醬油ノ盛ナル赤穂ノ製鹽ニ頼ルコト多カルベシ。

雨量ト  
製鹽

雨量ト製鹽

凡ソ廣大ナル海面ヨリ來ル風ハ皆多クノ水蒸氣ヲ含ミ、陸地ノ山岳森林ニ觸レテ冷却シ、初メテ雲ヲ結ビ雨トナル。サテ日本海及ビ太平洋ヨリ來ル風ハ各、其ノ沿岸ノ山脈ニ水蒸氣ヲ奪ハルルヲ以テ、兩山脈ニ夾マレタル地方ハ一帶ニ雨少シ、瀬戸内海海岸諸國ノ如キ即チ是ナリ。此クノ如ク雨少クシテ而モ亦溫暖ノ國ナルヲ以テ、海水ノ鹽分濃厚ニシテ鹽漬ノ乾クコト亦容易ナルナリ。

赤穂ヨリ少許ニシテ備前境ノ山路ヲ舟坂峠ト云フ、元弘ノ亂ニ兒島高德ガ鳳輦ヲ待チテ支度相違セシ所ナリ。

別ニ姫路ヨリ一道アリテ美作ニ趣ク、其ノ國境ナル杉坂峠ハ高德ガ轉ジテ美作ニ入りシ道ナリ。

美作國

北ハ中國山脈ヲ負ヒ、南ハ久米皿山ノ脈ニヨリテ備前ト境シ、山陽道中唯一ノ無海國ナリ。其ノ衆流備前ニ入ル。津山ハ國ノ名邑ニシテ、備前ノ岡山ヨリ鐵道已ニ通シ、將ニ伯耆ニ延長セントス。津山ノ西ニ院莊アリ、兒島高德ガ櫻樹ヲ削リテ詩ヲ題セシ處ニシテ、其ノ作樂神社ニハ後醍醐天皇ト高德トヲ合祀セリ。此ノ邊ヨリ久米皿山ヲ望ム風景甚ダ佳シ、當時後醍醐天皇ノ御製ニモ『名に聞きし久米の皿山越え行かん道とは兼ねて思ひやはせし』此ノ街道ハ山陰ノ伯耆ニ入ル。



### 備前國備中國及備後國

美作ヨリ備前ニ來ル二川ハ東ナルヲ東大川ト云ヒ西ナルヲ西大川ト云ヒ皆海ニ入ル。前面ナル兒島半島ハ高德出身ノ地ニシテ、兒島灣ヲ抱ケリ、元ハ海中ノ一島ナリシガ、海峡ニ土砂堆積シテ、遂ニ備中トノ間ニ地峽ヲ生ジタリ。

岡山  
日本三公園  
山陽鐵道播磨ヨリ來ル。東大川以東ニ伊部及ビ長船アリ、伊部ハ備前燒ノ產地、長船ハ刀劍ノ產地ナリ。鐵道此ノ附近ヲ過ギテ岡山ニ至ル。岡山ハ西大川ノ上ニ立チ、岡山縣廳ハ美作備前備中ヲ管ス。其ノ公園後樂園ハ水戸加賀ト共ニ日本三公園ト稱セラル。中國橫斷鐵道ハ已ニ津山ニ通シ山陽鐵道ハ進ミテ備中ニ入ル。

備中ノ前面ノ海ヲ水島灘ト稱ス。鐵道岡山ヨリ來リ倉敷玉島港等ヲ過ギテ備後ニ入ル。

備後ハ中部ニ御神山ノ如キ山岳アリテ水理南北ニ分ル、南ハ例ノ如ク内海ニ注ギ、北ハ石見ニ入りテ江川トナル。山陽鐵道備中ヨリ來リテ海濱ヲ通ル。海濱ニ半島狀ノ地アリ、其ノ端ニ鞆アリ、古來有名ナル港ニシテ其ノ產物保命酒亦世ニ聞エタリ。斯クテ鐵道ハ食鹽ニ著名ナル尾道ヲ過ギテ遂ニ安藝ニ入ル。有名ナル備後表ノ原料藎草ハ昔福島正則ガ獎勵シテ栽培セシメシ所ニテ、鞆尾道近傍ニ産セシガ、今ハ三備地方皆之ヲ産セリ。

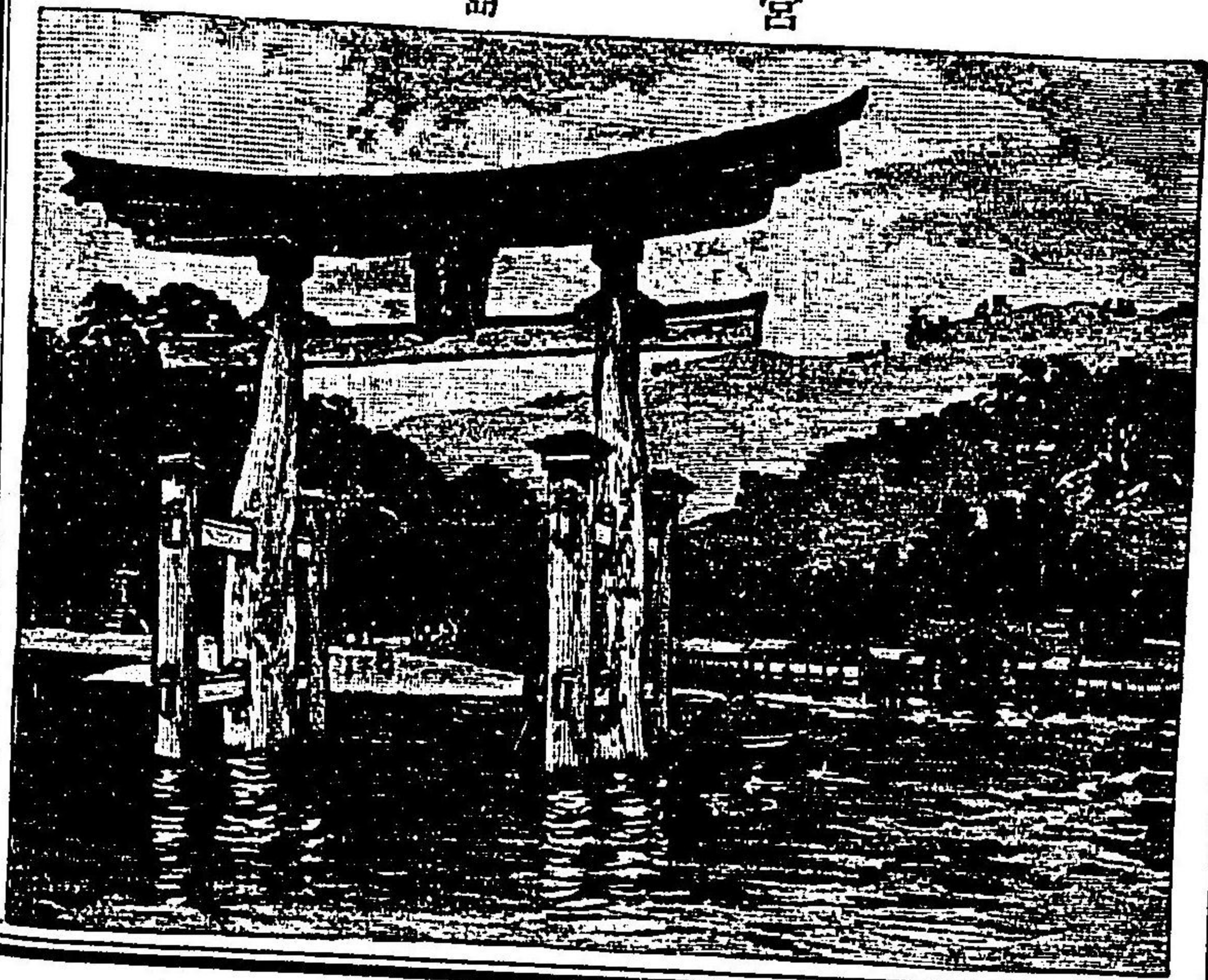
### 安藝國

安藝モ亦北隅一部ノ水、江川ニ入り、其ノ餘ハ皆内海ニ注



廣島

グ。山陽鐵道備後ヨリ來  
 リテ廣島ヲ過グ。廣島ハ  
 全道第一ノ大市ニシテ、征  
 清ノ役ニハ爰ニ大本營ヲ  
 置カレ。大元帥陛下ノ風宮  
 ニ櫛リ、雨ニ沐シ給ヒシ所  
 ナリ。廣島縣廳ハ備後安  
 藝ヲ管シ、第五師團司令部島  
 モ此ニアリ、其ノ海ニ生ズ  
 ル牡蠣甚ダ名高シ。  
 鐵道廣島ヨリ支線ヲ出  
 シテ廣島灣ノ宇品港ニ至



宮島

ル、征清ノ軍人ハ多ク此ヨリ乗船シキ。灣ノ東頭突角ノ邊  
 ニ吳軍港アリ此ニ鎮守府アリテ近海并ニ四國ノ外海及ビ  
 九州ノ東岸ヲ鎮セリ。灣内多クノ島嶼アリ、江田島ニハ兵  
 學校アリ。嚴島ハ宮島トモ云ヒテ、實ニ日本三景ノ一ナリ、  
 島上ノ嚴島神社ハ結構莊嚴ヲ極メ、潮來ルトキハ宮殿海中  
 ニ浮ブガ如ク廻廊ノ華燈波ニ映シテ、恰モ仙宮ニ遊ブノ想  
 ヒアリ。鐵道幹線ハ廣島ヨリ周防ニ入ル。

### 周防國

周防ノ前ナル海ヲ周防灘ト云フ。山陽街道周防ニ入レ  
 バ岩國アリ。岩國ハ岩國川ニ臨ミ、之ニ架セル錦帶橋ノ美  
 觀ハ天下ニ有名ナリ。岩國半紙、岩國縮木綿縮亦名高シ。  
 鐵道ハ徳山ヲ過ギ、三田尻ヲ過ギテ長門ニ入ル。長門ノ三



三田尻

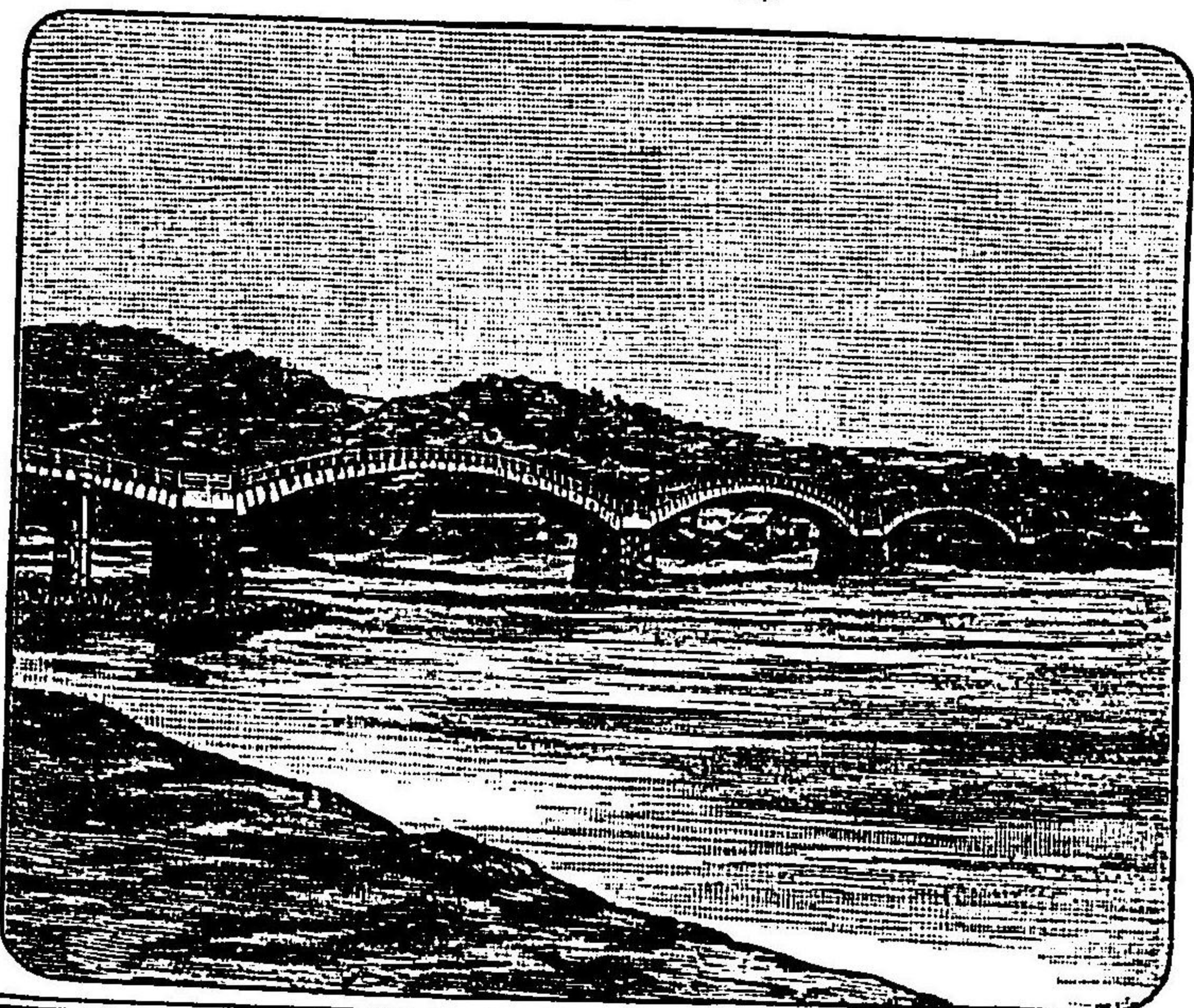
山口

田尻ハ製鹽ノ名赤穂ニ  
亞グ。此ノ附近ヨリ山  
口ニ別ルル一道アリ。  
山口ハ維新前長州征伐  
ノ中心ニシテ今ハ山口  
縣廳アリ、周防長門二國  
ヲ管ス。

### 長門國

橋 帶 錦

長門ハ、山陰、山陽兩道  
ノ西端ニ位シテ地勢、水  
理半ハ山陽ニ屬シ、半ハ  
山陰ニ屬セリ。山陽鐵



一四四

境、浦

道ノ終點ナル赤間關ハ昔ヨリ名高キ硯石ヲ産スル處ニ  
テ下關トモ又ハ馬關トモ稱シ、早鞆瀬戸ヲ隔テテ豊前ノ門  
司ト僅ニ一海里ヲ隔テ、日清戰爭ノ末ニ李鴻章ガ來リテ媾  
和條約ヲ結ビシ所ナリ。此ノ地ハ大阪、神戸ヨリ九州通ヒ、  
北海廻リ及ビ外國行キ等、新航路ノ咽喉ニ當リ、近傍ニ石炭  
坑アリテ石炭等ヲ輸出シ、又開港場ノ一ニシテ港ノ繁昌類  
ヒナシ。赤間關ノ東ナル壇浦ハ源平ノ亂ニ平家一門ノ滅  
亡セシ處ナリ。瀬戸ノ外ヲ響灘ト云ヒ風浪稍荒シ。

山陽道概要 地勢ハ已ニ屢云ヘルガ如シ。山陽鐵道ハ  
山陽街道ニ沿ヒテ神戸ヨリ馬關ニ至レリ。海岸長ク良港  
頗ル多キヲ以テ、水運便ニ、漁獵亦盛ンナリ。河流ハ一般ニ  
短小ニシテ唯灌溉ニ供スルノミ、運漕ニ用フルニ足ラズ。



(磨播)鯛石明  
 (磨播)草路姫  
 保命酒(備後)  
 備前焼  
 備後表  
 (前備)劔刀船長  
 (備安)蠣牡  
 (防周)紙半國岩  
 (防周)縮國岩

氣候ハ一般ニ温  
 暖ニシテ、且雨少  
 キガ故、已ニ云ヘ  
 ル如ク、製鹽最モ  
 盛ンニシテ、其ノ  
 産出ハ全國總額  
 ノ半ヲ占ム。地  
 質ハ花崗石多ク  
 シテ一般ニ瘠セ  
 タル方ナレド、播  
 磨、備前等ハ平野  
 多ク、花崗石稍少

クシテ、米穀果蔬亦善ク産ス。牧畜ハ頗ル盛ンニシテ、有名ナル中國牛ハ播磨、備中等ノ産亦多シ。人情ハ一般ニ温順ニシテ、防長人甚ダ伶俐ナリ。

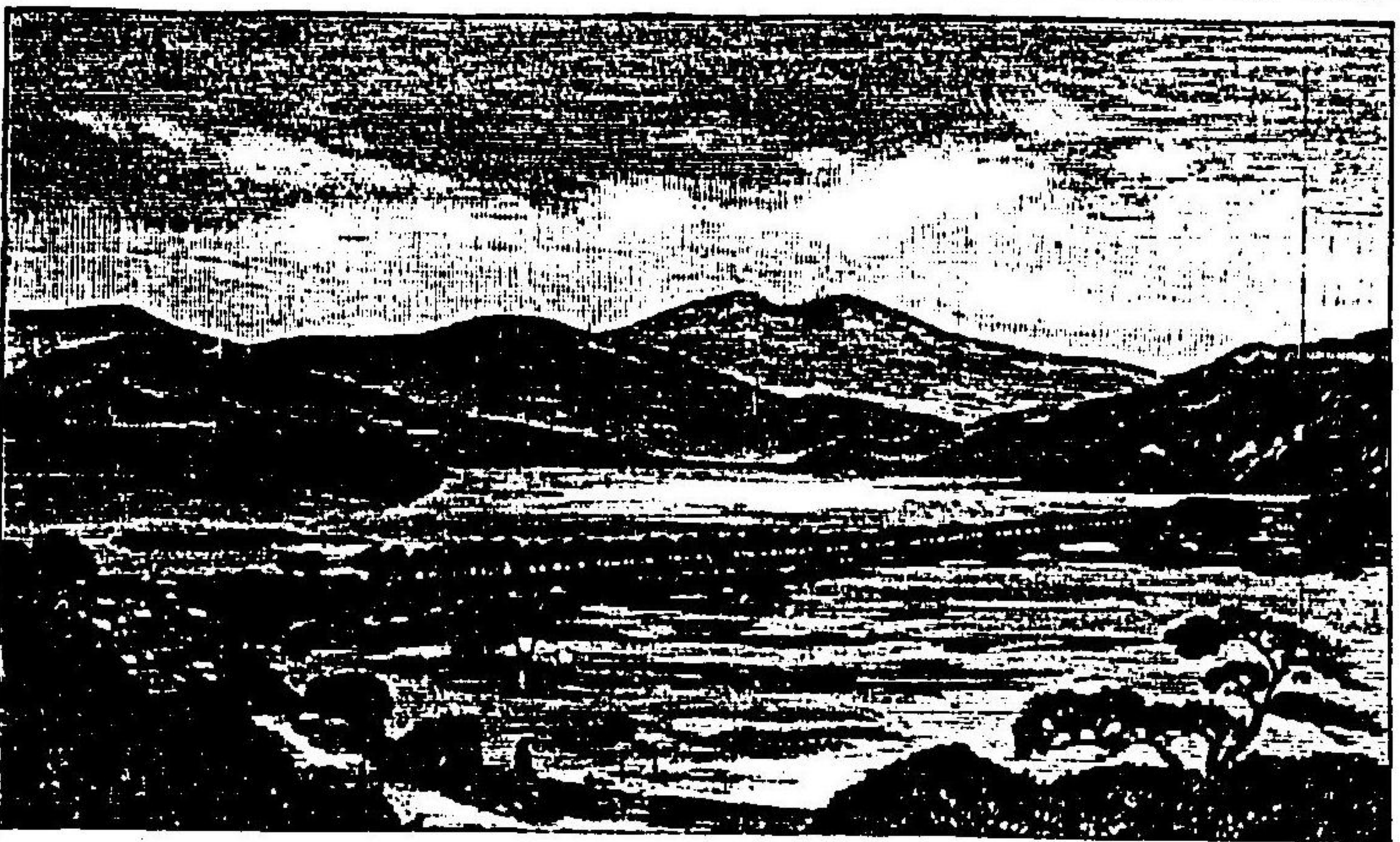
第九章 山陰道

丹波國及ビ丹後國

丹波ハ嵐山ヲ界トシテ京都ニ隣セリ。此ノ國ハ全道唯  
 一ノ無海國ニシテ、夫ノ酒顛童子ノ昔話ニ有名ナル大江山  
 ノ脈ヲ以テ丹後ト界スル形状、略山陽道ノ美作ト備前トノ  
 如シ。國內ノ水理三ツニ分ル。第一、山城ニ接スル方面ノ  
 水ハ保津川トナリ、嵐山ニ至リテ、大堰川トナル。二ハ播  
 磨ニ接スル方面ニシテ、其ノ水ハ播磨ノ加古川トナル。三  
 ハ丹後ニ接スル方面ニシテ、其ノ水福知川トナリテ丹後ニ

大江山





入ル此ノ流域ニ於ケル都會ヲ福  
 知山トイフ。京都舞鶴間ノ鐵道  
 及ビ阪鶴鐵道ハ此ノ地ニ會シテ  
 丹後ニ入ルベキ豫定ニシテ阪鶴  
 線ハ已ニ此ノ地ニ至レリ。山陰  
 街道ハ福知山ヨリ但馬ニ入ル丹  
 橋但播三國相接スル邊ハ有名ナル  
 立丹波栗ノ最モ多キ所ナリ。  
 福知川ハ丹後ニ入リテ由良川  
 ト云ヒ由良ニ注グ山陰道中大ナ  
 ル川ノ一ナリ。由良ノ東西ニ各  
 一ノ良港アリ東ナルヲ舞鶴ト云

天橋立  
日本三  
景

ヒ本州ノ日本海海岸ヲ管スル軍港ニシテ鐵道小濱及ビ京  
 阪ヨリ來ルベキコトハ已ニ云ヘリ。由良ノ西ナル港ヲ宮  
 津ト云フ開港場ノ一ニシテ其ノ灣内ナル天橋立ハ松島  
 宮島ト共ニ日本三景ノ一ニシテ一里ノ沙洲遠ク灣口ニ  
 横タハルコト恰モ天然ノ橋ノ如ク無數ノ老松其ノ上ニ列  
 ナリテ之ガ欄干ヲ成セリ。丹後縮緬亦宮津附近ノ地ノ産  
 物ナリ。

但馬國因幡國及ビ伯耆國

生野

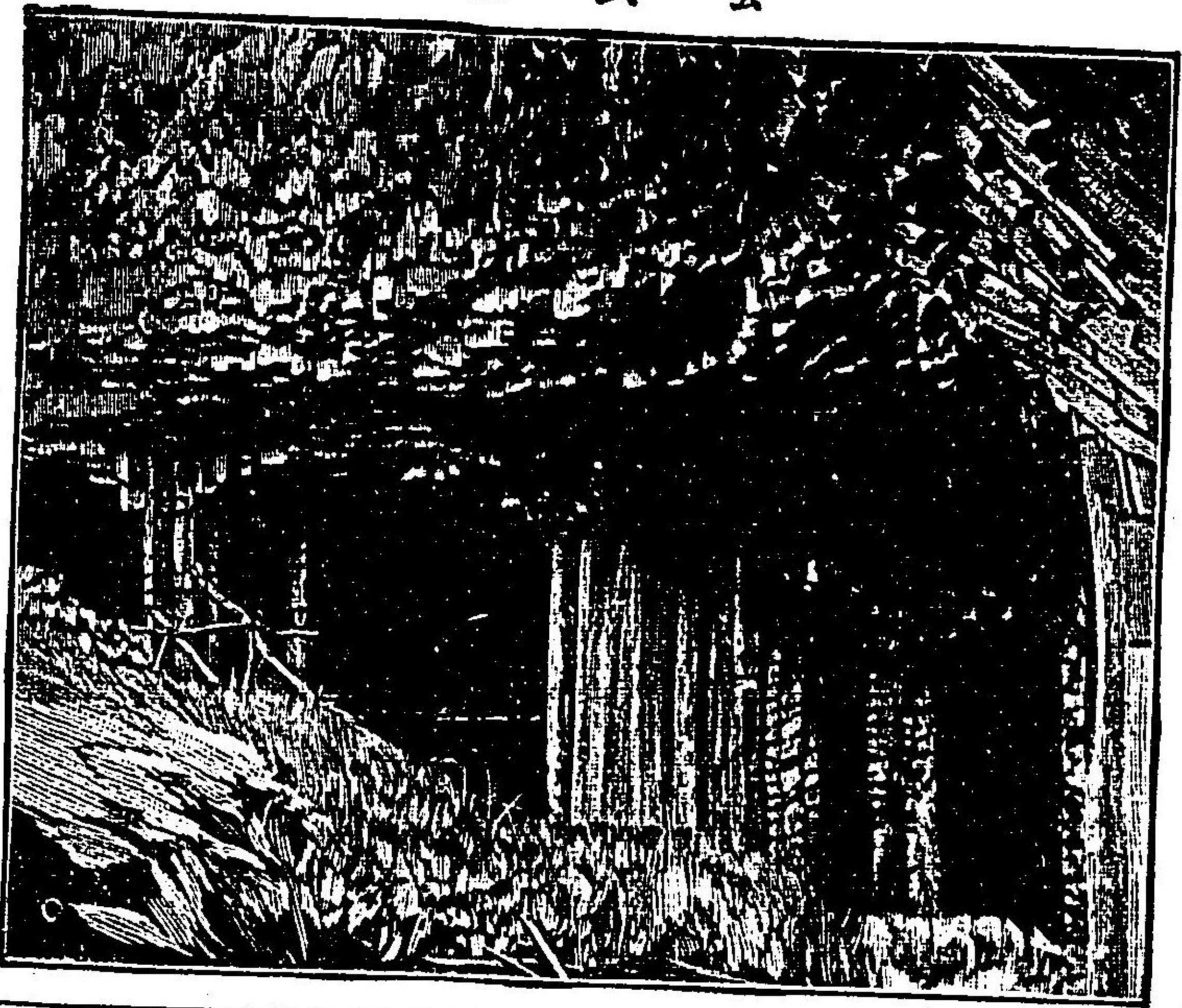
播但鐵道姫路ヨリ來リテ生野ニ至ル。生野ハ播磨境ニ  
 近キ有名ナル銀山ニシテ金銀ノ年額大凡佐渡ニ半ス。此  
 ノ邊ヨリ發シテ日本海ニ注グ所ノ朝來川モ亦山陰道中ノ  
 大川ナリ。播但鐵道ハ早晚此ノ川ノ流域ニ沿ヒテ河口ニ



達スベシ。

### 山陰街道ハ丹波ヨリ

來リ朝來川ノ上流ヲ渡  
リ、斜ニ國中ヲ過ギテ因  
幡ノ海岸ニ近ヅク。街玄  
道朝來川ヲ過ギテ後、少  
許ニシテ八鹿<sup>ヤカ</sup>アリ、此ノ  
邊ハ山間ノ地ニシテ牧  
牛盛<sup>ウシ</sup>ナリ。朝來川ノ  
稍下流ノ流域ニ出石<sup>イシ</sup>、豊  
岡<sup>トヨカ</sup>アリ、出石ハ陶器出石  
焼ヲ出ス。豊岡ヨリ下



### 火山石 材

流ニ沿ヒテ城崎<sup>キ</sup>温泉ニ行ク途中ニ有名ナル玄武洞<sup>ブツ</sup>アリ、洞  
内ノ玄武岩ハ黑色柱狀ニシテ無數ノ材木ヲ積累セルガ如  
シ、皆熔岩ノ固結セル者ニシテ甚ダ奇觀ナリ。此ノ地方ニ  
但馬富士<sup>タマフジ</sup>（三開山<sup>ミノクニ</sup>）ノ消火山<sup>クハシ</sup>アリ、即チ白山火山脈ニシテ大  
凡中國山脈ニ並行シテ山陰道ヲ通過セリ。

**熔岩** 熔岩ニ種種アリ、其ノ固結ノ時ノ状態ニヨリテ浮石ノ如ク氣孔  
多キ者アリ、玄武石ノ如ク整正ナル條理アル者アリ、伊豆石ノ如ク大ナル  
條理ナク唯線紋等ヲ顯ス者アリ、氣孔モ條理モナク玻璃狀ナルコト十勝  
石ノ如キ者アリ、是等ハ皆通常見ル所ノ火山質石材ナリ。

### 鳥取

山陰街道ハ因幡ニ入り、鳥取ヲ過ギテ千代川<sup>チノヨ</sup>ヲ渡リ、遂  
ニ伯耆ニ入ル。鳥取ハ山陰屈指ノ都會ニシテ、此ニ鳥取縣  
廳アリ、因幡、伯耆ヲ管ス。



中國第一ノ高山

伯耆ニ至レバ、國ノ中央ニ大山アリ、白山火山脈中ニアリテ直立大凡六千尺、富士ノ高サニ半バシ、中國第一ノ高山ナリ。是ニ續ケル船上山ハ後醍醐天皇ノ隱岐ヨリ潛幸アリシ時、名和長年ガ守護シ奉リシ行在ノ所ナリ。山陰街道海岸ニ沿ヒテ西境ニ至レバ米子ノ市街アリ、津山街道アリテ鐵道ノ豫定線ナリ。此ノ海岸ニ斗出シタル沙洲ヲ夜見濱ト云ヒ、出雲ノ島根半島ト「人」ノ字ヲ成ス。洲ノ北端ニハ境港アリ、開港場ノ一ニシテ隱岐ノ航路ハ多ク爰ヨリス。

隱岐國

隱岐ハ日本海中數個ノ島ヨリ成リ、北ナル最大ノ一島ヲ島後ト云ヒ、南ナル一群ノ島ヲ島前ト云フ。島前中ニ大ナル島三ツアリ、西島、中島及ビ知夫里島ト云フ、中島ハ後

隱岐火山脈

鳥羽天皇ノ遷幸ノ地、知夫里島ハ後醍醐天皇遷幸ノ地ナリ。隱岐モ火山ノ爲メニ噴起シタル島ニシテ、遙カニ佐渡能登ニ脈ヲ引キ、之ヲ隱岐火山脈ト云フ。

出雲國及ビ石見國

松江

島根半島ト伯耆ノ夜見濱トニテ抱ケル内海ヲ中海ト云フ、風浪穩カニシテ碇泊ニ宜シ。中海ノ西ニ宍道湖アリ、湖ノ東岸ニ松江アリ、山陰第一ノ都會ニシテ湖海ノ通運甚ダ宜シク島根縣廳此ニアリテ出雲、石見、隱岐ヲ管ス。湖上ノ風景明媚ニシテ、其ノ鱸ノ佳味支那ノ松江ニ似タルモ奇ナリ。湖中ニ注グ簸川一名大川ノ水源ナル船通山ハ古ヘハ簸川上ト云ヒ、古傳ニヨレバ、素盞鳴尊ガ八岐大蛇ヲ斬リテ寶劍ヲ得給ヒシ所ナリ。



杵築

サテ山陰街道ハ伯耆ヨリ來リテ松江ヲ過ギ、宍道湖ノ岸ニ沿ヒ杵築ノ南ヲ過ギテ石見ニ入ル。杵築ノ大社ハ上古山陰道ヲ經營シテ吾ガ皇室ニ讓リ給ヒシ大國主命ヲ祀レル宮殿ナリ。出雲牛ハ昔ヨリ世ニ名アリ。

社大ノ築杵

石見ノ江川即チ石見川ハ備後ヨリ來リ中國



日本海岸

第一ノ大河ニシテ水源ヨリ七十餘里アリ、而モ舟運ハ其ノ半ニ至ラズ。山陰街道來リテ此ノ川ヲ渡リ濱田港ヲ過グ、濱田ハ開港場ノ一ニシテ石見半紙ノ市場ナリ。斯クテ街道ハ漸ク海邊ヲ離レ、長門境ニ近キ津和野ヲ過ギ、長門ノ一隅ヲ通りテ山陽道ナル周防ノ山口ニ會ス。津和野附近ノ山中ニ銀山アリ、所謂石見銀山鼠取藥ハ粗製ノ砒石ナリ。山陰道概要 一般ノ地勢ハ前ニ已ニ云ヘル如ク山陽ト共ニ極メテ單一ナリ、唯山陽ニ比スレバ白山火山脈アルヲ異ナリトス。海岸ハ丹後、出雲ヲ除クノ外ハ屈曲少ク、良港ナシ、是日本海海岸ノ通例ナリ。氣候ハ山陽ニ比スレバ、劃然トシテ寒冷ナルハ主トシテ其ノ北受ケナルガ爲メナラン。雨量ハ北陸道ニ比シテ稍少キハ山脈ノ方向大凡南北ニ走



養蜂地方



リテ夫ノ西北風ヲ正面ニ受ケザルガ爲メナルベシ。地質ハ山陽ニ比スレバ花崗石一層多クシテ地味更ニ瘠セタリ。産物ノ一般ナルハ牧牛ト養蜂トニシテ、蜂蜜各地ニ産ス。鑛物ニハ生野、石見ノ銀山アリ、鐵山ハ雲石藝備ト稱シ、此ノ地方ノ産額ハ現今全國一ノ多量ナリ。海岸多キ故ニ各國多少ノ漁業アレド、風浪荒キガ爲メニ比較的收得少シ。人情ハ山陽ト同

シク温順ナレド、交通極メテ狭キガ故カ稍、狹固ニ近キ者アリ。然レドモ播但鐵道、阪鶴鐵道、岡山米子間等横斷線ノ着手セラレ、計畫セラレタル者已ニ多シ、況ヤ他日鐵道ノ山陰ヲ縦貫スル者アルニ至ラバ、諸般ノ風光面目ヲ改ムル應ニ遠キニ非ザルベシ。

### 第十章 北海道

#### 紀伊國

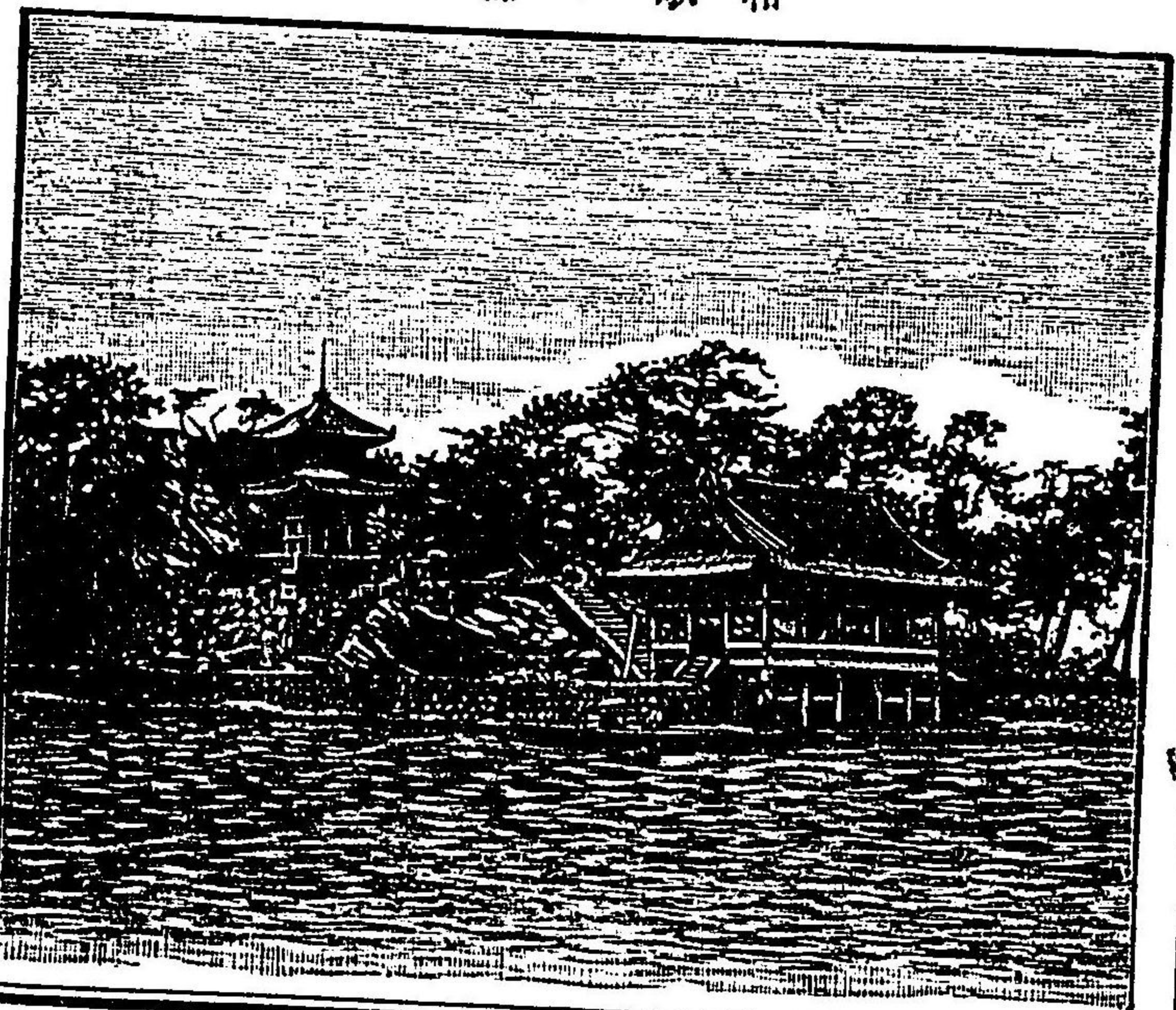
紀伊ハ其ノ形大凡羅馬數字ノVノ字ニ似テ、西半廣ク、東半狭ク、内面ハ紀伊山脈ニシテ大和ノ南部ヲ擁シ、外面ハ一帯ニ海ヲ受ケ、中央ノ突角ヲ潮岬ト云ヒ、黒潮之ニ激シテ波濤險惡ナリ。和泉ニ接スル紀泉山脈ノ突角ハ加太岬ト云ヒ、淡路國ト紀淡海峽ヲ夾ミ、軍事上要害ノ地ナリ。



和歌山

南海鐵道ハ大阪ヨリ  
和歌山ニ達セリ。和歌  
山ハ紀川ノ河口ニアリ  
テ和歌山縣廳ハ當國熊  
野川以西ヲ管シ紀州ね  
るハ此ノ地ヨリ出ヅ。  
紀川ハ即チ大和ノ吉野  
川ニシテ之ニ沿ヘル紀  
和鐵道ハ既ニ和歌山ニ  
達セリ。此ノ河流附近  
ノ著シキ者ヲ舉ゲンニ、  
大和境ニ於テ左岸遙カ

和歌ノ浦



高野山

ニ峙テル高野山ハ有名ノ靈山ニシテ、弘法大師開基ノ金剛  
峯寺アリ、杉、高野槇等ノ大木森森トシテ、斯ノ山ノ尊嚴ヲ添  
ヘタリ。總ベテ紀伊山脈ハ吉野ヘカケテ多ク木材ヲ出シ、  
木曾ニ亞ギタル山林ナリ。下リテ右岸ナル粉川ハ粉川寺  
ト醉トテ以テ名高シ。和泉境ニ接セル根來ノ根來寺亦有  
名ナリ。和歌山ニ至レバ其ノ南方ノ海濱ヲ和歌浦ト云ヒ、  
風光明媚、氣候溫和ニシテ、遊人ノ賞揚スル所ナリ。  
和歌山ヨリ海ニ沿ヒテ南ニ進メバ黒江港ニ至ル、即チ黒  
江ノ産地ナリ。總シテ和歌山縣ノ漆器、全國第一ノ多額  
ナルハ、蓋シ當國ノ木材ト吉野漆ノ自由ナルトニ由ルナラ  
シ。有田川ハ紀川ニ並行シテ海ニ入ル、其ノ兩岸ハ有名ナ  
ル紀州蜜柑ノ産地ナリ。



那智山

更ニ南ニ進メバ田邊ナル小都會アリ。此ノ邊ヨリ東チ  
一帯ニ熊野地方ト稱ス、大和ノ十津川熊野川トナリ、熊野浦  
ニ注グ。熊野浦ハ鯨漁ニ名アリ、又熊野山中ヨリハ材木及  
ビ最良ナル鍛冶炭、熊野備長ト云フヲ出ス。熊野川ノ右岸  
ニ本宮、那智及ビ新宮アリ、各著名ナル大社アリ、之ヲ熊野三  
社ト稱ス。本宮ノ温泉ハ古ヘヨリ有名ナリ、又那智山ニハ  
那智瀧アリ、高サ八十四丈、本邦第一ノ大瀧ニシテ熊野浦ヲ  
過グル者舟中ヨリ之ヲ望ムベシ。

淡路國

淡路ハ大略細長キ三角形ヲ成シタル島國ナリ。頂點即  
チ北端ハ明石海峡ヲ隔テテ攝播ニ對ス。底邊ノ東角ハ紀  
淡海峽ヲ隔テテ紀州ノ加太岬ニ對ス、此ニ由良アリテ砲臺

鳴門海峽

ヲ設ケラル。又底邊ノ西角ハ鳴門海峽ヲ隔テテ阿波ニ對  
ス。所謂阿波ノ鳴門ハ有名ナル難處ニシテ、潮流相激シテ  
渦卷ヲ成ス。然レトモ其ノ潮流荒キガ爲メニ魚類ノ味甚  
ダ佳ク、鳴門鯛ノ名近畿ニ噪ゲリ。鳴門ニ近ク福良ノ港ア  
リ、此ノ邊ハ陶器淡路焼ノ產地ナリ。

山脈ハ南北ニ縦貫スル者ト底邊ニ沿ヒテ横貫スル者ト  
アリ。東岸ノ洲本港ハ當國一ノ名邑ナリ。

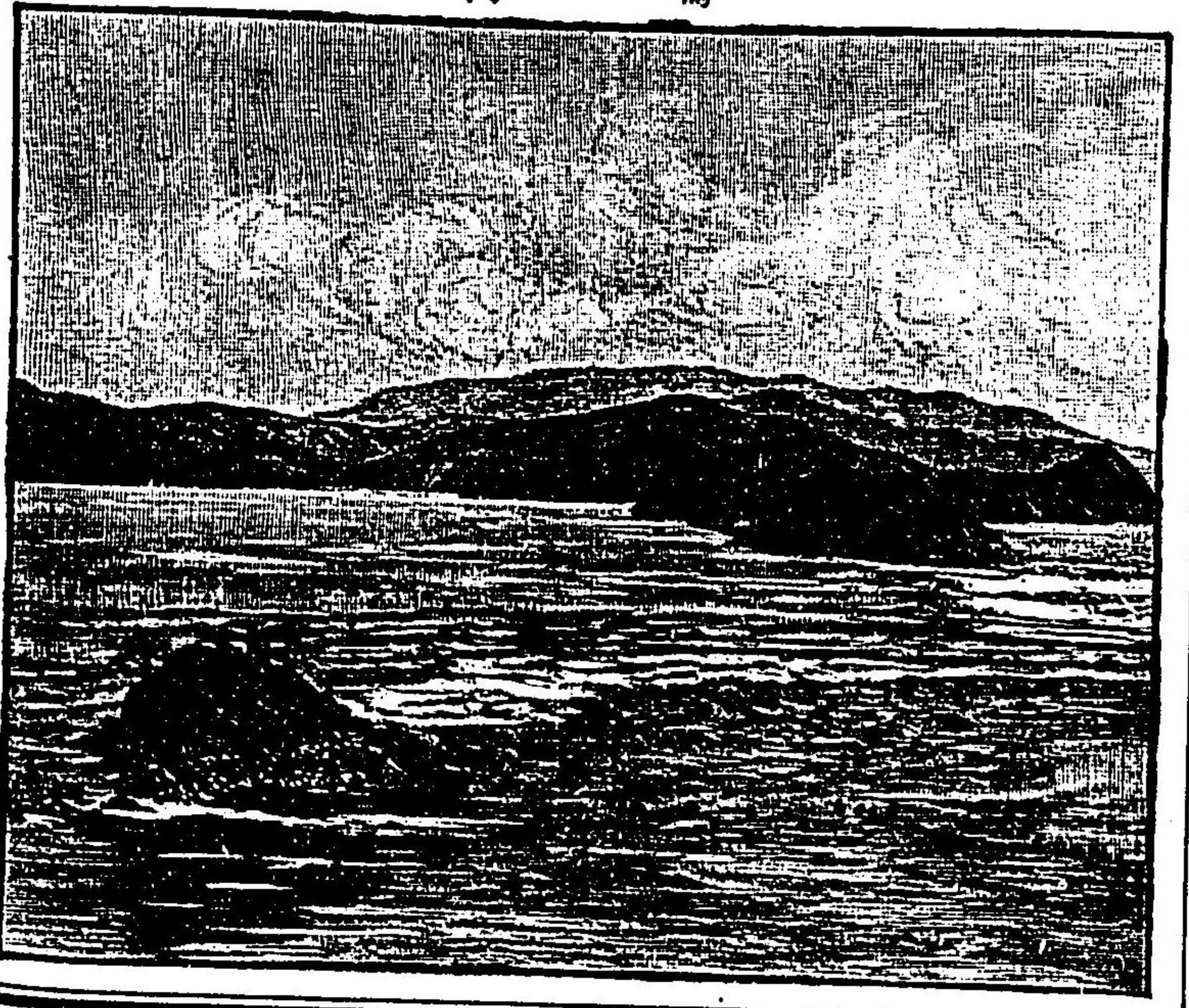
阿波國

人ハ謂フ四國ハ蝙蝠ノ羽ヲ張りタル形ナリト、而シテ阿  
波ハ其ノ東翼ノ中部ヲ占メタリ。阿波ハ四國山脈ノ二分  
岐ニヨリテ擁セラレ、東面獨リ海ニ臨メリ。其ノ分岐ノ北  
ナル者ハ北境ヲナシテ鳴門海峡ニ没シ、再ビ現レテ淡路ノ

四國山脈



南岸ヲ過ギ、更ニ紀淡海  
 峽ニ没シ、三タビ現レテ  
 紀泉山脈トナレリ。南  
 部ノ脈ハ海ヲ渡リテ紀  
 州ニ入り、紀伊山脈トナ  
 リ、伊勢、志摩ヲ過ギテ又  
 海ヲ渡リ、三河、遠江ニ現  
 レテ赤石山脈トナル。  
 門 鳴  
 北部ノ水ハ集リテ吉  
 野川トナリ、東ニ流レテ  
 海ニ入ル。大和ノ吉野  
 川ト同名ニシテ、彼ハ日



本邦第一ノ藍產地  
 阿波・徳島

本第一ノ櫻ノ名所ナリ、是ハ日本第一ノ藍ノ產地ニシテ、兩  
 岸ノ地倍養製造甚ダ盛ンナリ。阿波・徳島ノ此ノ流域ニ有名  
 ナルモ、一ハ藍ノ原品ノ便ナルニヨリテナラン。河口ニ徳  
 島アリテ徳島縣廳ハ當國ヲ管ス。北ニ齋田アリ製鹽ニ名  
 アリ。徳島ヨリ徳島鐵道漸ク吉野川ノ流域ニ上レリ、他日  
 當ニ進ミテ讃岐、伊豫及ビ土佐ニ入ルベシ。

讃岐國

高松  
 讃岐ハ後面四國山脈ニヨリテ阿波ト界シ、前面瀬戸内海  
 ニ臨メリ。高松ハ大阪ヨリ瀬戸内航路ノ一要津ニシテ香  
 川縣廳此ニアリ當國ヲ管ス、其ノ公園ハ幽邃廣大ニシテ、日  
 本三公園ト並ベ稱セラル。高松ノ東ノ突角ニハ五劍山ア  
 リ、其ノ麓ナル屋島ハ源平ノ古戰場ナリ。高松ヨリ沿岸ノ



琴平

街道東西ニ通ズ、東ノ方阿波ニ近ク引田アリ、全國製糖盛ンナル中、引田殊ニ名アリ。高松ヨリ沿岸阿波ニ入ルベキ鐵道豫定セラレタリ。高松ヨリ西ハ讚岐鐵道已ニ敷設セラレテ丸龜及ビ多度津ニ至レリ。丸龜ハ第十一師團司令部ノ位地ナリ。多度津ハ四國ノ最良港ニシテ船舶ノ出入繁昌セリ。多度津ノ南ナル琴平ハ象頭山ノ金刀比羅宮ノアル所ニシテ、參詣ノ人多ク、多度津ヨリ鐵道ヲ布設セリ。此ノ線ハ他日德島鐵道ト連絡スベシ。象頭山、五劍山等ハ何レモ消火山ニシテ、肥後ノ阿蘇ニ連ナル阿蘇火山脈ナリ。

伊豫國

伊豫ハ讚岐ノ西ニ並ビテ、四國山脈ヲ負ヒ、瀬戸内海ニ臨ム。四國山脈ノ石槌山ハ土佐境ニ峙チテ直立六千五百尺

四國第一ノ高山

松山

富士ノ半ヨリ稍高ク、四國第一ノ高山ナリ。東ノ方山脈ノ阿波ニ分岐セントスル邊ニ別子銅山アリ、産額ノ多キコト足尾ニ亞ギ、本邦第二ト稱ス。又市川鑛山ニ安質母尼ヲ産シ、世ニ之ヲ「伊豫白蠟」ト稱ス。

松山ニハ愛媛縣廳アリテ當國ヲ管ス。鐵道ハ此ノ地ヲ中心トシテ三津、濱港及ビ道後ノ温泉等ニ至ル、他日應ニ讚岐鐵道ト連絡スベシ。有名ナル伊豫・簾ハ松山ヨリ土佐境ノ方ニ寄りタル山地ニ産出ス。西隅ニ細長キ手ノ形シタル半島アリ、恰モ人ノ指ヲ以テ九州ヲ指スガ如シ、其ノ端ヲ佐田岬ト云フ。此ノ海峽ハ水勢強クシテ魚類多ク且美味ナリ。

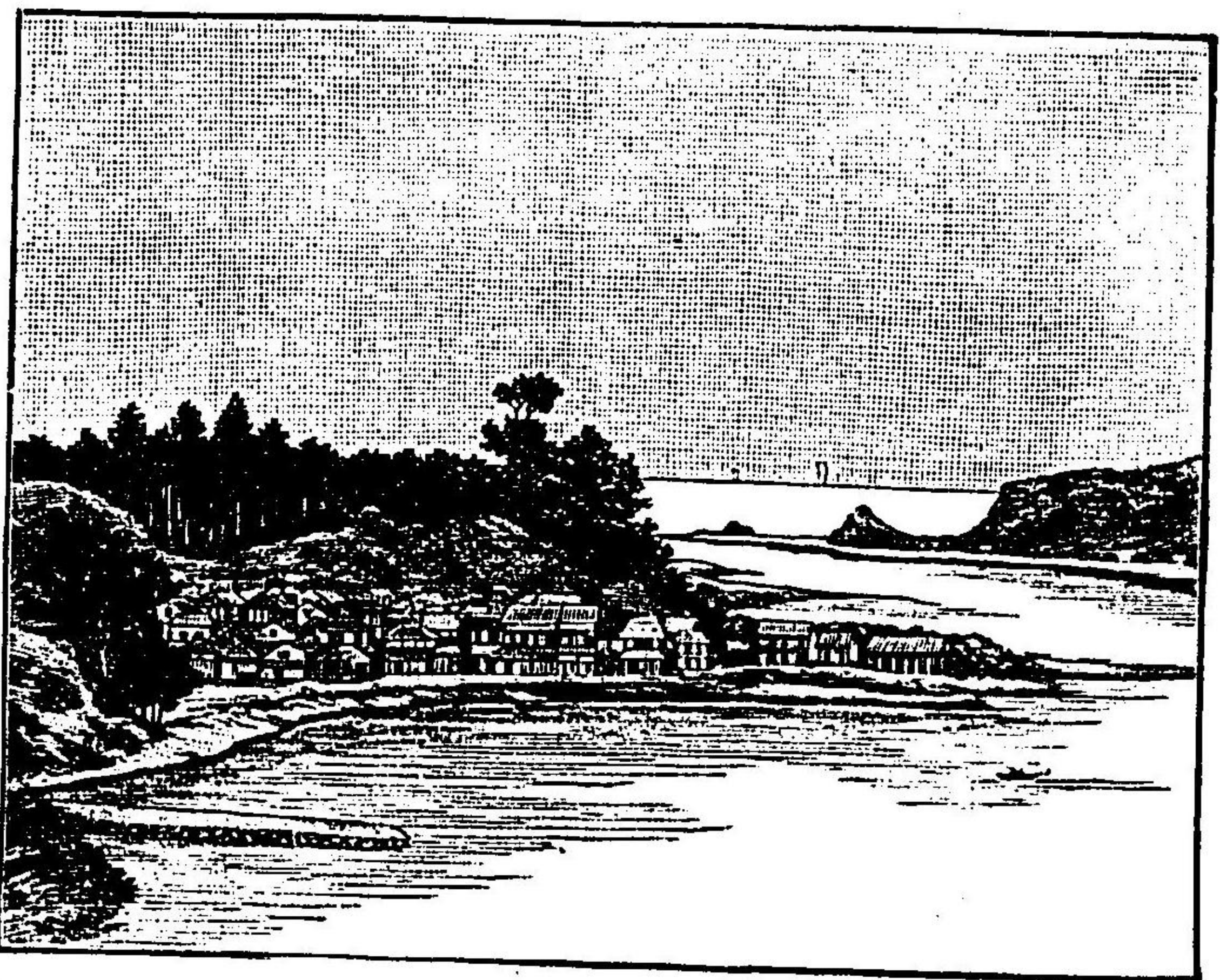
土佐國



土佐ハ四國山脈以南ノ海岸一帯ヲ占メタル大國ニシテ、前ナル海ヲ土佐沖ト稱ス。四國山脈ノ爲メニ諸方ノ道路險惡ヲ極メ、海岸ハ良港ナクシテ風浪荒ク、颶風亦時ニ至リ、交通頗ル不便ナリ。

高知

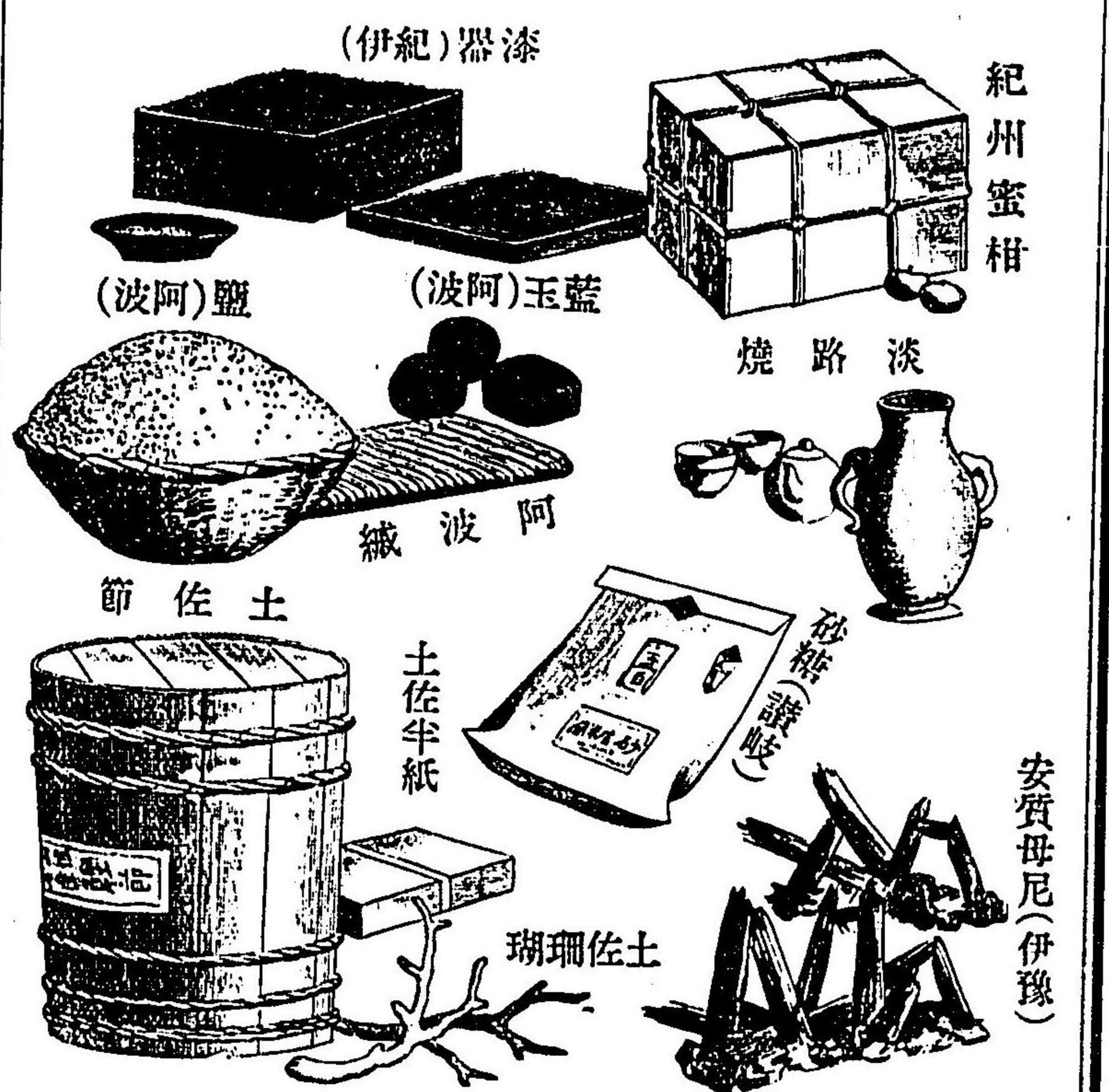
高知ハ山ヲ負ヒ、入江ニ臨ミ、風景佳キ地ニシテ高知縣廳此ニアリテ



當國ヲ管ス。高知ヨリ西南ナル須崎港ハ商業ノ繁昌高知ニ亞ギ、殊ニ有名ナル土佐半紙ハ此ノ周圍ニ製造セラレ、半紙ノ名ヲ須崎及ビ高岡(鄰郡ノ名)ト稱シテ賣買ス。西南隅ハ極メテ僻地ニシテ、土佐一般ニ瘠地ナル中ニ就キテ最モ瘠地ナレド、海濱ノ風景絶佳ニシテ漁業甚ダ盛ンニ、有名ナル土佐節、土佐珊瑚、土佐駒ハ多ク此ノ地ヨリ出ヅ、殊ニ土佐節ハ天下第一ト稱セラル。

南海道概要 南海道ハ四國ト淡路ト本州ノ紀伊トヨリ成ルト雖モ、其ノ山脈ハ一貫ノ脈ナルコト上ニ云ヘルガ如シ。四國山脈ハ四國ニ於テ南北ノ分水界タルコト、大凡中國ニ於ケル中國山脈ノ如シ。其ノ最高峯石槌山ハ中國ノ最高峯大山ト殆ト相等シクシテ稍高シ。阿蘇火山脈ガ四國





山脈ノ北ニ並行  
スルハ、恰モ中國  
ノ白山火山脈ニ  
比スベシ。四國  
山脈ガ太平洋ノ  
風ヲ受ケテ雨ヲ  
結バシメ、隨テ内  
海岸ヲシテ雨少  
カラシムルコト、  
亦猶中國山脈ノ  
西北風ニ於ケル  
ガ如シ。故ニ内

海岸ニハ齋田ヲ初メ鹽ヲ産スル地多ク、山脈以南即チ土佐  
ハ本邦中最モ雨多キ地ノ一ナリ。地味ハ内海岸ニ肥沃ナ  
ル所アリテ山脈以外ハ一般ニ礫礫ナルコト、亦中國ニ似タ  
リ。氣候ハ山陽道ニ比スレバ更ニ温暖ナルガ故ニ、隨テ暖  
國性ノ産物多シ、即チ柑橘類、藍、砂糖等ナリ。鐵道ハ和歌山  
地方ト畿内ト相通シ、四國ノ海岸亦漸ク其ノ端緒ヲ開ケリ。  
海運モ四國ノ内海岸ト紀伊ノ西海岸トニ多クシテ、其ノ他  
ハ少シ。人情ハ一般ニ寛柔ト稱スレドモ、其ノ交通頻繁ナ  
ル地方ハ皆伶俐ニシテ、土佐ニ至リテハ武健ノ風アリ。

第十一章 西海道  
豊前國

山陽鐵道ノ終點ナル馬關ヨリ早鞆海峡ヲ渡レバ、九州ノ



九州山脈

北端ナル豊前ノ門司ナリ。

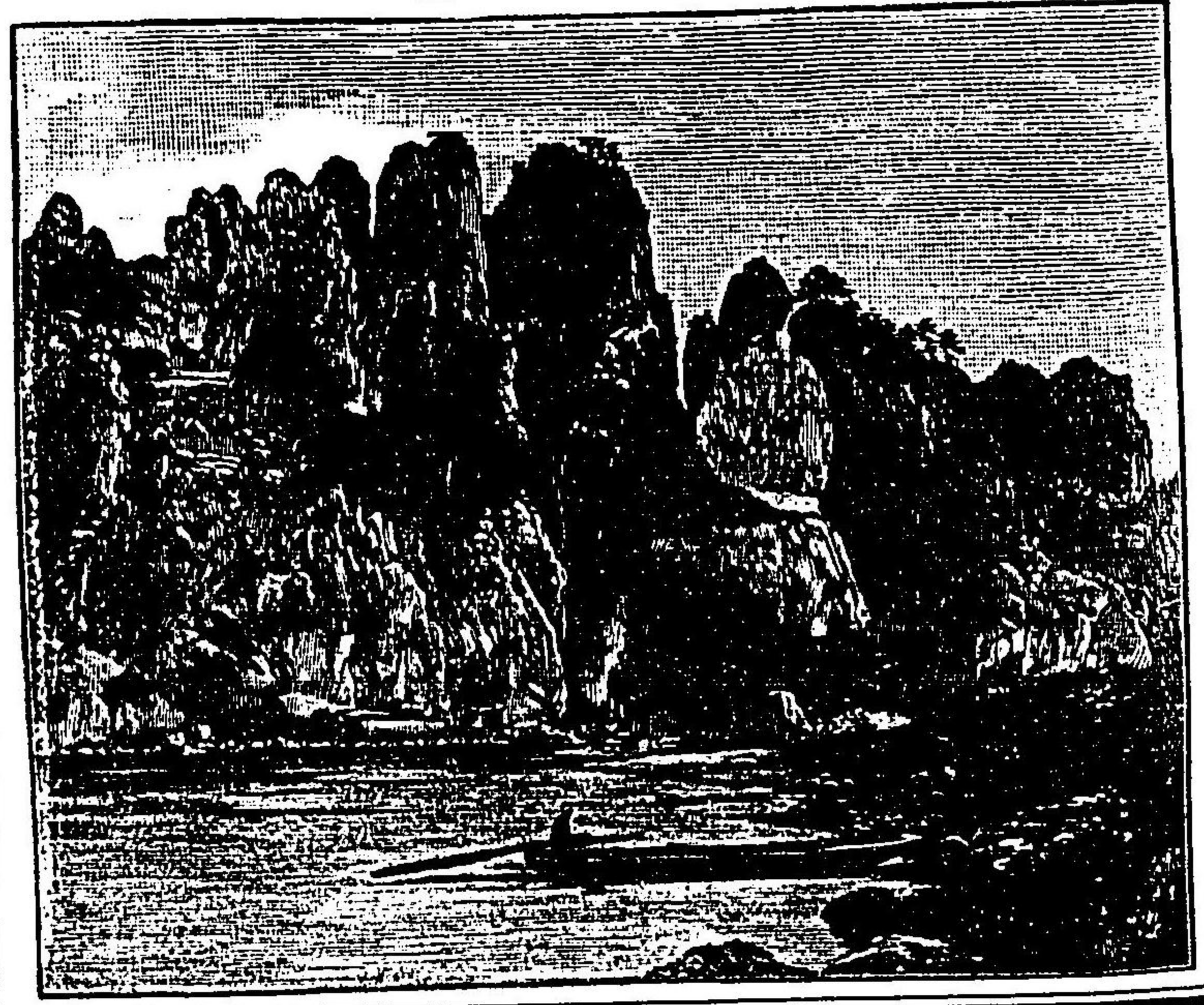
豊前ハ所謂九州山脈ヲ以テ西ノ方筑前ト界シ其ノ支脈ニヨリテ南ノ方豊後ト界セリ。ソモ此ノ九州山脈ト云ヘルハ外觀上九州ヲ縦貫シテ脊梁ヲ成シ其ノ左右ニ出デタル脈ヲ以テ兩側ノ國國ヲ界シ諸水脊梁ヨリ左右ニ分水シテ海ニ入ルノ狀殆ト中國ニ同シ。故ニ各國ノ山勢水理大抵單一ニシテ一一之ヲ説カズ。然レドモ其ノ所謂九州山脈ナル者ハ一貫ノ脈ニ非ズシテ實ハ種種ノ山脈ノ集合ナルコトハ後ニ説クベシ。

小倉

九州鐵道ハ門司ヨリ起リ西ノ方小倉ニ至ル此ハ小倉織ノ本場ニシテ又第十二師團司令部ノ位地ナリ。小倉ヨリ街道左右ニ通シ一ハ九州街道即チ九州西岸ノ街道ニシ

テ一ハ東岸ノ街道ナリ。而シテ九州鐵道幹線ハ九州街道ニ沿ヒテ筑前ニ入り支線ハ東岸街道ニ沿フ。

東岸線ハ更ニ支線ヲ出シ豊前筑前ノ炭山地方ヲ選ル。東岸ノ本線溪ハ當國ノ名邑中津ヲ過グ。中津ニ注グ所ノ中津川一名山國川ハ彦山權現ニテ名アル英彦





山ヨリ發シ、其ノ上流ナル山國谷一名耶馬溪ハ奇景ヲ以テ稱セラル。鐵道ハ進ミテ西境ニ近キ宇佐ニ至レリ。宇佐ノ八幡宮ハ昔和氣清麻呂ガ神勅ヲ請ヒシ所ナリ。諸子ハ今暫ク東岸諸國ノ地理ヲ觀テ然ル後九州鐵道幹線ニ沿ヒ、西岸諸國ヲ觀察スベシ。

豊後國

豊後ハ國東半島ヲ頭トシテ雀ノ子ガ小サキ羽ヲ廣ゲタル形ニ似タリ。其ノ頭部ヨリ背部ヲ通シテ山岳起伏シ、水勢ヲ二ツニ分チ、西部ノ水ハ筑後ニ入リテ筑後川トナル。此ノ西部ヲ汎稱シテ日田莊ト云フ。

東岸街道豊後ヨリ來リテ雀ノ咽喉部ヲ通ル、北ニ國東ノ文珠岳アリ、南ニ豊後富士ノ稱アル由布岳アリ、東岸ニ出ヅ

レバ別府ノ溫泉アリテ甚ダ繁昌セリ。別府ヲ過ギテ大分ニ至レバ大分縣廳アリ、當國及ビ豊前ノ東部ヲ管ス。街道此ノ邊ヨリ南ニ折レ、暫ク海岸ヲ離レテ日向ニ入ル。然レドモ若シ大分ヨリ更ニ海岸ニ沿ヒテ進マバ伊豫ノ佐田岬ト相對セル佐賀關ニ至ルベシ。此ノ國ハ一般ニ雜穀多ク、特ニ國東其ノ他ノ大豆良質ナルヲ以テ、舊幕時代ヨリ市場ニ別相場ヲ立テタリ。

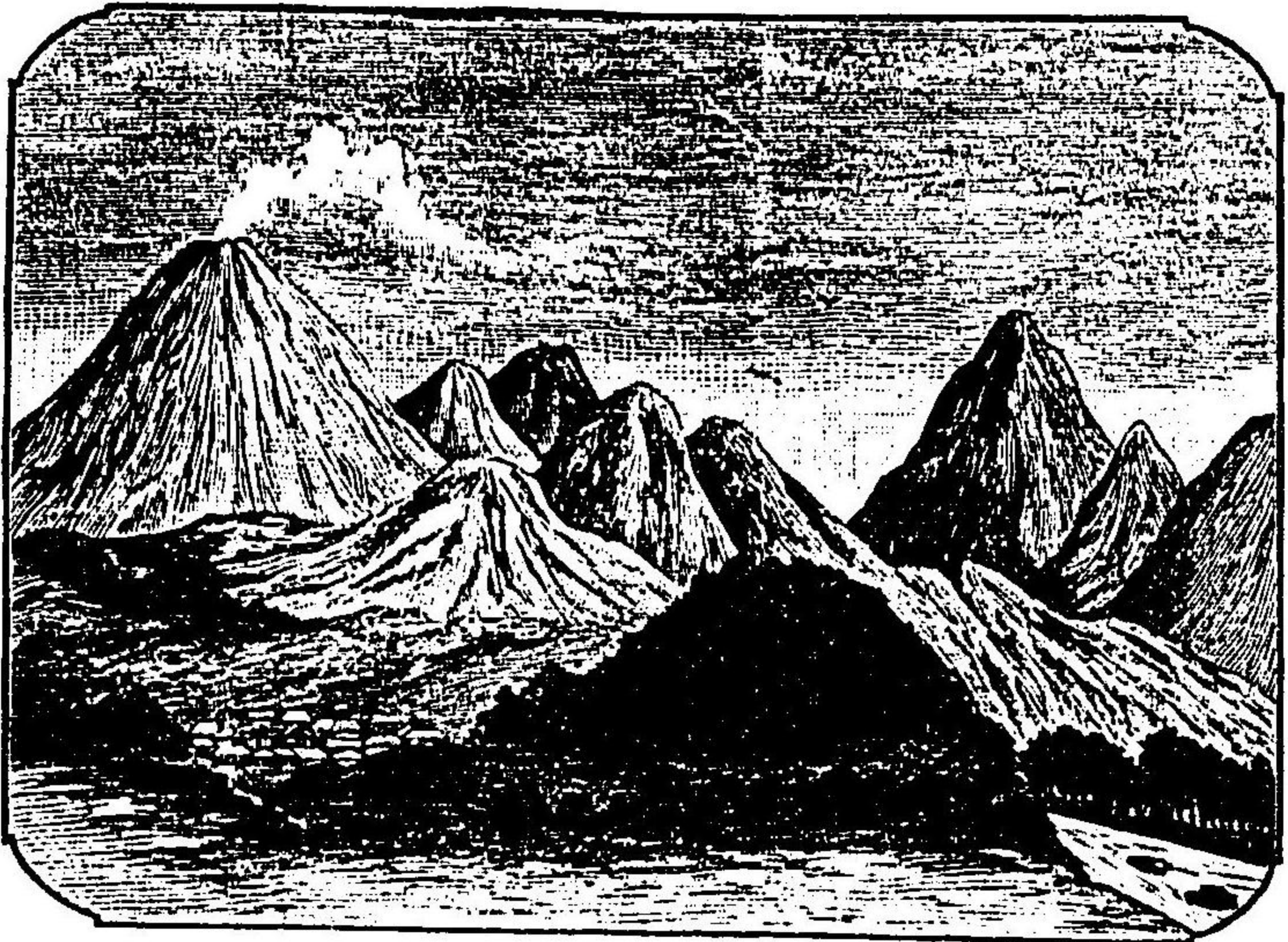
日向國

街道日向ニ入リテ又海濱ニ沿フ、前ナル海ヲ日向灘ト稱ス。延岡ハ五箇瀬川ノ下流ニアリ、爰ハ西南ノ役ノ末路ニ西郷隆盛ガ一たび據リシ所ニシテ、北ニ峙テル可愛岳ハ隆盛ガ圍ミテ脱セシ所ナリ。川ノ上流ニ高千穂村アリ、瓊瓊



宮崎

霧島山



杵尊ヨリ神武天皇マデ歴世ノ皇居ナリシ高千穂宮ノ地ナリト稱セラルル所ノ一ナリ。延岡ヨリ海濱ノ諸名邑ヲ經テ宮崎ニ至ル此ハ日向ヲ管スル宮崎縣廳ノアル所ニシテ大淀川ニ跨レリ。街道海濱ヲ離レテ大淀川ノ支流ニ溯レバ大隅境ニ近キ都城アリ是亦高千穂宮ノ跡ナリト云ハル。其ノ西北大隅境ニ峙テル霧島山ハ東西二

座ノ活火山ニシテ東岳ハ即チ天孫降臨シ給ヒシ日向ノ高千穂峰ナリト云ヒ絶頂ニ立テル天逆鉾ハ永ク吾ガ神皇ノ武德ヲ表セリ。

此クノ如ク日向ハ最モ古キ帝都ノ地ナリト雖モ山ハ險阻ニシテ海ニ良港ナク交通便ナラズ人烟猶稀疎ナリ故ニ産物ハ材木薪炭椎茸等山林産物ヲ主トシ就中日向椎茸ハ最モ廣ク諸郡ニ産ス。

### 筑前國及ビ筑後國

諸子ハ今ヨリ九州鐵道ノ幹線ニ移ラン。九州鐵道小倉ヨリ來リ茲ニモ亦支線ヲ出シテ炭山地方ヲ遶リ其ノ一端ハ海濱ノ若松港ニ達ス。若松近傍ノ海岸ナル八幡村ニハ製鐵所アリ其ノ鐵鑛ハ釜石或ハ中國産ヲ用フベキ豫定ナ

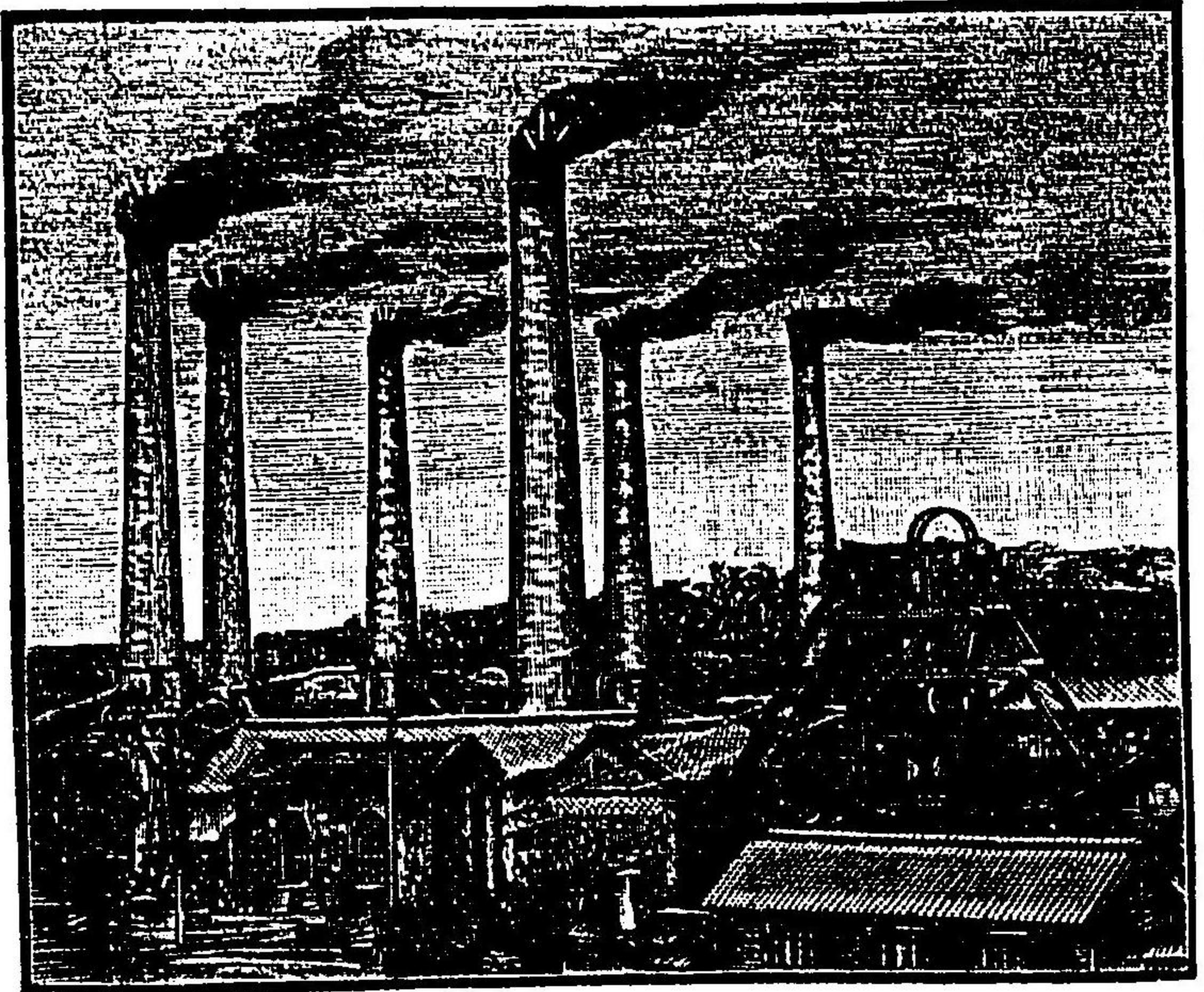


リシニ、運賃等ノ  
 關係ニヨリテ支  
 那ノ楊子江邊ノ  
 大冶鐵山ノ鐵鑛  
 ナ用フ。  
 鐵道幹線ハ進  
 ミテ西ニ向フ。  
 箱崎ハ八幡宮及  
 ビ千代、松原ヲ以  
 テ有名ナリ。福  
 岡ニハ福岡縣廳  
 アリテ豊前ノ西

太 宰 府



太宰府



部ト筑前、筑後トヲ管ス。  
 博多ハ福岡市ノ一部ニ  
 シテ博多織ノ本場ナリ。  
 前ニ博多港アリ、開港場  
 ノ一ニシテ多ク石炭ヲ  
 輸出セリ。更ニ南シテ  
 太宰府附近ヲ過グ。太  
 宰府ハ古ヘ太宰府ヲ置  
 カレシ地ニシテ菅公薨  
 去ノ地ナルヲ以テ莊麗  
 ナル菅公ノ社アリ。箱  
 崎博多ヨリ此ノ邊ニ至



筑後川

ルマデハ元寇ノ防禦地ニシテ、前ハ險惡ナル玄界灘ナリ。鐵道ハ更ニ南進シ、肥前ノ東北隅ヲ掠メテ筑後ニ入ル。肥筑ノ境ニ筑後川アリ。

最盛ノ炭鑛

筑後川ハ豊後ノ日田、莊ヨリ出デテ筑紫瀉ニ注グ。筑紫トハ古ヘ兩筑地方ヲモ、又九州一帯ヲモ稱セシ名ナリ。筑後川ハ昔南朝ノ忠臣菊地肥後守武光ガ八千ノ兵ヲ以テ少貳頼尙ガ六萬ノ大軍ヲ擊破リシ所ナリ。川ヲ渡レバ久留米ニシテ久留米、緋ノ産地ナリ。其レヨリ柳河ノ東ヲ過ギテ肥後ニ入ル。肥後境ニ三池炭山アリ、炭鑛ノ最モ盛ンナル者ノ一ニシテ、一日ニ千噸以上ヲ出ス。

肥前國

肥後ニ入ル前ニ、先ヅ肥前及ビ近海諸島ヲ觀察セン。肥

海岸線最長ノ國 佐賀

前ハ獨リ九州山脈ヲ離レテ、兩筑ノ西ニ突出セル半島ナリ。此ノ半島ハ諸方ニ向テ枝多ク、屬島亦多ク、而モ海岸ニ凹凸多クシテ、全國中海岸線最モ長キ國ナリ。九州鐵道ガ筑前ヨリ來リテ此ノ國ノ東北隅ヲ過グル時、直チニ支線ヲ發シテ大抵長崎街道ニ沿フ。佐賀ニ至レバ佐賀縣廳アリテ當國ノ東北部ヲ管ス。此ノ地ヨリ北ノ方鐵道既ニ唐津ニ通ゼリ。唐津ハ開港場ノ一ニシテ石炭ノ産地ナリ。佐賀ヨリ進ミテ有田ニ至ル、此ハ有名ナル有田燒ノ産地ニシテ、鐵道ノ支線ハ伊萬里港ニ至ル。伊萬里ハ陶器ノ輸出地ニシテ、古クヨリ陶器ノ産地ナレバ、有田燒モ亦伊萬里燒ノ名ヲ冒スコト多シ。唐津、伊萬里ノ間ニ突出セル半島ノ名護屋ハ豊太閤征韓ノ時本營ノ地ナリ。



鐵道ハ有田ヲ過ギテ後、左右ニ分レ、左ハ南ノ方長崎ニ達シ、右ハ佐世保ニ至ル。佐世保ハ九州西岸ヨリ琉球ノ近海ヲ管スル軍港ニシテ鎮守府アリ。其ノ西北ニ平戸島アリ、葡萄牙人ト始メテ互市ヲ開キシ地ナリ。平戸ト本陸トノ間ヲ平戸瀬戸ト稱シ、横濱神戸ヨリ長崎乃至支那ニ航スル船ハ皆瀬戸内海、玄界灘ヲ經テ此ノ海峡ヲ通過ス。平戸ト地勢相續キテ五島列島アリ、五島、鰹及ビ鯨有名ナリ。

長崎

長崎ハ殆ト西南端ナル良港ニシテ元五港ノ一ナリ、長崎縣廳此ニアリテ當國ノ西南部及ビ壹岐、對馬ヲ管ス。舊幕府ノ鎖港時代ニモ獨リ此ノ港ヲ開キテ支那及ビ和蘭船ノ貿易ヲ許シタリ。長崎、煙草、雲丹、からすみ、鱒等有名ナリ。海上ノ高島ハ最モ良質ノ石炭ヲ出ス處ナリ。長崎ノ東ニ

三池炭山脈

島原半島アリ、其ノ形囊ノ如クニシテ筑紫灣ノ灣口ニ當レリ。中央ニ峙テル活火山溫泉岳ハ其ノ半腹ナル島原溫泉ヨリ名ヲ得タリ。

當國ノ山脈ヲ按ズルニ五島、平戸ヨリ起リテ國內ニ蔓延シ、筑前ニ延ビ、一派ハ三池炭山ノ脈トナリ、筑後ノ境ヲ遶リテ北ノ方筑前、豊前ノ炭山トナリ、門司ニ至ル、全國中最モ多ク石炭ヲ供給スル山脈ナリ。其ノ岩石ノ質ハ中國山脈ト同シ、蓋シ中國山脈ガ海ヲ越エテ現レタル者ナリ。是九州山脈ヲ分拆セル一部ニシテ、此ノ部分ヲ筑紫山脈ト云フ。

壹岐國及ビ對馬國

壹岐ハ肥前ノ北ナル島國ナリ。面積八方里許ニシテ全國中ノ最小國ナリ。此ノ國隱岐火山脈ヨリ續キテ平戸、五

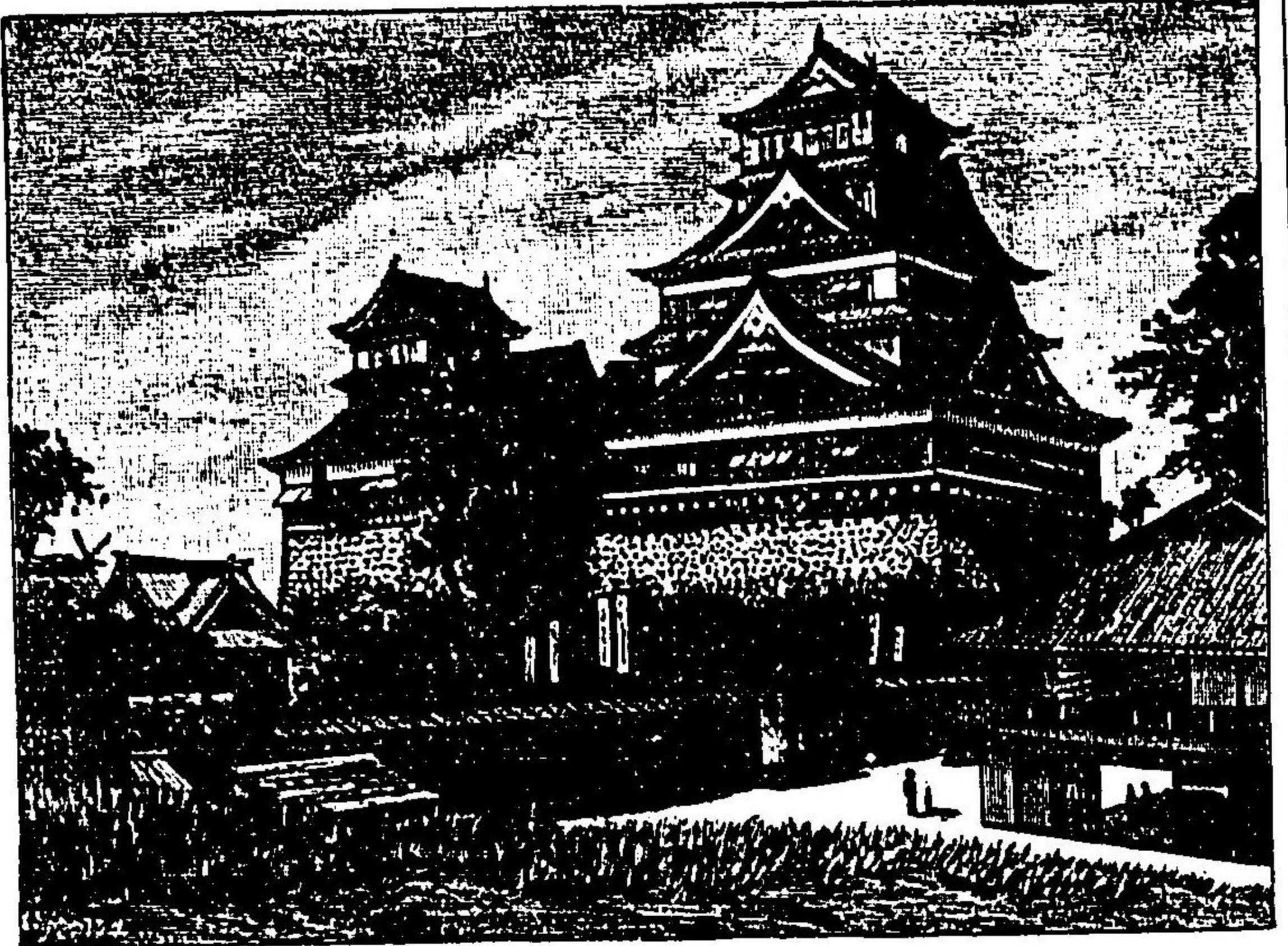
本邦中  
最小國



島ノ火山脈ニ連ナレリ。  
 對馬ハ壹岐ノ西北ニアリテ、韓國ト海路僅ニ三十里ヲ隔テタル島國ナリ。一國上下二島ニ分レ、上島ナル嚴原ハ開港場ノ一ニシテ、島司廳アリ警備隊アリ。此ノ國ハ古來外交ノ衝ニ當レルヲ以テ、人民愛國敵愾ノ氣象ニ富メリ。地味硬確ナレドモ、漁利頗ル多ク、長崎、鯛、長崎雲丹ハ實際此地ノ産ナル者多シ。

肥後國

筑後ヨリ此ノ國ノ熊本ニ至ルニ、高瀬川一名菊池川ヲ渡ル。此ノ流域ハ全國第一等ニ位セル肥後米ノ中、殊ニ良質ト稱セラルル菊池米ノ産地ナリ。熊本ハ肥後ヲ管スル熊本縣廳ノ所在地ナリ。第六師團司令部ナル熊本城ハ加藤



熊本城

清正ガ築キシ名城ニシテ、明治十年ノ役ニ西郷隆盛ガ薩摩健兒ヲ率キテ攻メ、アグミシ所ナリ。熊本ヲ出デテ直チニ白川ヲ渡ル、其ノ發源スル所ハ大活火山阿蘇山ノ舊火口湖ナリ。此ノ山ノ事ハ後ニ云フベシ。  
 九州鐵道ハ進ミテ八代ニ至レリ。是ヨリ南薩摩ノ鹿兒島ニ至ル線路ハ工



三急流

事中ニシテ他日遂ニ東岸線ニ循環スベシ。八代附近ニ落  
 ツル球摩川ハ富士川最上川ト共ニ日本三急流ノ一ナリ、其  
 ノ上流ナル五箇莊ハ平家ノ落人ノ隠處ト云ヒテ、維新前ハ  
 世間ト交通セズ、別ニ一天地ヲ成シタリキ。八代ノ前面ニ  
 天草島アリ。天草ト八代トノ前ナル内海ヲ八代海ト云ヒ、  
 初秋ノ頃海上ニ燐光ヲ發ス、是筑紫ノ「不知火」ナリ。大凡菊  
 池川ヨリ球摩川ニ至ルマデハ筑紫平野ニシテ川流疏通シ  
 田野開ケタリ、其ノカミ加藤清正ノ經營セシ者多シト云フ。  
 此ノ國ノ山脈ヲ按ズルニ、天草島邊ヨリ起リテ肥後ノ南  
 境ニ沿ヒ、北シテ日向境トナル、其ノ市房山ハ九州ノ最高峯  
 ニシテ直立六千尺、亦富士ノ半ニシテ、中國、四國ノ最高峯ト  
 伯仲ス。其レヨリ遂ニ日向、豐前ノ間ニ蟠リテ、可愛岳等ト

不知火  
筑紫平野

九州最  
高山

可愛岳  
ノ脈

阿蘇火  
山脈

ナリ、海ヲ渡リテ四國山脈トナル。此ノ山脈ヲ南部山脈ト  
 名ツケ、之ニ對シテ筑紫山脈ヲ北部山脈ト稱ス。此ノ南北  
 兩山脈ノ間ニ阿蘇火山脈噴起シテ西ハ溫泉岳ヨリ北ハ英  
 彦山及ビ豊後富士トナリ、國東ノ文珠岳トナリ、海ヲ越エテ  
 四國ノ象頭山等トナリ、大和、伊勢ヲ通過シテ、遂ニ三河ノ鳳  
 來寺山トナル。

薩摩國大隅國及ビ大隅諸島

薩摩、大隅ハ其ノ間ニ鹿兒島灣ヲ夾ミテ、稍兩脚ノ狀ヲ成  
 セリ。此ノ二國ハ九州山脈ノ最南部ナル霧島火山脈ノ蟠  
 ル所ニシテ、殆ト全部火山質ヲ以テ成レリ。  
 九州街道肥後ヨリ來リ、川内川ヲ渡リ、芹野金山及ビ薩摩  
 燒ノ產地ノ附近ヲ過ギ鹿兒島灣頭ナル鹿兒島ニ至ル。鹿

霧島火  
山脈

鹿兒島